

官報

號外

昭和七年三月二十三日

○第六十一回衆議院議事速記録第二號

帝國議會

昭和七年三月二十二日(火曜日)

午後一時十四分開議

議事日程 第一號

昭和七年三月二十二日

午後一時開議

第一 (第一號)昭和六年度歳入歳出總

豫算追加案(緊急事件)

第二 (第二號)昭和六年度歳入歳出總

豫算追加案(緊急事件)

第三 (第一號)昭和七年度歳入歳出總

豫算追加案(緊急事件)

第四 (特第一號)昭和七年度各特別會

計歳入歳出豫算追加案(緊急事件)

第五 滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲

公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

ノ選舉

第七 昭和七年勅令第四號(金貨兌換

禁止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

ノ選舉

第九 昭和七年勅令第七號(國債償還

資金ノ繰入一部停止ニ關スル件)(承

諾ヲ求ムル件)

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

ノ選舉

第十一 昭和七年勅令第六號(滿洲事

件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ

關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第十二 昭和七年勅令第十四號(滿洲

事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行

ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第十三 昭和七年勅令第十九號(滿洲

事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行

ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第十四 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委

員ノ選舉

○議長(秋田清君) 諸般ノ報告ヲ致サセマ

ス

(書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

滿洲國ニ醫療施設普及ニ關スル建議案

提出者

大野 伴陸君 崎山 武夫君

(以上三月二十日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ

如シ

議會否認ノ風潮ニ關スル質問主意書

提出者

清瀬 一郎君 大竹 貫一君

(以上三月二十二日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲

茲ニ掲載ス)

一去二十日衆議院規則第十五條但書ニ依リ

議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

三八

大藤 唯男君

一〇三

田中 隆三君

一一一

永井柳太郎君

一二七

飯塚春太郎君

一七七

永田善三郎君

一九九

牧山 耕藏君

一去二十日委員長及理事互選ノ結果左ノ如

シ

豫算委員

委員長

理事

飯村 五郎君

倉元 要一君

川島正次郎君

工藤 鐵男君

坂東幸太郎君

決算委員

委員長

理事

本田 義成君

岸田 正記君

野中 徹也君

請願委員

委員長

理事

岡田伊太郎君

鈴木吉之助君

森 峰一君

懲罰委員

委員長

理事

山本 芳治君

濱野徹太郎君

一去二十日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第三部選出

豫算委員

第五部選出

豫算委員

第五部選出

豫算委員

第六部選出

豫算委員

佐藤 正君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、開院式勅語奉答書奉呈ノ顚末ヲ御報告

致シマス、本日午前十一時參内致シマシテ、

鳳凰ノ間ニ於テ拜謁ヲ賜ハリ、御前ニ進ミ

マシテ奉答書ヲ捧讀致シ、之ヲ奉呈致シマ

シタ、之ニ對シテ勅語ヲ賜ハリマシタ、茲

ニ捧讀致シマス、諸君ノ御起立ヲ願ヒマ

ス

(議員起立)

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

(議員敬禮)

○議長(秋田清君) 是ヨリ日程ニ入リマ

ス、日程第一ヨリ第四ノ四案ハ、何レモ政

府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依ル緊急事

件トシテノ要求ガアリマシタ、四案ヲ一括

シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程第一、第一號昭和六年度歳入歳

出總豫算追加案、日程第二、第二號昭和六

年度歳入歳出總豫算追加案、日程第三、第一

號昭和七年度歳入歳出總豫算追加案、日程第

四、特第一號昭和七年度各特別會計歳入歳

出豫算追加案、此四案ヲ一括シテ議題ト致

シマス、此際内閣總理大臣、外務大臣、陸

軍大臣、海軍大臣及大藏大臣ヨリ發言ノ通

告ガアリマス、之ヲ許シマス——犬養內閣

總理大臣。

第一 (第一號)昭和六年度歳入歳出總

豫算追加案(緊急事件)

第二 (第二號)昭和六年度歳入歳出總

豫算追加案(緊急事件)

第三 (第一號)昭和七年度歳入歳出總

豫算追加案(緊急事件)

第四 (特第一號)昭和七年度各特別會

計歳入歳出豫算追加案(緊急事件)

(國務大臣犬養毅君登壇)

○國務大臣(犬養毅君) 諸君、今回ノ總選

舉ニ當選セラレタル諸君ト相會スルコト

ハ、私ノ光榮トスル所デアリマス、政府ハ

茲ニ重大ノ時局ニ臨ミ、特ニ緊急ナル國務

ニ付キ協賛ヲ願フノデアリマス

眞ニ衆議院解散セラレ、昭和七年度歲入歲出總豫算並ニ同年各特別會計豫算不成立トナリシ爲ニ、政府ハ憲法ノ條章ニ依リ、前年度ノ豫算ヲ施行スルコトニナリマシタガ、唯々今同ノ事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ、緊急已ムヲ得ザルモノアルガ故ニ、茲ニ臨時議會ヲ召集ヲ奏請シ、追加豫算案及法律案ヲ提出致シマシタノデアリマス、尙ホ此機會ニ於テ銀行券ノ金貨兌換ニ關スル件及昭和六年度ニ於ケル國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件ノ緊急勅令並ニ今同ノ事變ニ關シ經費支辨ノ爲メ公債發行ニ關スル緊急財政處分ニ付テ、憲法ノ規定ニ基キ、夫々事後承諾ヲ求メントスルノデアリマス

支那事件ニ付キマシテハ、帝國ハ東洋永遠ノ平和ヲ確保シ、我が權益ヲ擁護及我が國民ノ生命財產ノ保護ヲ究ウセンコトヲ期スル外ニ、何等ノ意圖ヲ有シマセズ、領土の企圖無キハ勿論、門戶開放機會均等主義ヲ尊重スルモノデアルコトハ屢々聲明シタ通りデアリマス、日支兩國ハ目下復雜ナル關係ニ立チ到リテ居リマスガ、支那ニシテ反省ノ實ヲ擧グルニ於テハ、解決ハ決シテ難事ニアラズト思ヒマス、政府ハ一日モ早ク日支關係ガ常態ニ復シ、善隣ノ誼ヲ敦クセンコトヲ切望シテ居ルノデアリマス

一般政策ノ事項ニ關シマシテハ、次期議會ニ於テ諸君ノ協賛ヲ願フ心算デアリマス、此度ノ提案ニ付キマシテハ、現下ノ事情ヲ洞察セラレ、速ニ協賛アランコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 芳澤外務大臣

(國務大臣芳澤謙吉君登壇)

○國務大臣(芳澤謙吉君) 諸君、帝國ノ重要外交案件ニ付キマシテハ、去月一月ノ通常議會ニ於キマシテ御説明申上ゲテ置イタノデアリマスガ、本日茲ニ其後ノ事態ニ關シマシテ、報告ヲ兼テ所見ヲ陳述致シマス

ノハ、私ノ欣幸ト致ス所デアリマス

支那本部ニ於ケル排日運動ニ付キマシテハ、其後モ機會アル毎ニ、支那側ニ對シマシテ之ガ徹底の停止ヲ要求シテ來タノデアリマシマス、然ルニ支那側ニ於キマシテハ、何等反省ノ跡ナク、該運動ハ却テ益々深刻執拗ヲ加フルノ狀況デアリマシテ、上海地方デハ其勢最モ甚シカッタノデアリマス、殊ニ一月九日上海民國日報ノ我が皇室ニ對シマスル不敬記事事件、及同月十八日支那暴民ノ我が日蓮宗僧侶等殺傷事件ノ發生ヲ見ルニ及ビマシテ、過去長日月ノ間排日運動ノ爲ニ苦シミ、殊ニ最近其最モ惡辣ナル情勢ニ對シテ、隱忍ニ忍ビ重ネ來リマシタ我が居留民ノ憤懣ハ、其極ニ達シマシテ、事態極メテ重大化スルニ至ッタノデアリマス

此狀況ニ於キマシテ、在上海帝國總領事ハ、政府ノ訓令ニ基キ、上海市長ニ對シマシテ、右兩事件ニ關シ嚴重抗議シマスルト共ニ、數項ノ要求ヲ提出致シマシタノデアリマス、而シテ前者ニ付キマシテハ、間モナク同市長ニ於テ我が要求ニ應ジタノデアリマス、又後者ニ付キマシテハ種々曲折ガアッタノデアリマスガ、結局同月二十八日午後三時ニ至リマシテ、同市長ヨリ我方ノ要求ヲ容レタ回答ガ接到致シタノデアリマス、我方トシマシテハ、之ニ依テ事態ノ緩和ヲ期待スルト同時ニ、支那側約束ノ履行ヲ監視スルノ地位ニ立ツニ至ッタ次第デアリマス

然ルニ是ヨリ先、第十九路軍ハ上海ノ租界附近ニ集中致シマシテ、各種ノ戰備準備ヲ行ヒ、甚ダ不穩ナル態度ヲ示シテ居、タノデアリマシタガ、共同租界工部局當局ハ、無節制ナル支那軍隊及極端分子ノ使喚シマスル支那暴民ノ爲ニ、租界内ノ秩序ガ紊亂サレコトヲ慮ツタモノ、如ク、二十八日ノ參事會ニ於キマシテ、同日午後四時ヨリ戒嚴令ヲ施行スルコトニ決定致シタ次第デアリマス、其結果列國軍ハ豫テノ協定ニ基キマシテ、各其受持區域ノ警備ニ就イタノデアリマス、我が陸戰隊モ、其受持區域ノアル關北地方ノ警備ニ就カウトシマシタ際、支那側ヨリ我が陸戰隊ニ向ヒマシテ發砲致シマシタノデ、我軍ハ已ムナク是ガ對抗手段ヲ執ッタノデアリマス、世間ニハ往往此事ニ付キマシテ、支那側ノ方カラ我方ノ要求ヲ承認致シタニ拘ラズ、我が陸戰隊ニ於テ、自カラ求メテ攻撃ヲ開始シタルガ如ク傳フル者モアリマスルガ、決シテサウ云フ次第デナク、事實ハ只今私ノ申上ゲタ通りデアリマス

我方ト致シマシテハ、事態ノ惡化ヲ防グガ爲ニ全力ヲ盡シ、二度迄モ支那側トノ間ニ戰闘中止ノ協定ヲ成立セシメタノデアリマス、然ルニ此戰闘中止ノ協定ハ、二度トモニ支那軍ノ破棄スル所ト相成ッタノデアリマス、ソコデ二月十八日我方ヨリ改メテ、支那軍ノ一定距離ノ外ニ撤退スル事、並ニ其他ノ要求ヲ提出致シタノデアリマス、然ルニ支那側ニ於キマシテハ遂ニ之ニ應ジナカッタ爲ニ、二月二十日ニ至リマシテ、豫テ増援ノ爲メ派遣セラレタアリマシタ我が陸軍ハ、海軍ト相協力致シマシテ、支那軍ノ一定距離以外ニ撤退スルコトヲ強制致シタノデアリマス、其結果三月三日ニ至リマシテ、完全ニ支那軍ノ撤退ヲ實現セシメタ次第デアリマス、上海事件ノ發生ヲ見ルヤ、支那政府ハ日支間ノ紛爭ニ付キマシテ、國際聯盟規約第十五條ノ適用ヲ、先

テ聯盟理事會ニ提起致シタノデアリマス、之ニ次ギマシテ、此事柄ハ更ニ支那側ノ要求ニ依リマシテ、聯盟總會ノ方ニ移サル、ニ至ッタノデアリマス、我方ト致シマシテハ、上海事件ハ單純ナル地方的事件デアリマシテ、所謂國交斷絶ニ到ル虞アルモノデナイト考ヘテ居ルノデアリマス、又滿洲問題ニ付キマシテハ、最近同地方ニ於ケル新規ノ戰闘行爲モナク、又規約第十一條ニ基イ

テ理事會ニ繫屬中デアリマシテ、現ニ既ニ調査委員ガ支那ノ實情ヲ調査スルガ爲ニ極東ニ向ッテ出發シタル事實モアル次第デアリマシテ、是等ノ理由ニ顧ミマシテ、上海事件モ、滿洲事件モ、共ニ規約第十五條ノ適用ヲ見ルベキ問題デハナイト云フ見解ヲ執ッテ居ルノデアリマス、帝國政府ニ於キマシテハ最初ヨリ此趣旨ニ基キマシテ、明確ナル留保ヲ聲明シマシタ上デ、理事會及ビ總會ノ討議ニ參加致シタノデアリマス、然ルニ國際聯盟總會ハ、三月十一日ニ至リマシテ一ツノ決議ヲ通過致シタノデアリマス、此決議ハ、我が日本ト致シマシテハ、受諾シ難イ幾多ノ點ヲ含シ居ルノデアリマスカラ、總會ニ於キマスル帝國代表ハ、政府ノ訓令ニ基キマシテ、日本側ノ立場ヲ闡明致スト同時ニ、前述ノ第十五條適用ニ關シマスル異議ヲ留保シマシテ、投票ニ參加致サナカッタ次第デアリマス

次ニ滿洲問題ニ付キマシテハ、昨春秋、舊東北政權倒壊ノ後ヲ承ケマシテ、同地方ニ於ケル支那側要人ニ依リテ行ハレマシタ、所謂局地的治安維持ノ努力ハ、其後支那本部ニ對シマスル滿洲ノ特殊性、及從來同地方ニ於テ行ハレテ居リマシタ軍閥政治ニ對シマスル滿洲一般人民ノ反感ト相俟テ、次第々々ニ此滿洲獨立運動ニ轉向シタ模様デアリマシタガ、最近ニ至リマシテ、前ノ省長等首唱ノ下ニ獨立ヲ宣言スルニ至ッタノデアリマス

次デ三月十二日ニ至リマシテ、新政府ノ外交總長ハ帝國政府ニ宛テ、滿洲國ノ創立ヲ通報シテ來タノデアリマス、此通報ニ對シマシテハ、非公式ニ之ヲ領承スルニ止メタ次第デアリマス、私ハ新政府ニシテ、若シ右通報ニ記載シテアリマス通り、既存ノ條約及外國人ノ權益ヲ尊重シ、且ツ門戶開放ノ原則ヲ遵守致シマスルヲ望ミ、是ハ新政府ノ前途ノ爲ニモ甚ダ歡迎スベキコト、考ヘテ居ル次第デアリマス(拍手)

將又北洋漁業問題ニ關シマスル日本ト「ソヴィエト・ロシア」トノ間ノ諸懸案ニ付キマシテハ、昨年來「モスコ」ニ於キマシテ銳意商議ヲ繼續中デアリマスルガ、未ダ解決ヲ見ルニ至リマセヌ、去リナガラ是ガ適當ノ妥結ニ達シマスコトハ、兩國國交ノ大局カラ見マシテモ、極メテ望マシキ所デアリマシテ、又解決ヲ圖ラントシマスル大體ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ兩國ノ間ニ意見ノ接近ヲ見テ居ル所デアリマス、政府ト致シマシテハ、今後トモ我ガ主張ノ貫徹ニ努メマシテ、條約ニ基ク正當ナル權利利益ノ確保ヲ期スル考デアリマス

以上ハ帝國外交經過ノ大體デアリマスガ、帝國ハ滿洲ニ於キマシテハ、甚大ナル政治的利害關係ヲ有スルコトハ勿論デアリマス、而シテ支那本部ニ於キマシテハ、政治的關係ヨリモ寧ろ經濟的利害ノ方ガ多分デアリマス、隨ヒマシテ南京政府及國民黨黨部ガ、從來ノ排日政策ヲ拋棄シテ、内部ノ和平統一ヲ圖リ、資源開發等ノ經濟的發展ニ努力シマスル場合ニハ、日支兩國ノ國交和衷融合ニ至ルベキコト、疑ヲ容レザル所ト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ茲ニ一言致シタイコトハ、滿洲事變、殊ニ上海事件ノ發生以來、歐米諸國ニ於ケル空氣ハ、我國ニ對シマシテ兎角好意的デナイト思ハル、モノガアタ次第デアリマスルガ、是ハ事實ニ即セザル支那側ノ宣傳又ハ種々ノ誤解ニ基ク次第デアリマシテ、時日ガ經過シマスル共ニ、是等諸國ニ於ケル日本ニ對シマスル感情モ漸次好轉スルコト、期待シテ居ル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 荒木國務大臣

(國務大臣荒木貞夫君登壇)

○國務大臣(荒木貞夫君) 只今ヨリ私ノ主管事項中當面ノ時局ニ關スルモノニ付キマシテ、茲ニ梗概ヲ申述ベタイト存ジマス東洋永遠ノ平和ノ爲ニモ一大障礙デアリマシテ、又最モ悲シムベキ事象ノ一デアリ

マシタル所ノ、彼ノ支那ノ排日排貨ノ運動ハ、近年ニ至リマシテ頗ル熾烈トナツタノデアリマシテ、滿蒙ニ於キマスル所ノ我ガ特殊權益ハ、當時ノ滿洲政權ニ依リマシテ、完膚ナキマデニ蹂躪ヲセラレタノデアリマス、遂ニハ我ガ同胞鮮人ノ壓迫トナリ、更ニ進ンデハ其虐殺ニマデ及ビマシテ、遂ニ我ガ武官一行ニ對シマスル慘殺等ヲ見ルニ至リマシテ、毎日モ茲ニ至リテ其極ニ達シタノデアリマス、隱忍ニ隱忍ヲ重ネテ參テ居リマシタル所ノ我ガ在滿ノ同胞、否九千萬ノ國民モ、最早一日モ平靜ヲ保ツニ堪ヘ難キ程度ニ至リテ居タノデアリマス、然ルニ事態ハ更ニ惡化ヲ致シマシテ、遂ニ昨秋ニ至リマシテ、奉天北大營附近ニ於キマスル王以哲配下ノ支那官兵ノ暴舉ニ依リマシテ、茲ニ已ムナク皇國自衛權ノ發動ヲ餘儀ナクセラレタノデアリマス、爾來皇軍ハ寡兵ヲ以テ衆敵ニ當リ、困苦ヲ凌ギ、晝夜兼行、不斷ノ活動ヲ續ケ來タノデアリマス、而シテ一面ニハ、恐ラクハ過去ニ於テモ稀ニ見ラレル所ノ程度マデニ我ガ同胞ノ學國一致的ノ公憤、又燃ユルガ如キ熱烈ナル後援トニ依リマシテ、幾多ノ國際難局ニ直面ヲ致シマシタガ、克ク之ニ堪ヘマシテ、征戰茲ニ半歲、暴戾ナル兵匪、馬賊、竝ニ便衣隊等ノ迫害ニ打克チマシテ、今日ニ於テハ僅ニ三萬ニ足ラザル在滿ノ將兵ハ、兎モ角モ皇國ノ二倍半ノ廣袤ヲ有シマス滿蒙ノ地域ニ駐屯ヲ致シマシテ、直接ニハ內鮮同胞百萬人ノ生命財產ノ安固、間接ニハ在滿三萬萬民衆ノ生活ノ康寧ニ寄與シツ、アルノデアリマス、而シテ其本來ノ第一使命デアリマスル所ノ、國防ノ第一線ニ立チマシテハ、其任務ヲ盡スニ於テ、遺憾ナク確實ニ之ヲ遂行ヲ致シ、其保障ヲ續ケテ今日ニ至リテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、過去各位ニ於カレテ十分御諒知ノコトト存ジマス

擬テ事變ノ當初、滿洲ニ駐屯ヲ致シテ居

リマスル所ノ我ガ陸軍ノ兵力ハ、駐劄第二師團ト獨立守備隊トデアツタノデアリマスルガ、是等各方面ニ散在ヲシテ居リマスルモノヲ合シマシテモ、僅ニ一萬四百、其奉天附近ニ在リマシタモノハ、當時四千餘ニ過ギナカッタノデアリマス、之ニ反シマシテ、在滿ノ支那軍隊ノ總兵力ハ二十二萬内外ヲ算シマスル、又奉天附近ニ在リマスルモノデモ、僅ニ一萬四千餘ヲ有シテ居タノデアリマス、此實情ニ鑑ミマシテ、事變ノ勃發直後朝鮮ヨリ混成一旅團ヲ派遣セララルコト、ナリマシテ、爾來御承知ノ如ク、其都度緊急必須ノ要求ニ應ジマシテ、更ニ内地及朝鮮ヨリ所要ノ兵力ヲ増派セラレタノデアリマシタガ、常ニ寡少ノ兵力ヲ以テチマシテ、克ク遼西ニ於キマスル所ノ禍根ヲ除キ、北滿ノ不安ヲ一掃致シマシテ、又一方ニハ馬賊兵匪等ニ對シマシテ、之ヲ討伐スルコトノ以外ニ、努メテ皇軍ノ犧牲ヲ勤カラシムルコトヲ目的ト致シマシテ、是等馬賊、匪賊ヲ招撫致シマシテ、以テ今日ノ安康ヲ招來シ得タノデアリマス、併ナガラ仔細ニ觀察ヲ致シマスルト、前途尙ホ樂觀ヲ許サルモノガ多クアリマスルノデ、之ニ善處スル爲ニ、當局ハ焦慮對策ヲ考究中デゴザイマス、元來國防上ヨリ見マシテモ、滿洲ノ平和ヲ永遠ニ維持シ、其發展スルコトヲ希フコトハ勿論デアリマシテ、是ガ爲メ現在ノ狀態ニ於テハ、少クモ現有兵力ヲ必要トスルコトハ勿論、尙ホ爲シ得レバ現勢以上ノ兵力ヲ駐屯セシムルヲ必要ト思惟セラレテ居リマシテ、目下當事者ニ於テソレゾレ研究中デゴザイマス

次ニ上海方面ニ對シマスル點デアリマスルガ、之ニ對シマシテハ陸軍部隊ノ派遣ハ、滿洲ニ對スルモノト其事態ハ全然異テ居リマスルノデ、最モ慎重ナル態度ヲ執ルノ必要ヲ認メマシテ、事態ノ推移ヲ靜觀シテ居タノデアリマシタガ、二月ニ至リマシテ、情勢急ヲ告ゲマシテ、遂ニ廟議ノ決定

ニ依リマシテ、海軍ニ協力シテ事件ヲ速決スル爲ニ、陸軍ヨリモ派兵セララルコトニナリマシテ、統帥部ノ計畫ニ基キマシテ、取敢ヘズ九州カラ一旅團ト、更ニ或ル程度マデ充實ヲ致シテ居リマスル一箇師團ヲ派遣セララルコト、ナツタノデアリマス、陸軍ト致シマシテハ、當初ヨリ上海ニ於キマスル所ノ特殊ノ關係ニ基キマシテ、努メテ流血ノ慘ヲ見ルコトナク、事件ヲ解決致シタイ希望ヲ有シテ居タノデアリマス、之ニ基キマシテ屢、支那側ト交渉ヲ重ネマシタガ、支那側ノ態度ハ、砲撃ヲ以テ我ガ交渉ニ答フル等、其不誠意甚シキモノガアリマシタノデ、遂ニ交戦ノ已ムナキニ至リマシタコトハ、洵ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、然ルニ支那側ハ尙ホ慷慨ラズシテ、當面ノ廣東軍ノ所屬ニ屬シテ居リマスル所ノ第十九路軍ノ外ニ、更ニ蔣介石直系ノ警衛軍ヲ増加致シマシテ、計六箇師團ヲ以テ、却テ我ニ對シテ反撃ヲ加ヘントスル所ノ勢ヲ示シマシタノデ、豫メ準備シテ居ル所ニ從ヒマシテ、充實ヲ致シテ居リマスル所ノ二箇師團、及同方面ニ必要トセラレテ居リマスル所ノ附屬部隊ヲ増派致シマシテ、今月初メ一舉ニ敵主力ヲ再起シ得ザルマデニ擊攘シタノデアリマス、而シテ爾後平和促進ノ爲ニ、是等ノ兵力ヲ一定地域ニ集結ヲ致シマシテ、目下停戰ノ姿勢ヲ執リテ居ルノデアリマス、而シテ軍ニ於キマシテハ、常ニ我ガ政府ノ根本政策ト完全ナル協調ヲ遂ゲマシテ、又海軍トハ其協同動作ニ於テ、一點ノ遺憾ナカラシムルコトヲ期シマシテ、更ニ作戰ヲ上海附近ニ局限ヲシテ、出來得ル限り當時ノ狀況ヲ顧慮致シマシテ、日支ノ全面的開戦ヲ惹起スルヤウナ不幸ヲ避ケントスル所ノ目的ヲ達成シ得タノデアリマス

元來上海方面ノ派遣部隊ノ目的ト云フモノハ、居留民ノ保護、共同租界ノ康寧維持デアリマスルノデ、今回ノ戰鬪ノ結果、支

那軍ニシテ今後大規模ノ集中、攻勢動作ニ出デザル限リハ、統帥部ノ意見ニ基キマシテ、自主的ニ速ニ兵力ヲ收縮スル所ノ方針ヲ採ルコト、致シマシテ、本月ノ中旬ニ第十一師團及混成第二十四旅團ヲ現地ヨリ撤收スル所ノ命令ガ發セラレマシテ、内地ニ於テ待機スルコト、ナツテ、目下歸還輸送ノ途中ニゴザイマス

以上ハ時局ニ關スル主務事項ノ大要デアリマスガ、抑、國防ノ見地ニ立チマシテ、皇國內外現下ノ情勢ヲ稽ヘツ、今次事變ノ性質及經緯ヲ仔細ニ考察致シマスルト、其重大性、深刻性ニ於テハ、到底往年ノ西伯利派兵、又ハ濟南事變等ト日ヲ同ウシテ論ズルコトガ出來ナイノミナラズ、觀察ニ依リマシテハ、日露戰役當時以上ノ重大性ヲ有スルモノト考ヘラル、ノデアリマス(拍手)將兵始メ一般ノ意氣ノ高潮シ來リマシタルコトハ、固ヨリ當然ノ歸結デアルト存ジマス、唯此上ハ奉公ノ至誠ト、私ヲ忘レテノ奮闘ト、而シテ舉國一致ノ團結ノ力ニ依リマシテ、有終ノ美ヲ濟シテ、以テ國防ノ安固ト同胞ノ康寧トヲ期シタイト祈テ居ル次第デアリマス

更ニ今次事變ニ於キマスル所ノ陸海軍ノ協同動作ニ付キマシテハ、古今ノ歴史ニ見ルコト稀ナル所デアリマシテ、蓋シ世界ニ誇ルベキモノ、一ト致シマシテ、深ク意ヲ強ウシテ居リマスルコトヲ特ニ茲ニ御報告申上ゲテ置キタイト存ジマス(拍手)

今ヤ上ハ、陛下ノ稜威ニ依リマシテ、神明ノ加護ヲ享ケ、下ハ將兵ノ忠烈無比ノ奮闘ニ依リマシテ、世界ノ畏敬ヲ受ケ、又同胞學ヲ熱烈ナル後援ニ依リマシテ、其決意ト意氣トヲ中外ニ示シ、遂次東亞ニ於ケル清新ナル和平ノ曙光ヲ認メツ、アリマスルコトハ洵ニ感激ト御同慶ニ堪ヘザル所デアリマシテ、當局ト致シマシテモ、愈、其責任ノ重大ヲ痛感ヲ致シマシテ、戮力同心、皇國ノ此難局ヲ打開ヲ致シマシテ我ガ國體ノ本源ニ

基イテ、外ハ皇道宣揚ノ爲ノ國防ノ安固ヲ期シ、内ハ萬民同福ノ爲ノ國體布施ノ實ヲ舉ゲマシテ、異端ヲ排シ、皇道ヲ踏ミ、以テ皇國ノ清新ナル和平ニ寄與シ、宏猷扶翼ノ大任ヲ果スコトニ邁進致シマシテ、一同ト共ニ是ガ實現ヲ期シテ居ル次第デアリマス、然ルニ前途ハ尙ホ逆路シ難キモノガ多クアリマス、如何ニ考ヘテ見マシテモ、内外洵ニ非常ナル時機ト存ジマスルノデ、吾々モ非常ノ覺悟ヲ以テ臨シデ居ル次第デアリマスルカラ、ドウゾ各位ニ於カレマシテモ、此難局ヲ御諒察ノ上、現下ニ於キマス陸軍ノ使命ノ完成ニ十分ノ御協助アラシコトヲ切ニ祈ル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 大角海軍大臣

(國務大臣大角岑生君登壇)

○國務大臣(大角岑生君) 茲ニ私ハ今次ノ上海事件ニ關スル經過ノ概要ヲ申述ベタイト存ジマス

久シキニ互ル支那本土ノ排日排貨運動ハ、昨秋以來急激ニ惡化シテ參リマシテ、漸次在留邦人ノ生命財產ニモ脅威ヲ感ズルヤウニナリ、中支、南支方面ニハ、幾多ノ事故ヲ起シタノデアリマスガ、帝國海軍ハ機宜警備ノ兵力ヲ増派致シマシテ、居留民ノ保護ニ遺憾無キヲ期スルト共ニ、絶エズ彼等ニ威壓ヲ加ヘマシテ、極力事端ノ發生ト、其擴大トヲ防止スルコトニ努メ、常ニ出先外務官憲ト密接ナル協力ノ下ニ善處致シマシテ、幸ニ一月中旬頃頃マデハ、特ニ重大ナル事態ノ發生ヲ見ルコト無ク經過シテ參タノデアリマス

然ルニ一月九日上海ニ於テ、我ガ皇室ニ對スル不敬記事掲載事件ガ起リ、同十七日抗日市民大會ノ不穩ナル決議、翌十八日邦人僧侶及信徒ニ對スル殺傷事件等相繼イデ起リマシテ、現地ニ於ケル帝國官憲ハ、上海市政府當局ニ對シテ嚴重ナル抗議ヲ致シタノデアリマス、然ルニ容易ニ誠意ノアル回答ニ接シマセヌ、漸クニシテ一月二十八日

午後、上海市長ヨリ我方ノ要求ヲ承認スルト云フ回答ヲ受ケタ、デアリマス、然ルニ當時支那側反動諸團體ノ暴動化セントスル氣配ハ極メテ濃厚トナリマシテ、又我ニ對シ著々戰備ヲ整ヘツ、アル第十九路軍及便衣隊等ニ對シマシテハ、市長ハ何等之ヲ制壓スルノ權威無ク、保安隊ハ逸早く逃亡スルト云フヤウナ有様デ、形勢頗ル險惡トナリマシタノデ、同日午後四時工部局ハ遂ニ戒嚴令ヲ布キ、各國軍隊ハ豫テノ協定ニ從ヒマシテ其受持配備ニ就クニ至リマシタ、帝國海軍陸戰隊ハ豫メ我方行動任務ニ關スル布告ヲ發シタル後、邦人多數ノ居住區域デアリ、且ツ我ガ受持警備區域デアリマス、北四川路方面及楊樹浦方面一帶ノ治安維持ニ任ズル爲ニ、兵力配備ヲ開始致シマシタル所、北四川路方面ニ於テ、突如トシテ支那軍ノ襲撃ヲ受ケマシタノデ、我モ亦自衛上兵力行使ノ已ムヲ得ザルコト、ナリマシテ、遂ニ日支兩軍ノ戰鬪ヲ惹起スルニ至タノデアリマス

今次ノ正面衝突ヲ起シマシタ支那第十九路軍ハ、昨年廣東派ノ武力ノ背景トシテ上海方面ニ移駐シテ參タノデアリマシテ、同軍中ニハ多分ノ赤化分子ガ混入シテ居リマシテ、而モ支那內政上ノ抗爭等モアリマシテ、軍長タル蔡廷楷トシテハ、退イテ僻地ニ去ルカ、留ッテ上海死守ノ美名ノ下ニ玉碎スルカ、二途其一ヲ選バナケレバナラナイト云フヤウナ境地ニ在ッタノデアリマス、而モ彼ノ背後ニハ、對日紛糾ヲ助成シテ、蒋介石ヲ窮地ニ陥レントノ策謀モ加ハリ、形勢ノ惡化ハ免レ難キモノト觀測サレタノデアリマス

兎モ角事態斯ノ如クシテ、彼我軍隊ノ交戦ヲ見ルニ至リマシタノデ、帝國海軍ハ更ニ其待機兵力ヲ急派致シタノデアリマスルガ、當初ハ僅ニ二千七八百ノ寡兵ヲ以テ、十倍餘ノ敵ト對峙致シマシテ、而モ我ガ陸戰隊ノ警備區域デアリマスル間北方面ハ、

煉瓦造等ノ家屋ガ十重ニ二十重ニ櫛比致シマシテ、恰モ天然ノ要塞ヲ形成シ、敵ハ其間ニ堅固ナル防禦陣地ヲ構築シテ我ヲ攻撃シ、又支那獨特ノ便衣隊ナルモノヲ多數租界内ニ潛入セシメマシテ後方ヲ攪亂シ、而モ亦各國ノ利害相錯セルニ乘ジ、故意ニ我方ト第三國間ノ紛爭ヲ惹起セシメントスル支那側ノ惡辣ナル陰謀奸策ガ、盛ニ行ハレルト云フヤウナ有様デ、作戰上極メテ不利ナ狀況ノ下ニ行動シタノデアリマスガ、我ガ陸戰隊ハ、堅忍不拔克ク善戰致シマシテ、敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ、彼等ヲシテ我ガ警備區域内ニ一步モ踏入レシメズ、上海ニ於ケル我ガ地歩ヲ死守シタノデアリマス、併ナガラ一方海軍兵力ヲ以テ陸戰隊ヲ増援スルノニハ、自ラ一定ノ限度ガアリ、且ツ前ニ申上ゲマシタヤウナ地形上ノ關係モアリ、加フルニ各種複雜ナル國際關係等モアリマスノデ、遠ク前ヘ出マシテ、其禍根ヲ斷ツト云フヤウナ譯ニモ參ラナカッタノデアリマス、而シテ他方支那側ハ續々増援隊ヲ集中スルト云フ狀況デアリマシタノデ、遂ニ二月初旬陸軍、出兵トナリ、次デ更ニ同月下旬第二回ノ増兵ヲ見ルニ至タノデアリマス

海陸軍ノ協同動作ハ、極メテ圓滿調ニ進捗致シマシテ、陸兵ノ輸送及護衛並ニ揚陸擁護ハ勿論、吳淞砲臺獅子林砲臺ノ攻略ヲ初メトシ、殊ニ海軍飛行機ガ上海方面ニ於ケル航空權ヲ完全ニ獲得致シマシタル結果、陸上作戰ニ於キマシテハ、我ガ飛行機ヲ以テ恩フガ儘ニ敵陣地乃至敵ノ集結部隊等ニ對シ痛撃ヲ加ヘルコトガ出來タノデアリマシテ、今次事變ニ於ケル海陸軍ノ協同作戰ハ、實ニ世界史上稀ニ見ル美事ナモノデアリ、皇軍ノ威力ニ無限ノ強味ヲ加ヘタガ如キ感ガ致シタノデアリマス

上海方面ニ於ケル戰鬪行爲ハ、去ル一日乃至三日ニ互ル我ガ陸海軍ノ總攻撃ニ依テ、彼ニ徹底的な打撃ヲ與ヘマシタ結果、國

際都市タル上海自體、及ビ其咽喉ヲ扼セル
國際水路ノ安全モ確保サレマシテ、先ヅ茲ニ
一段落ヲ告ゲタ次第アリマス、是レ畢竟
陛下ノ御稜威ヲ仰ギ、國民ノ熱誠ナル後
援ニ感激シタル出征將士ノ功勞ナリト信
ジ、洵ニ感激ニ堪ヘザル次第アリマス、
而シテ此事變ノ爲メ忠死セシ將士ノ英靈ニ
對シテハ、深甚ノ敬意ヲ表スルモノデアリ
マス

海軍ト致シマシテハ、事件ノ收マリ次第、
一日モ速ニ増派部隊ヲ復歸セシメテ、教育
訓練其他ノ整備ヲ致シ、以テ海軍本來ノ實
力ノ維持増進ニ努力致シタイノデアリマシ
テ、先ヅ以テ彙ニ聯合艦隊ヨリ臨時第二艦
隊ニ編入セラレマシタ第三艦隊、第一水雷
戰隊、第一航空戰隊等ヲ復歸セシメタ次第
デアリマスガ、向ホ諸般ノ情勢ニ鑑ミマシ
テ、當分ノ間從來ノ第一遣外艦隊以外ニ、
尙ホ若干ノ部隊ヲ殘留セシムル必要ガアル
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

向ホ又上海方面以外、支那沿岸各地ニ於
キマシテハ、支那側虛妄ノ宣傳ニ因リマシ
テ、屢、人心ノ動搖ヲ見タノデアリマス
ガ、所在我ガ海軍警備部隊ト出先外務官憲
トノ協力善處ニ依リマシテ、只今迄ノ所、
特ニ申述ベキ重大ナル事端ノ發生ヲ見ズ
ニ經過致シテ參、テ居リマス、以上ハ今次上
海事件ニ關スル經過ノ概要デアリマス

帝國海軍ハ常ニ我ガ政府ノ方針ニ則リ、
隣邦支那トノ親善融和ヲ念トシ、相提携シ
テ和平確保ノ使命ニ精進セントスルモノデ
アリマスガ、苟モ公道ヲ無視シ、正義ニ反
スル相手國ノ態度ニ對シテハ、敢然トシテ
其非ヲ匡正スルノ要アリト信ズルモノデア
リマス(拍手)希クハ支那側ニ於テモ、今次
ノ事變ニ深ク反省自覺スル所アツテ、將來所
謂禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ結果ヲ見ルニ至ラ
ンコトヲ切望シテ已マザル次第デアリマス
(拍手)

○議長(秋田清君) 高橋大藏大臣

官報號外

昭和七年三月二十三日

衆議院議事速記第二號

(第一號)昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(緊急事件)外三件

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 昭和六年度及七
年度歳入歳出總豫算追加、此一括サレマシ
タ四案ニ付テ簡單ニ説明ヲ致シマス、第一號
ノ昭和六年度歳入歳出總豫算追加ハ、滿洲
事件ニ關シ昭和六年度中ニ陸軍省及海軍省
ニ於テ要スル經費ヲ見積リタルモノデアリ
マシテ、其金額ハ陸軍省所管ニ屬スルモノ
六百五十六萬七千二百三十三圓、海軍省所管ニ
屬スルモノ一百一十一萬九千九百五十八圓、合計
七百六十八萬七千二百九十一圓デアリマス、
是ガ財源ハ借入金ニ依リ計畫デアリマス、昨
年九月滿洲事件突發以來、滿洲事件ニ關ス
ル經費トシテ今日マデニ支出シマシタ金額
ハ、外務、陸軍、海軍ノ三省ヲ通ジマシテ、
七千九百八十餘萬圓デアリマシテ、内昭和
六年度ノ歳出豫算節約額ヲ復活シタルモノ
ガ三百十餘萬圓、第二豫備金支出ノ分ガ六
百九十餘萬圓、財政上ノ緊急處分ニ依ル公
債金ヲ財源トシテ、豫備金外支出ノ分、六
千九百七十餘萬圓デアリマス、之ニ今回ノ
追加豫算ヲ加ヘマス、昭和六年度ニ於ケ
ル滿洲事件費ノ總額ハ八千七百三十餘萬圓
ニ達スルノデアリマス

次ニ第二號ノ昭和六年度歳入歳出總豫算
追加ハ、恩給ノ豫算ニ不足ヲ生ジマシタ爲
メ、之ニ追加ヲ要スルモノデアリマシテ、
其金額ハ百四十二萬二千四百七十一圓デア
リマス、是ガ財源ハ昭和六年度豫算實行上
ノ歳入超過額ヲ以テ、之ヲ支辨スル計畫デ
アリマス

五十一萬九千八百八十五圓デアリマス、是ガ財
源ハ公債ニ依リ計畫デアリマス
次ニ特第一號昭和七年度各特別會計歳入
歳出豫算追加ハ、關東廳並ニ公債金特別會
計ノ追加豫算デアリマシテ、關東廳ノ分ハ
昭和七年度ニ於テ、滿洲事件ノ爲ニ關東廳
ニ於テ要スル經費ノ内、四五ノ兩月分ヲ見
積リタルモノデアリマシテ、其金額ハ三十五萬
四千二百三十六圓デアリマス、是ガ財源ハ
公債ニ依リ計畫デアリマス
又公債金特別會計ノ分ハ、前ニ説明シマ
シタ昭和七年度滿洲事件費ノ財源トシテ發
行スル公債金ヲ、一般會計並ニ關東廳特別
會計ニ繰入レル爲ノ追加豫算デアリマシテ、
所謂通り抜ケノ勘定ニ屬スルモノデアリマ
ス
以上ノ四案ハ何レモ緊急避クベカラザル
經費ニ關スル追加豫算デアリマスカラ、速
ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス(拍手)
○議長(秋田清君) 是ヨリ質疑ヲ許シマ
ス——山道襄一君
(山道襄一君登壇)
○山道襄一君 總理大臣ヲ始め各大臣ノ議
案ニ對スル御説明ヲ承リマシタ、之ニ對シ
マシテ質疑ヲ致シマスニ際シテ、關聯致シ
テ一言申上ゲテ置キタイノデアリマス
一昨日ノ本議場ニ於キマシテ、忠勇ナル
在外ノ我ガ軍隊ニ對シテ、本院ハ滿場一致
ヲ以テ感謝ノ決議ヲ致シタノデアリマス、
今回ノ滿洲並ニ支那ニ關スル事件ニ付テノ
帝國軍隊ノ行動ハ、申スマデモナク自衛權
ノ行使ニ終始致シテ居ルノデアリマス、之
ニ要シマスル費用ニ對シマシテハ、我黨ハ
進ンデ協賛ヲ與ヘタイコトヲ思フノデアリ
マス、只今陸軍大臣ノ御演說中ニモアリマ
シタ如ク、此重大ナリ時局ニ際シテ國防ノ第
一線ニ立テル忠勇ナル軍隊ノ諸君ニ向ッテ、
吾々ガ滿場一致ヲ以テ此豫算ニ協賛ヲ與ヘ
マスルコトガ、是等在外將士ノ後援トナリ、
之ニ依ッテ士氣ノ鼓舞ヲ致シ、更ニ尊キ機

性トナラレマシタ所ノ吾々ノ同胞ノ英靈ヲ
慰メルコトノ一端トモナリマスルナラバ、
吾々ハ實ニ本懐ノ至リニ堪ヘヌト考ヘテ居
ルコトヲ一言致シテ置クノデアリマス(拍
手)
唯々外交ノ問題ニ關シマシテハ、若シ一
たび其措置ヲ誤ルガ如キコトガアリマシタ
ナラバ、洵ニ取返シノ付カザル國家ノ大損害
デアルト共ニ、此忠勇ナル軍隊ノ勤キニ對
シテ、又一命ヲ賭シテ戰ハレタル英靈ニ對
シテ、吾々ハ何トモ申譯ノナイ事態ヲ惹起
スコトヲ心配ヲ致スノデアリマス(拍手)ソ
レ故ニ此軍事豫算ニ對シマシテハ進ンデ協
賛ヲ與ヘマスニ當リテ、全國民ガ齊シク私
同様に憂慮ヲ致シテ居リマス外交ノ事柄
ニ付テ、二三ノ質問ヲ致シタイノデアリマ
ス
併シ今ヤ時局ハ極メテ重大デアリマス、
殊ニ外務大臣芳澤氏ハ嘗テハ帝國ノ代表ト
シテ、「ジュネーヴ」ニ於ケル國際聯盟會
議ニ於テ、又現在外務大臣トシテ、此事件
ノ勃發以來極メテ大ナル奮闘努力ヲ續ケラ
レテ居ルノデアアルノミナラス、單ニ列國ト
樽俎折衝ノ任ニ當タラレル苦心ノミナラ
ズ、人知レザル所ノ幾多ノ苦心ヲ有セラレ
テ、此難局ニ當リテ居ラル、コトニ對シテ、
十分ナル敬意ヲ、十分ナル同情ト有シテ
居ル者デアリマス、故ニ此際私ハ多クノ言
葉ヲ用ヒテ敢テ之ヲ難詰セントシ、或ハ之
ヲ叱責セントスルト云フガ如キコトハ致シ
マセヌ、總テノ行掛リヲ打捨テ、眞ニ國
民代表ノ立場ニ於テ質問ガ致シタイと思フ
ノデアリマス(拍手)故ニ私ノ間ハントス
ル所ハ悉ク國民舉ゲテノ心配デアリ、又此
重大ナル時局ニ對シテ、吾々ガ此信念ヲ以
テ質問ヲ致シマスル以上ハ、何卒内閣諸公
モ親切丁寧ニ此議場ヲ通シテ國民ニ説明ヲ
與ヘラレンコトヲ、豫メ御願ヲ致シテ置ク
ノデアリマス
凡ソ一ツノ國家ヲ建設致シマスコトハ、

容易ナコトデアリマセヌ、最近ノ世界大戰ノ後ニ於ケル歐羅巴ニ於キマスル小國建設ノ、アノ苦心ノ狀態ヲ見マシテモ明カナ事柄デアリマス、然ルニ最近亞細亞ノ一角ニ於キマシテ、殊ニ吾々ト密接ナル利害關係ヲ有スル此接壤地帯ニ於キマシテ、滿洲國ガ生レ出タノデアリマス、而モ此滿洲國ノ建設ハ、極メテ無難デアリ、而シテ最モ輕キ言葉デ申シマスレバ、スラスラト出来上リタノデアリマス、恐ラク斯ノ如キ狀態ニ於テ國家ガ建設セラレタコト云フコトハ、世界ノ東西古今ニ於テ稀ニ見ル事柄デアルト考ヘマス、何方故ニ斯ノ如ク無難ニ、斯ノ如ク容易ニ、此滿洲國ガ生レ出デタカヲ考ヘテ見マス、私ハ斯ク信ズルノデアリマス、此滿蒙ノ地方、從來歴史のニモ、政治的ニモ、支那ノ中央政權カラ全ク獨立ヲシテ居タコト云フコト是ガ一ツノ事實デアル、更ニモウ一ツ、此三千万ノ住民ノ心ガ、支那ノ中央政權ト全然離レ、舊滿洲ノ勢力政權ト全然離レテ居タ、從テ此三千万民衆ノ新國家組織ニ對スル精神ガ、全ク一致シテ居タコト云フコト如實ニ物語テ居ルモノデアルト私ハ考ヘル者デアリマス、斯ノ如キ國家ニ對シマシテハ、吾々ハ非常ナル祝意ヲ表シ、非常ナル敬意ヲ表サナクテハナラヌ、同時ニ吾々ハ之ニ對シテ、多大ナル同情ト多大ナル好意ト有スル必要アルコトヲ感ズルノデアリマス、恐ラクハ此私ノ發言ハ、全日本國民ノ同様ナル考デアラウト云フコトヲ茲ニ信ズルノデアリマス(拍手)是ハ濱口內閣、若槻內閣、而シテ現犬養內閣ヲ通ジテ一貫シタル考デアリ、思慮デアルコトヲ信ズルノデアリマス、吾々ハ此隣人此隣邦、而シテ同種同文デアリマス所ノ此新國家、此新國民ニ對シ、非常ナル同情ヲ與ヘナケレバナリマセヌ、併シ今日ノ場合ニ於テ、此問題ニ付テハ、極メテ國際的ニ微妙ナル關係ノアルコトヲ信ジマスガ故ニ、多クノ言葉ハ費シマ

セヌ、唯茲ニ開イテ置カナケレバナラヌコトハ、此關係ニ在リ、此立場ニ在リマスル所ノ此新國家ガ、先進諸國家ニ對シ承認ヲ求メテ居ル一事デアリマス、凡ソ國家ノ承認ハ、或ル場合ニハ之ヲ求ムル者ヨリモ之ヲ與フル者ニ於テ必要ガアルコトガアルコトヲ感ズナケレバナラヌノデアリマス、茲ニ土地ガアリ、住民ガ居リ、而シテ其處ニ主權者ガアルナラバ、其國家ハ法理上成立シ得ルデアリマセウ、併シ其國家ト利害ヲ有シ、其國家ニ對シ、何モノカノ關係ヲ有シマス場合ニハ、求ムル者ヨリモ與ヘル者ニ於テ多クノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ場合ガ幾多アルノデアリマス、帝國ノ現狀ヨリ致シマスナラバ、先ニ申シタル如ク彼我ノ歷史的關係、或ハ地理的關係、又ハ經濟的關係、是等ノ場合ニ於テ、私ハ特ニ我が政府ガ滿洲國ニ對スル態度ニ付テ、先刻ノ外務大臣ノ御説明ヨリモ、モウ一步進シタル、國民ヲシテ安心セシメ得ル程度ノ御説明ガ出來ルナラバ、其御説明ヲ承リタイノデアリマス、更ニ最近ノ世界各地ヨリ傳ハリマスル報道ニ依リマスレバ、此若キ國民ニ對シ、必ズシモ有利ナル報道ノミデアリマセヌ、故ニ列國ノ滿洲國ニ對スル態度ニ對シ、我が帝國ハ如何ナル措置ヲ執ルノデアルカ、如何ナル覺悟ヲ有シテ居ルノデアルカト云フコトモ、併セテ此場合ニ承テ置キタイノデアリマス(拍手)此問題ニ付テハ、私ハ今申シマシタ如ク、國際上極テ微妙ナル關係ノアルコトハ承知シテ居リマスガ、願クハ政府トシテ、爲シ得ル最大限度ノ御言葉ヲ以テ、御答辯下サランコトヲ御願ヲシテ置キマス

次ニ御尋ヲ致シタイノハ上海事件ニ關スルコトデアリマス、上海事件ニ關シマシテハ、私極メテ多クノ御尋ヲ致シタイコトガアリマス、併ナガラ今日ノ場合、之ヲ試ルコトハ其時機ニ非ズト信ジマス、故ニ之ヲ他日ノ適當ナル機會ニ譲リタイト考ヘマ

ス、唯、今日私ノ御尋ヲ致シタイコトハ、此上海事件ニ對スル處理ニ付テハ、軍事上並ニ外交上如何様ナル處理ヲ爲サントシテ居ラレリノデアルカ、特ニ最近上海ニ開カレテ居リマス日支停戰ノ交渉ノ顛末ニ付テ承リタイノデアリマス、其顛末ノ中ニ於テモ、若シ帝國ノ軍隊ガ撤退ヲ致シタ場合ニハ、其地域ニ於ケル治安維持ハ如何ナル方法ニ依リテ之ヲヤラル、カト云フコトハ、特ニ御尋ヲ致シテ置キタイノデアリマス(拍手)

尙ホ更ニモウ一ツハ、政府ハ此上海ニ在アル帝國軍隊ノ撤收ニ向テ努力セラレツ、ニ、政府ガ上海事件ニ付テ聲明セラレタ所ノ、其聲明書ノ第五項及第六項ノ目的ヲ達シタルガ故ニ、此撤收ニ著手シタト言ハレリノデアルカ、或ハ二月七日ノ聲明ノ第五及第六ノ目的ヲ達スルノ成算ガ出來タルガ故ニ、此撤收ノ開始ヲ致サレタコト云フノデアルカ、此點ハ特ニ明ニシテ置イテ戴キタイノデアリマス、今ヤ全國民ハ上海事件ニ付テハ多大ノ憂慮ヲ有テ居ルノデアリマス、而モ此事件ノ取扱方ノ如何ニ依リマシテハ、帝國ノ外交、帝國ノ軍事等ニ及ボシマス惡影響ガ、極メテ甚大ナルモノガアルコトヲ私ハ信ズルノデアリマス(拍手)

故ニ國家ノ爲メ、國民ノ爲メ此質問ニ付テモ特ニ詳細ナル御説明アランコトヲ御願致スノデアリマス

最後ニ私ノ御尋致シタイコトハ、今回ノ滿洲ノ支那ノ事件ニ關係致シマシテ、國際聯盟ノ執レタル態度ニ付テデアリマス、總理大臣ヲ始メトシテ、各大臣ノ御演說中ニモアリマシタ如ク、今回ノ事件ハ、近年ノ支那ノ態度ガ餘リニ驕慢デアリ、餘リニ背德ナル、其結果甚シキハ帝國ト結ンダル條約ヲ無視シ、或ハ帝國ノ既得ノ權益ヲ蹂躪シ、或ハ帝國居留民ノ生命財產ヲ危殆ニ陥ラシムルガ如キ行動ヲ執リタルコトガ、是ガ今回ノ事件ノ勃發ノ原因デアリ、今日ニ至テ居ル所以デアアルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、帝國政府ハ最初ヨリ此事件ニ付テハ自衛權ノ發動デアアルコトヲ聲明致シ、而モ如何ナル場合デモ吾々ノ既得權益ノ擁護ガ出來、吾々居留民ノ生命財產ノ安固ヲ保チ得ラレバナラバ、イツ何時デモ撤兵シ、イツ何時デモ日支交渉ニ應ズル用意ノアルコトハ絶エズ聲明致シテ居ルノデアリマス、隨テ帝國ハ此建前ヲ以テ此事件ヲ扱テ來テ居リマスガ故ニ、國交斷絶ノ虞アル場合ノ規約デアアル國際聯盟第十五條ノ適用ノ必要ナキコトヲ、幾度モ繰返シテ主張致シテ居ルノデアリマス、故ニ滿洲事件ノ圓滿ナル解決ノ途ハ唯、日支直接ノ交渉ニ依リテ之ヲ遂ゲ得ラル、モノデアアルコトハ、芳澤外務大臣ガ「ジュネーヴ」ニ於ケル、國際聯盟ノ會議ニ於テ帝國代表タリシ時ニモ屢々聲明セラレ、此發言ヲセラレテ居ルノデアリマス、帝國政府モ昨年ノ九月十九日、或ハ九月二十四日ノ聲明、十月十二日ノ回答、九月三十日ノ會議、或ハ今年ノ二月四日外務大臣ガ英米佛ノ三國大使ノ來朝ニ對シテ答ヘラレタル其中ニモ、明ニ之ヲ明言セラレテアル通りデアリマス、只今ノ御演說ニモ是ガアッタノデアリマス、而モ單ニ日本ノ聲明ノミナラズ、此事ニ付テハ御承知ノ如ク、昨年ノ九月三十日ニ於ケル國際聯盟理事會會議ノ席上ニ於テ、英國代表デアアル「セシル」卿ハ、支那ノ國際聯盟第十五條ノ適用ノ要求ニ對シテ深ク之ヲ窘メ、今回ノ此「ジュネーヴ」ノ會議ハ聯盟規約第十一條ニ依リテ招集セラレタ會議デアアル、而モ今日事態ハ漸次改善セラレツ、アル、第十五條ノ適用ヲ致スト云フガ如キコトハ斷ジテ不可デアル、幾多ノ係争事件ソレ自身ハ、兩當事國自身ニ於テ解決ニ努力スルコトガ當然ノ義務デアルト云フ事迄極言致シ、會議ハ之ヲ謹聽シ、而モ其日ノ決議、九月三十日ノ決議ノ第六項ニ於テ、兩國直接ノ交渉ヲ明ニ聯盟ハ承認シテ

居ルノデアリマス、是ハ私ガ繰返シテ申上ゲルマデモナイコトデ、而モ昨年ノ十二月十日ニ於テ決定サレタ滿洲並ニ支那ニ對シ、國際聯盟ヨリノ特別調査委員派遣ノ決議ノ如キ、國際聯盟ソレ自體ガ滿洲及支那ニ關スル知識ガ缺乏シテ居ルガ爲ニ、此派遣ヲ致スト云フコトニナツタコトハ、現在ノ外務大臣デアリ、時ノ帝國代表デアッタ芳澤氏ノ疾ク御承知ノコトデアリマス、然ルニ斯ノ如ク明確、斯ク如ク事理明白ナル決議ガアルニ拘ラズ、今年三月十一日ノ國際聯盟特別總會ニ於キマシテハ奇怪千萬ナル決議ヲ致シテ居ルノデアリマス、其決議ノ内容ニ付テハ、私ガ今更之ヲ申上ゲルマデモナク、外務大臣御承知ノ通りデアリマス、此決議ニ依リマスレバ聯盟規約第十五條ヲ滿洲事件ニマデ適用セントスルノデアリマス、之ニ依テ如何ナル事ヲ生ズルカト云フナラバ、奇怪千萬、遺憾至極ノコトガ生ズルノデアリマス、大體國際聯盟ガ、曩ニハ特別調査委員ヲ滿洲ニ派遣シテ、其報告ヲ俟テ、此事件ノ最後ノ決定ヲ與ヘルト云フコト、ナリ、滿洲事件ハ國際聯盟規約第十一條ニ依テ之ヲ處理スルト云フコトニ確定サレテ、特別委員派遣トナツテ居ルノデアリマス、其委員ハ日本ヲ經テ上海ニ至リ、滿洲ニ至ラントシテ、目下調査中デアアルノデアリマス、然ルニ其報告ヲ俟タズシテ、國際聯盟ガ自ラ知識ノ缺乏ヲ認メナガラ、缺乏シテ居ル此知識ノ儘デ、第十五條ヲ適用シテ此事件ノ處理ヲセントスルガ如キコトハ、何ト考ヘテ見テモ明カニ不徳義ナル行爲デアルト私ハ思ハナケレバナリマセヌ

ヲ得ヌノデアリマス(拍手)更ニ又日本ガ幾度ビカ承認ヲ與ヘマシタ所ノ其聲明、其留保ニ對シテ、彼等ハ之ニ向テ承認ヲ與ヘテ置キナガラ、此日本ノ聲明、此日本ノ留保ヲ蹂躪スルガ如キ決議ヲ致スコトニナルノデアリマスガ、是ハ確カニ不當ナル決議不當ナル會議デアルト言ハナケレバナリマセヌ、此不當ナル態度、此不法ナル態度、此不徳義ナル態度、ソレニ依テ開カレタル所ノ此三月十一日ノ國際聯盟特別會議ニ向テ、帝國政府ノ代表ハ、政府ノ命ヲ受ケテ出席シテ、之ニ發言スルトハ一體何事デアリカト云フコトヲ私ハ承テ見タイノデアリマス(拍手)

斯ノ如キ會議ニ參加ヲ致シテ——斯ノ如キ會議ニ向テ參加シタル以上ハ、其留保ヲ致サウトモ、棄權ヲ致サウトモ、苟クモ之ニ向テ參加ヲ致シタル以上ハ二重ナル不徳ナル、不法ナル、不徳義ナル會議ヲ、日本帝國ノ政府ガ承認シタルト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ所見ヲ明ニ伺フテ置キタイノデアリマス(拍手)極メテ是ハ重大ナル事柄デアリマス、一體斯ノ如キ不都合ナル會議ガ開催サレト云フコトハ、今年二月二日ノ日ニ接受セラレマシタ所ノ英米佛三國ノ通牒ニ依テデモ、明ニ想像シ得ラレタコトデアリマス、少クトモ此二月初ヨリ三月十日ニ至ルマデ、四十幾日カノ日ノ間ニ之ニ向テ、之ヲ防グ爲ニ、政府ハ如何ナル措置ヲ執ラレタノデアリカ、之ヲ私ハ承リタイノデアリマス、唯一片ノ聲明ヲ爲シテ、之ニ對スル何等ノ措置ヲ執ラレタコト云フコトハ、怠慢失態モ亦甚シキモノデアルト思ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)此點ハ先ニ外務大臣ノ御演說中ニ、近時歐羅巴ノ小國ノ態度ガ、甚ダシク帝國ニ對シテ不利益ニナツテ來タ、是ハ或ハ支那ノ宣傳ニ依リ、或ハ誤解ニ依ルト言ハレマシタ如ク、其支那ノ宣傳ニ依リ、誤解ニ依テ、左様ナル態度ヲ招

クヤウナ、政府ハ今日マデ安閑トシテ之ニ對スル何等ノ對策ヲ講ゼズ、此誤解ニ對スル辯明ヲナサズデ居ラレタノデアアルノデアリマセヌカ、若シ努力セラレタナラ、如何ヤウニセラレタコト云フコトヲ承リタイノデアリマス、若シ斯ノ如キコトニ對シテ、爲スベキ何等ノ行動ヲ執ラレタナラ、カッタスルナラバ、洵ニ驚クベキ所ノ怠慢デアリ、驚クベキ所ノ失態デアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)而モ、此三月十一日ノ會議ニ於テ、我國ガ聯盟規約第十五條ノ適用ヲ留保シタル稱セラル、モ、代表ガ會議ニ出席シテ棄權シ、殆ド滿場一致ノ形ヲ以テ會議ノ決議ヲ爲サシメタト云フコトハ、取モ直サズ國際聯盟規約第十五條ノ第十項ノ決議ヲ爲サシメタコトニナルノデアリマス、何故ニ堂々其不法不當不徳義ヲ責メテ、反省ヲ求メ、少クトモ大國ノ一ラシテ反對セシメナカッタカ、此間ニ盡スベキ幾多ノ手段ガ外交官トシテナクテハナラヌ、外務當局トシテナクテハナラナカッタ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテハ如何ナル對策ヲ有チニナツテ居ルカ、之ヲ私ハ承リタイノデアリマス、前若槻內閣ノ當時決定シテ居タ滿洲事件ヲ覆ヘシタ大失態デアアル(拍手)

若シ之ニ對シテ明確ナル御答辯ガ得ラレマセナラバ、恐ラクハ日本ノ國、近代日本ニ於テ斯ノ如キ失態、斯ノ如キ怠慢ナル外交ナカリシコトヲ思フ、之ニ對スル政府ノ責任、外務大臣ノ責任ヲ明ニシテ置イテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、願ハクハ十分ナル御言明ヲ與ヘラレンコトヲ願フノデアリマス(拍手)

(國務大臣芳澤謙吉君登壇)
○國務大臣(芳澤謙吉君) 只今宮道君ヨリ山道君ヨリ……間違ヒマシタ、甚ダ失禮、山道君ヨリ御出シニナリマシタ御質問ニ答辯致シマス、山道君ノ御質問ノ第一ハ滿洲國ニ對シテ何故早ク承認ヲ與ヘナイカ(違フ)「默」テ聞ケ」ト呼ビ其他發言スル者

多シ)約言スレバ、サウ云フ風ニ諒解致シマシタ、日本政府ハ滿洲國ノ出現ニ付キマシテハ慎重ナル考慮ヲ盡シマシテ、各般ノ情勢ヲ考ヘタ上デ承認ヲ與ヘル考デアリマス、只今ハ急イデ之ヲ與ヘルコトハ見合シテ居ルト云フ狀況デアリマス、ソレカラ滿洲國ノ出現ニ就テ、歐米諸國ノ之ニ對スル態度ハドウデアアルカト云フ御質問モアリマシタガ、只今政府ノ領收致シテ居ル歐米諸國カラノ報道デハ、マダ歐米各國ニ於キマシテモ、承認ヲ與ヘルト云フ模様ハナイノデアリマス

ソレカラ第二ニ上海事件ノ處理ニ付テハ、ドウ云フ措置ヲ執ラレタカ、停戰交渉ニ付テノ願末ヲ説明シテ呉レト、斯ウ云フ御註文デアリマス、新聞デモ御承知ノ通り只今停戰交渉ハ進行デアリマス、サリナガラ交渉者ノ間ニ約束ガアリマシテ、交渉ノ内容ノ公表ハ出來ナイコトニナツテ居リマス、ソレデ只今此點ニ付キシテ御説明ノ出來ヌコトハ私ノ遺憾トスル所デアリマス(拍手)ソレカラ日本政府ハ軍隊ヲ撤收スル場合ニハ、從來ノ聲明ノ趣旨ニ反スルヤウナコトハ致シマセヌ

第三ニ國際聯盟ニ於ケル總會ノ三月十一日ノ決議ハ、甚ダ不都合デアアル、又何ガ故ニ日本政府ハ斯ノ如キ總會ニ代表ヲ出席セシメタカト、斯ウ云フ御質問デアリマス、只今ノ御質問ノ中ニモアリマシタ通り、日本ノ代表ハ三月十一日ノ決議ニ對シマシテ、日本ノ立場ヲ闡明シテ、第十五條ニ關スル留保ヲ維持シテ棄權シタルデアリマス、是ハ何處ノ國際會議デモ、如何ナル條約ヲ結ブ場合ニモ、留保ヲスルト云フコトハ能クアル、國際聯盟ノ理事會ナリ、總會ナリニ於キマシテモ、過去ニ先例ハ多クアルノデアリマス(拍手)何故サウ云フ態度ヲ執ルナラバ、最初カラ總會ニ我が代表ヲシテ出席セシメタカト云フ御質問ノ趣旨カトモ解釋サレルトデアリマスルガ、御承知ノ通り滿

洲半變及上海事件ハ、全世界ノ耳目ヲ驚動シテ居ル非常ナル大問題デアリ、此大問題ガ國際聯盟ノ總會ナリ、其他ノ會合ニ論議セラレテ居ル際、日本政府トシマシテハ、出來得ルだけ日本ノ立場ヲ十二分ニ説明シテ、各國ヲシテ能ク諒解セシメル措置ヲ執ルト云フコトガ、是ハ必要デアッテ、日本ノ爲ニ得策ト考ヘタ爲メデアリマス(拍手)併ナガラ其總會ノ決議若クハ結論ニシテ、日本ニ取テ受諾シ難イモノガアレバ留保スルノガ當然デアリマス(拍手)

(山道襄一君登壇)

○山道襄一君 只今ノ外務大臣ノ御答辯ニ對シマシテ、重ネテ一言申述ベテ置キマス、第一ノ問題タル滿洲國ノ件ニ付テハ、各般ノ狀態ニ鑑ミテ承認ヲ與ヘル積リデアルト云フ御答辯デアリマシタ、此問題ニ付テハ、時節柄は以上私ハ追窮ハ致シマセヌ上海事件ニ付キマシテハ、今相互ノ間ニ約束ガアル爲ニ、其顧末ニ付テ述ブルコトガ出來ヌト云フ御話デアリマシテ、私ハ敢テ交渉ノ内容ニマデ立至テ伺ヒタイト申スノデハアリマセヌ、政府ガ政治的ニ、軍事のニ、外交的のニ、此事件ヲ如何ニ處理セラレル積リデアルト云フコトヲ質問シタノデアリマス、撤兵區域ノ治安ヲ如何ナル方法ニ維持スルカト云フコト、帝國軍隊ノ撤收ヲ致スト云フ場合、帝國軍隊ノ撤收ヲ致スト云フ場合ニ、殊ニ重要ナ聲明デアアル所ノ二月七日ノ聲明、其重要項目タル第五、第六ニ對シテハ、外務大臣トシテ、政府トシテハ相當ナル御考ガ付キ、相當ナル目度ガ付イテ居ルカドウカ、若シ是ガ付カナケレバ、輕々シク左様ナ交渉ニ應ゼラルベキデハナカラウト云フコトハ、極メテ大切ナコトデアルト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)此二點ハ大切ナコトデアリマスカラ明ニシテ置カレンコトヲ望ンダノデアリマス

更ニ私ハ第三ノ國際聯盟ノ問題ニ付テハ、洵ニ外務大臣ガ私ノ言葉ヲ正當ニ御解シ下サラザリシコトヲ遺憾ニ考ヘマス、御苦衷ハ私ハ御察シ致シマス、外交上ノ立場ニ於ケル御苦心ハ何處マデモ私ハ御察シ致シテ居ルノデアリマス、唯前若槻內閣ノ當時ニ於テ、即チ昨年十二月十日ノ聯盟會議ヲ限リトシテ、滿洲問題ニ付テハ、聯盟規約第十五條ノ適用ハシナイ、事件解決ハ日支兩國ノ直接交渉ニ委ヌルト云フコトニ確定シテ、唯其最後ノ決定ヲスルノニ特別調査委員ヲ派遣シ、實情ヲ調査セシムルト云フコトニ決定シタモノヲ、今更ニ滿洲ニ規約第十五條ヲ適用スル委員ガ出來ルト云フガ如キコトハ、同一ノ問題ニ付テ、異ナタル二ツノ條項ニ基イテノ委員會ガ二ツ作ラレ、總會ガ二ツ開カレルト云フコトニナル、斯カル不法不當不德義ノ會議ニ、日本ガオメノト捺込マレテ、サウシテ拔差シナラザル狀態ニ陥リ、其經過ガ聽キタイ、其責任ガ聽キタイ、其對策ガ聽キタイト申シタノデアリマス、アナタガ棄權ヲシタコトニ付テハ御辯明、留保ヲシタコトニ付テハ御辯明、是ハ是マデノ立場ヲ唯々僅ニ辯明セラレ、釋明セラレタルニ過ギマセヌ、今回ノ此渦中ニ捲込マレ、斯ノ如キ所ノ不法ナル、不當ナル、不德義ナル會議ニ捲込マレ、オメノトシテ居ルナラバ、大體規約第十一條ニ基イテ現在支那ニ派遣セラレテ來テ居ル特別調査委員ヲ何ト爲サル積リデアるか、是ガ御聽キシタイ、若シ後ノ總會ガ正當デアラナラバ、最初ノ總會ハ消滅シナケレバナラヌ、最初ノ總會ガ正當デアラナラバ後ノ總會ハ消滅シナケレバナラヌノデハナイカ、其二ツノ會議ニ帝國代表ヲ出席サセレタ、而モ佐藤代表ハ此不法ヲリ、不當タリ、不德義タルコトニ付テハ、會議ノ席上ニ於テ何等ノ發言ヲ致シテ居ラヌデアリマセヌカ、斯ノ如キコトニナク又外務大臣ノ演説ニ於テ、歐羅巴小國ノ態度ガ近來甚ダ我國ニ對シテ不利益デア

ト言ハレタガ、斯クナルマデ政府ハ安閑トシテ居テ、此失態ニ立至ラシメテ居タノデハナイカ、若シ安閑トシテ居ナカッタラバ、之ニ對シテ如何様ナル方法ヲ講ジタカ、如何様ナル手段ヲ執リタカト云フコトノ御説明ガ何故出來ナイノデアリマスカ、斯ノ如ク小國ノ、吾等ニ對スル態度ガ甚ダ惡イ所ノ誤解ニ陥リ、惡宣傳ニ掛ッタ云フナラバ、何ガ故ニ惡宣傳ヲ妨ゲ、何ガ故ニ誤解ヲ解クダケノ努力ヲシナカッタカト云フコトヲ私ハ御尋ネシタイノデアリマス、此失態ハ殆ド日本ノ外交史上ニ、未ダ曾テ見ザル所ノ屈從的、退却的ノ失敗ノ外交デアリマスガ、之ニ付テノ責任ハドウセラレルカト云フコト、茲ニ重ネテ御尋フスルノデアリマス、若シ是レ以上ニ御答ガ出來ナイナラバ、私ハ他日ノ機會ニ讓リマスガ、願クバ是ハ國民ノ均シク心配ヲシテ居ル重大事件デアリマスカラ、親切ナル、眞面目ナル御答辯アランコトヲ望ムノデアリマス(拍手)

(國務大臣芳澤謙吉君登壇)

○國務大臣(芳澤謙吉君) 只今山道君ヨリ重ネテ御質問ガアリマシタガ、其第一ハ、上海事件ニ付テアリマス、政府ハ是マデ上海事件ニ付キマシテモ、屢々聲明致シテ居ル次第デアリマスガ、今後上海事件ヲ處理シ、軍隊ノ引揚ガ實行スル場合ニ付キマシテモ、是等ノ過去ニ於キマス聲明ノ趣旨ニ從テ、實行致ス考デアリマス、第二ハ、國際聯盟ニ於ケル滿洲問題ノ處理ニ付テハ、昨年來聯盟規約第十一條ニ依ッテ、聯盟理事會ガ處理シテ居タニ拘ラズ、今回第十五條ノ適用ヲ見ルニ至ッタ會議ニ、ナゼ日本ノ代表者ガ參加致シタカト云フ御質問デアリマスガ、支那ノ方カラ第十五條ノ適用ヲ請求シマシテ、其結果國際聯盟理事會ニ於テ之ニ應ジタノデアリマスガ、日本トシテ異議ヲ挾ンデ、此異議ヲ挾ンデ居ル留

保ノ下ニ參加致シテ居リマスルカラ、何等日本ノ權利利益ニ對シテ影響ガナイノデアリマス(拍手)

ソレカラ各方面ニ於ケル日本ニ對スル惡宣傳ニ對シマシテハ、御忠告ノ通り絶エズ政府ト致シマシテハ、是ガ是正ニ最善ノ努力ヲ致シテ居リマス、尙ホ申シ遅レマシタガ、最初ノ御質問ノ初頭ニ於テ、私ニ對シマシテ御懇ナル御言葉ヲ賜リ、厚ク御禮ヲ申上ゲマス(拍手)

(山道襄一君登壇)

○山道襄一君 外務大臣ニ對シテ重ネテ私ハ申上ゲマス、私ノ繰返シマシタ言葉ガ……(發言スル者アリ)

○議長(秋田清彦) 御靜肅ニ

○山道襄一君(續) 尙ホ外務大臣ノ御諒解ニ至ラザリシコトヲ甚ダ遺憾ニ感ジマス、勿論外務大臣ハ故ラニ私ノ言葉ヲ御諒解下サラナイノデハアリマスマイクレドモ、斯ク迄ニ私ガ明瞭ニ申上ゲタルコトゴ、ソレガ御返答ガ出來ナイト云フコトニ付テハ、洵ニ國家ノ爲ニ悲シマザルヲ得マセヌ、私ハ擧イ摘ンデ申上ゲテ置キマス

上海事件ニ對シ、我が撤兵地域ノ治安ヲ如何ナル方法ニ維持スルノカ、又、我が軍隊ノ撤收ニ付テハ二月七日ノ重大ナル聲明ノ第五、第六ニ對シ、ハッキリ目度ガ付イタ、其目的ガ達セラレタト仰シタルノカドウカ、之ニ付テ明確ニ答辯シテ、國民ニ安心ヲサセル必要ガアルコトヲ私ハ申述ベタデアリマス、又國際聯盟ノ問題ニ付テハ、アナタハ三月十一日ノ會議ヲ留保ヲシタト宣ハレマスクレドモ、帝國代表ガ出席シ、會議其モノ、非合法ナルコトヲ責メズシテ、國際聯盟規約第十五條第十項ノ決議ヲ爲スニ至ラシメルヤウナ形式ヲ採ラレタト云フコトニ付テ、重大ナル疑義ガアルノデアリマス、アナタガ若槻內閣時代ニ決定シタ規約第十一條ニ依ル會議ノ決定シタ特別委員會ヲ御認めニナルナラバ、二月十一日ノ特

別總會ノ無効ヲ主張セバナラヌ、然ルニ帝國代表ヲ會議ニ參加セシメテ居、之ニ關シ一言モ抗議サセテ居ラス、アナタハ此會議ノ開カルル前ニ、相當ノ對策ヲ講ジテ置カレナクテハナラス筈デアル、如何ニセラレタカ、又今後如何ヤウナ抗争策ヲ御執リニナルカラ私ハ聽キタイノデアリマス、サウシテ小國ニ對スル事ヲ努メタト仰シヤルガ、唯努メタ努メタダケデハ足りナイノデアリマス、如何ヤウナル手段、如何ヤウナル方法ニ依テ、小國ニ向テ誤解ヲ解クトニ努メラレタカ、支那ノ惡宣傳ニ對抗セラレタカ而シテアナタハ代表方規約十五條ノ留保ヲシタト言ハレマスガ、十五條ノ適用ヲ留保シタケデアテ、其他ノ事ハ、今申ス通り、不法ナル會議ニ對シテ何等抗議モ反對モ留保モシテ居ラヌ之ヲ如何ニ處置セラ、カト云フコトヲ御尋ネスルノデアリマス、是ガ政府トシテノ大ナル失敗デアル、之ヲ甚ダ遺憾ニ思フト云フノデアリマス

私ハ三度目ノ登壇デアリマスカラ、是レ以上問フコトハ出來マセヌ、他日ノ機會ニ譲リマスガ、願クバ斯ノ如キ重大ナル問題ハ、國家ノ爲ニ親切ニ、舉國一致ノ態度ヲ以テ局ニ當リ答辯セラレシコトヲ忠告シテ降壇スルノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 小川郷太郎君 (答辯シテ呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 外務大臣ハ發言ヲ求めラレマセヌ、仍テ議長ハ小川郷太郎君ニ發言ヲ許シマシタ

○議長(秋田清君) 小川郷太郎君登壇

○小川郷太郎君 昨今上程セラレテ居リマス豫算案ニ關聯致シマシテ、御尋ラシタイト思ヒマス

只今犬養總理大臣カラ、昭和七年度ノ豫算ハ第六十議會ノ解散ニ依テ不成立ニナッタガ故ニ、憲法ノ條章ニ依テ、前年度ノ豫算ヲ施行シタ、斯ウ云フ御説明ガアリマシ

タ、此豫算案モ追加豫算案トシテ出テ居リマスカラシテ、昭和七年度ノ豫算ハ前年度ノ豫算ヲ施行セラレモノト考ヘマス、所デ只今犬養首相ノ憲法ノ條章ニ依テ前年度ノ豫算ヲ施行セラレト言ハレルノハ、何デアアルカト言ヒマス、憲法七十一條ニ「帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セス又ハ豫算成立ニ至ラサルトキハ政府ハ前年度ノ豫算ヲ施行スヘシ」此事ヲ意味サレテ居ルノダト思ヒマス、然ルニ此條文ニ於キマシテ「成立ニ至ラサルトキハ」ト云フコトハ、前年度内ニ成立セザル時ハト云フ意味ト解スベキデアリマス、即チ三月三十一日マデニ、有效ナル議會ノ決議ガ豫算ニ關聯シテナカッタ時分ト云フコトデアラウト思ヒマス、勿論總豫算ガ議會ニ提出セラレテ居ルト云フコトヲ前提トシテ居リマス、然ルニ只今三月ニ臨時議會ガ開カレテ居リマシテ、茲ニ總豫算ハ提出セラレテ居リマセヌ、隨テ豫算ガ成立スルカ成立シナイト云フ問題ハ起ラナイ、即チ有效ナル議決ヲ爲スニ由ガナイノデアリマス、憲法七十條ノ精神カラ言ヒマスレバ、政府ハ總豫算ヲ此議會ニ提出スル必要ガアルノデハナイカ、是ハ憲法ノ精神カラ當然デアラウト思フノデアリマス(拍手)此點ニ付キマシテ犬養總理大臣ノ御答辯ヲ求メタイノデアリマス、或ハ會期ガ五日デアアルカラシテ、總豫算ヲ議スル追ガナイト言ハレルカモ知レマセヌガ、會期ヲ定メルノハ政府ノ自由デアリマス (發言スルモノ多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○小川郷太郎君(續) 會期ガ短イノ故ヲ以テ、憲法上ノ解釋ハ少シモ異ラナイト思ヒマス、又之ヲ政治論カラ考ヘマシタナラバ、私ハ現政府ハ總豫算ヲ此臨時議會ニ提出スル所ノ義務ガアリハセヌカト思フノデアリマス、前年度ノ豫算ヲ施行スルト言ハレマステレドモ、前年度ノ豫算ハ前内閣ガ拵ヘタモノデアリマシテ、金本位制度擁護ノ下ニ於テ、物價ハ安イト云フヤウナ財界ヲ背景ニ致シマシテ出來タ豫算デアリマス、然ルニ現内閣ハ、金ノ輸出禁止ヲサレマシテ、物價ヲ高クスルト云フ政策ヲ執テ居ラレルノデアリマス、全然違、背景ニ立テ居ルノデアリマスカラシテ、現内閣ガ豫算ヲ實行シヨウト云フナラバ、當然新シイ政策ヲ行フ爲ニ總豫算ヲ提案セラレナケレバナラスト思フノデアリマス(拍手)前年度ノ豫算ヲ施行スルト致シマシテモ、物價ノ低イ時代ニ編成サレタ豫算ガ、物價ノ高イ時代ニ於キマシテ行ハレルコトハムヅカシイト思フノデアリマス、或ハ此施行豫算ニ依テ實行豫算ヲ編成サレルデアリマセウケレドモ、實行豫算ヲ編成スルニ方リマシテハ、減ズルコトハ出來マセウガ、多クスルコトハムヅカシイト思フノデアリマス、政府ハ如何ニシテ此豫算ヲ實行シヨウトセラレルノデアリマスカ、此點ニ付キマシテ明瞭ナル御答辯ヲ御願ヒシタイノデアリマス

次ニ滿洲事件費ニ付テ御尋ネシタイノデアリマス、私ハ此滿洲事件費ニ對シマシテハ喜ンデ協賛ヲ與ヘタイト思フノデアリマス、ソレハ山道君カラ既ニ申サレタ通りデアリマスガ、之ニ關聯致シマシテ其財政上ノ取扱ハドウナルデアラウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

只今高橋大藏大臣ノ御説明ニ依リマス、云フト、滿洲事件費ハ一億四千七百萬圓位ニナツテ居ルト思ヒマス、其中デ一億三千七百萬圓位ガ公債支辨ニ依テ居ルト思ヒマス、昭和七年度ノ追加豫算ハ二箇月分デアルト言ハレルノデアリマスカラシテ、今後十箇月分——十箇月ニ於キマシテ滿洲事件ニ要スル所ノ經費ハ幾何ニ上ルノデアリマセウカ、ソレハ先ノコトデアアルカラ分ラヌト言ハレルカモ知レマセヌガ、昭和七年度ノ豫算ト云フモノヲ考ヘル時分ニ於キマシテハ、凡ソノ目度ガアラウト思フノデアリマス、其ノ凡ソノ目度ニ付キマシテ伺ヒタイト思フノデアリマス、若シ二箇月間ニ六千萬圓ヲ要スルト云フヤウナ計算デ行キマスナラバ、尙ホ今後ニ於キマシテ三億圓必要デアラウト思フノデアリマス、少クトモ滿洲事件費ニ要スルダケノ公債ハ、三億ナリ四億ニナルデアナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、政府ノ見込ハ如何デアリマセウ、サウ云フ風ニ巨額ノ公債ヲ發行スルト致シマス、其ノ利子ダケデモ、三億圓四億圓ニ致シマシテモ、或ハ千五百万圓乃至二千万圓ノ利子ガ要リマスガ、サウ云フ利子ハ何處カラ捉ヘテ來ルノデアリマセウ、少クトモ戰爭ヲスルト云フ以上ハ…… (金ガ要ル)ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○小川郷太郎君(續) 現代ノ國民モ亦其負擔ヲ分ツ必要ナイデアラウカ、又此公債ノ利子マデモ、公債ニ仰ガウトスルノデアリマスガ、尙ホ此軍事公債ニ關聯致シマシテ、昭和七年度ニ於キマシテ政府ノ考ヘテ居ラレル所ノ公債ヲ起サレル額ハドノ位デアリマセウカ、赤字公債ハ既ニ九千六百萬圓ト豫定サレテ居ルト思フノデアリマス、然ルニ此赤字公債ハ、中々九千六百萬圓デハ濟マイデアラウト思フノデアリマス、尙ホ其ノ外……

(誰ガ赤字ヲ出シタカ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○小川郷太郎君(續) 昭和七年度ノ豫算ニハアルノデアリマス——犬養内閣ノ昭和七年度ノ實行豫算ニハ、必ズ現ハレテ來ルノデアリマス、尙ホ其他政友會内閣ニ於キマシテ、積極政策ヲ行フ爲ニ、巨額ノ公債ヲ起サレナケレバナラスト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテハ凡ソノ見込ガアラウト思ヒマス、昭和六年ニ此内閣ガ出來マシテ、昭和七年度ニ互リマシテ、起サレントスル公債額ノ總額ヲ承リタイノデアリマス、尙ホ

此委員會ガアリマセヌカラシテ、此處デ便宜上同ヒマシガ、此一億四千七百圓ノ滿洲事件費ニ於キマシテ、機密費ハ幾何ニ上ラテ居リマスカ、之ヲ伺テ置キタイノデアリマス

第三ニ伺ヒタイノハ、昭和六年度ノ歲入歲出總預算追加第二號デアリマス、第二號ハ恩給ノ増加百四十餘萬圓ヲ計上シタモノデアリマス、是ハ軍事豫算ト同ジヤウニ緊急ナルモノトシテ、茲ニ緊急決議ヲ要求サレテ居ルト思ヒマシガ、此モノハ滿洲事件費ニ關聯シテ居ルノデアリマスカ、滿洲事件ニ關聯シテ居ルノデアリマスカ、何處デマ關聯セナイナラバ、必ズシモ緊急トハ言ハレナイノデアリマス、此點ニ付キマシテ大藏大臣ノ率直ナル御答辯ヲ伺ヒタイノデアリマス、何時モノ議會ニ於キマシテ、此頃ニナリマス云フト、恩給費ガ不足ヲ告ゲマシテ、何時モ追加豫算ガ請求サレノデアリマス、私ハ其意味ニ於テ、偶、臨時議會ガ開カレテ居ルガ故ニ、此恩給費ノ増加ヲ請求セラレタノデアリカト思フノデアリマス、果シテ然リトスレバ、是ハ緊急ナル事項デハナイト考ヘルノデアリマス(拍手)

手)一體年度末ニ於キマシテハ恩給費ガ足ラナイ、是ハ豫算ノ編成ノ上ニ於テ遺憾ノ點ガアルカモ知レマセヌケレドモ、恩給費ガ増加シテ止マナイト云フコトカラ來テ居ルト思フノデアリマス、是ガ故ニ恩給亡國論ト云フヤウナ議論サヘアルノデアリマシテ、恩給法ノ改正ト云フモノガ必要ニ迫ラレテ居ルト思フノデアリマス、前内閣ハ此ニ觀ル所ガアツテ、恩給法ノ改正ヲ企テ、居タノデアリマス、現内閣ハ此恩給法ノ改正ニ付キマシテハ、如何ナル考ヲ有テ居ラレマスカ、此機會ニ於テ御尋ネシテ置キタイト思フノデアリマス

次ニ此豫算ノ形式デアリマシガ、歲出ヲ計上シテ、歲入ヲ計上シテアリマセヌ、是ハ

近來稀ニ見ル例デアルト思フノデアリマス(拍手)政府ハ或ハ一般會計ニ於テモ其前例ナキデハナイ、アレハ明治三十六年位迄ハ多少アツタト云ハレルカモ知レマセヌガ、其後サウ云フ例ハナイト思フノデアリマス、何故ナイカ、ソレハ財政ノ鞏固ヲ期スル上カラ致シマシテ、當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、政府ハ今日マデ慣例ニナラテ居リマス此例ヲ破ツテ、茲ニ歲入ヲ計上セズ、歲出ヲ計上シタダケノ豫算ヲ提案セラレタノデアリマス、是ハ畢竟スルニ財政ガ困難デアアル、國家ノ信用ト云フモノガ、非常ニ之ニ依テ傷ケラレテ居ルト考ヘルノデアリマス……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○小川郷太郎君(續) 其説明ヲ聽キマス云フト、歲入ノ超過ヲ以テ之ヲ支辨スルト云フコトデアリマス、歲入ノ超過ガ昭和六年度ニドレ位アルノデアリマスカ、昭和六年度ノ赤字ハ六千五百萬圓ト云ハレテ居リマス、ソレガ故ニ政府ハ減債基金ノ一部繰入、四千四百萬圓デアリマスカ、尙ホ其他ニ事業公債二千百萬圓足ラズノモノヲ起シテ、之ヲ補填シタト云フコトデアリマス、其赤字公債ヲ起シテ置キナガラ、片方ニ歲入ノ超過ガアルト云フコトハ、ドウ云フコトデアリマスカ、尙ホ此金ノ輸出禁止カラ以來、爲替相場ガ非常ニ下ツテ居リマスカラシテ、爲替差損金モ極メテ巨額ニ上ルコトダラウト思ヒマス、地方土木費ノ補助ト云フモノモ、既ニ決定シテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナモノヲ皆支辨シテ、尙且ツ茲ニ歲入超過ナルモノガアルノデアリマスカ、歲入超過ナルモノハ實際七月ノ三十一日ニ至テ決算ヲシテ見ナケレバ、分ラヌコトデアリカト思フノデアリマス、歲入缺陷ガ非常ニ多イ、而モ公債ヲ起スナリ、減債基金ノ繰入ヲ停止スルナドシテ、漸ク辻褄ヲ合シテ居ル、此時ニ歲入ノ

超過ガ茲ニアル、ソレ故ニ恩給ハ出シテ宜シイト云フ、斯ウ云フコトガドウシテ言ヘアルノデアリマスカ(拍手)私ハ斯ウ云フヤウナ事ヲヤレバコソ、日本ノ財政ト云フモノヲ人ガ疑フノデアアラウト思フノデアリマス(拍手)若シ足リナイトスルナラバ、足リナイト云フコトヲ明ニシタナラバ宜シイ、漫然トシテ茲ニ歲入超過ガアルト云フノデ、斯ウ云フヤウナ、形式ノ整ハザル所ノ豫算ヲ提出スルコトハ、私ハ其意ヲ得テ居ナイト思フノデアリマス(拍手)此點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 島田政府委員

(總理大臣「總理大臣」ト呼フ者アリ)

(國務大臣犬養毅君登壇)

○國務大臣(犬養毅君) 御答致シマス、此邊ハ總務事務的ニ互ル問題デアリマスカ、ソレダカラ政府委員ヲ出シテ説明サセルト、丁度適當ノ問題デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 島田政府委員

(政府委員島田俊雄君登壇)

○政府委員(島田俊雄君) 小川君ノ第一問、今期議會ニ總預算ヲ提出シナイ理由ニ付テノ點ニ對シテ御答致シマス、政府ハ總預算ハ通常議會ニ提出スルト云フコトガ、申スマデモナク憲法ノ解釋デアルト左様ニ考ヘテ居リマス、今期議會ハ召集ノ詔書ニモアリマスル通り、憲法第七條並ニ第四十二條ノ規定ニ依リマシテ……(開連テハイカヌゾ)ト呼フ者アリ(第四十三條ノ規定ニ依リマシテ、召集セラレタル臨時議會デアリマス、隨テ臨時議會ニハ總預算ハ提出セザルノ意味ニ解釋ヲ致シテ居リマス(拍手)又事實ニ於キマシテモ、議院法ノ規定ニ依ル豫算審査ノ期間其他ニ關スル點ヨリ致シマシテ、期間ニ於テ是ガ出來ナイト云フコトハ、年度末ノ關係、即チ二十一日ノ期間ヲ御覽ニナレバ、年度ヲ越エルノデアリマスカ、此議會ニ於テ爲スコトノ出來

ナイコトハ當然ノコトデアルト、斯様ニ解釋致シテ居ル次第デアリマス、是ダケ申シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 高橋大藏大臣

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 小川君ノ御質疑ニ對シテ御答ヲ致シマス、滿洲事件費ニ付テ、今後下ノ位ノ金ガ要ルカ、公債ニ依ルトスレバ、少クトモ三四億位ノ公債ガ入用デアルヤウダガ、政府ノ見込ハドウダ、又其公債ノ利子モ公債ニ依ル譯デアアルカ、結局此七年度ニ於テ要スル公債ノ總額ハ幾ラニナル見込デアアルカト云フ御尋ノヤウデアアル、此滿洲事件費ハ、始終變化ガアルノデアリマス、現在ノ所デアハ先ツ維持費トシテ此儘ニ行キマスレバ月額約千二百萬圓、其他ニ若干ノ一時費ヲ要スルノデアリマス、併シハ常ニ變化ガアルノデアリマスカ、今日ノ現在ノ見込デアハ、此儘續クトスレバ、只今申シク通り月額千二百萬圓、即チ一箇年ニ一億四千五百萬圓ニナリマセウ

ソレカラ尙ホ政友會ノ政策ハ即チ積極政策デアアルカラ、是モ亦多大ノ資金ヲ要スルデアラウ、ソレ等モ亦公債ノ殖エルコトニナルガ、全體デドノ位ノ公債ガ發行セラルルノカ、見込ヲ言ヘト言フ話デアアルガ、是ハ私トシテモ今日マデ見込ハ立タヌノデアリマス、何レ見込ガ立テ、其豫算ヲ提出スル場合ニ於テ、初メテ國民ニ知ラセルコトガ出來ルノデアアル、今想像デ言ウタ所デ何モ役ニ立タヌ、ソレカラ第二號ノ恩給公債ノコトニ付テ、是ハ滿洲事件ニ關聯シテ居ラナイト云フヤウナ御解釋デアアル、ソレヲ此處ハ緊急事件費トシテ出シタト云フコトデアリマスルガ、是ハ全ク滿洲事件ニ關係ナイトハ言ヘナイ、御承知ノ通り多數ノ將校兵士ガ戰歿シテ居リマス、隨テ此遺族扶助料公債ハ澤山數ガ多イ、ソレカラ一時恩給ヲ要スル場合モアルノデアアル、全然滿洲事件ニ關聯シテ居ラヌト云フコトハ言ヘ

ナイノデアル、ソレカラ歳出バカリアッテ歳入ガナイ、財源ガナイノニ歳出バカリ出シタト云フ御尋デアリマスガ、是ハ金再禁止以來財界ノ模様ニ變化ヲ來シテ、一月以來ノ歳入ノ成績ヲ見マス、現在ニ於テハ現計ニ於テ確ニ四百五十萬圓ノ増收ニナッテ居リマス(拍手)現計ニ於テ確ニ増收ガアリマスカラ、茲ニ財源ガアルノデアリマス、是ダケ御答致シテ置キマス(拍手)

ソレカラモウツ機密費ノ御尋デアリマシタガ、機密費ハ昭和六年度ニ於テ九百三十三萬二千三百三十三圓、昭和七年度ニ於テ九十五萬圓、合計千二十八萬二千三百三十三圓、是ダケデアリマス(拍手)

〔小川郷太郎君登壇〕

○小川郷太郎君 此臨時議會ニ總豫算ヲ何故提出セナカッタカト云フ質問ニ對シテ、島田政府委員ハ答ヘラレテ、臨時議會ニ於テハ總豫算ヲ提出セナイト言ハレタ、私ハ臨時議會ガ四月以後ニ召集セラレタ時分ニハ問題ハナイト思フノデアリマス、然ルニ今回ハ三月中ニ召集セラレタノデアリマス、今日マデ例ノナイ事デアリマス、此處ニ問題ガ起ルノデアリマス、其成立セザルト云フ意味ハ如何デアリマス、之ヲ聽イテ居ルノデアリマス、憲法七十一條ハ帝國議會ガ豫算ヲ議決セズ、又ハ豫算ガ成立ニ至ラザルトキハ前年度ノ豫算ヲ施行スベシトアルノデゴザイマス、其成立セザルトキハト云フコトハ、三月三十一日マデニ成立セナカッタトキハト云フ意味デアリマス、サウシマスト云フト、臨時議會デアラウガ何デアラウガ、憲法ノ條章カラ見マス云フト、三月三十一日マデニ總豫算ヲ提出シテ、總豫算ガ議決ニ至ラナカッタトキニ、又ハ成立ニ至ラナカッタトキニ初メテ前年度ノ豫算ヲ施行スルト云フコトニナルノデアリマス

〔發言スル者アリ〕
○議長(秋田清君) 靜肅ニ……
○小川郷太郎君(續) 政府ハ公約ニ從ヒマシテ、政友會ノ政策ヲ行フト言ハレノデアリマスカラ、此間ノ公債ノ額ハ見込ノナイコトハナイト思フ、ソレハ龐大ナ公債ヲ起サウトセラレテ居ルノデアリマス、是ガ果シテ日本ノ財界デ出來ルコトカドウカ、或ハ世間デハ五億圓六億圓ト言ッテ居リマスガ、ドウ致シマシテモ……

〔發言スル者アリ〕
○議長(秋田清君) 靜肅ニ……
○小川郷太郎君(續) 其財源ニ付キマシテ、財政ノ立テ方ニ付キマシテハ、明ニシテ戴カナケレバナリマセヌ、二億五千萬圓ノ公債ヲ起スト云フコトデアルト、其利子ダケデモ千五百萬圓位ニナルデアリマセウ、其モノヲ尙ホ公債ニ依ッテ支辨スルト云フヤウナ財政政策ト云フモノハ、私ハ非常ナ考ヘモノデアリカト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ大藏大臣ハ如何ニ考ヘテ居ラレノデアリマセウカ、凡ソ事件費ト云フモノニ付テハ、現代モ後代モ——後ノ世モ共ニ之ヲ負擔シテ宜シト思フ、公債ニ仰グト云フコトハ敢テ異存ハアリマセヌケレドモ、現代ノ國民ハ少シモ之ニ付テ負擔ヲ煩ツ必要ハナイノデアリマス、私ハ敢テ之ヲ租稅ニ求メヨウトハ致シマセヌケレドモ、何カ滿洲事件費ノ公債ニ付キマシテ、其利子ダケハ確定財源ニ於テ辨ズルヤウナ、サウ云フ建前ハ必要デナイカト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ高橋大藏大臣ニ御意見ガアルコト、思ヒマス、之ヲ謹ンデ承リタイト思ヒマス(拍手)

〔國務大臣高橋是清君登壇〕
○國務大臣(高橋是清君) 御答ヲ致シマス、大正七年度ノ總豫算ヲ何故臨時議會ニ出サナイカ、斯ウ云フコトデセウ、憲法ノ解釋モ御述べニナリマシタガ、大體議會ノ……
〔何ダカ分ラヌト呼ビ其他發言スル者アリ〕
○議長(秋田清君) 靜肅ニ……
○國務大臣(高橋是清君)(續) 解散ニナリマシタ場合、其他豫算ノ不成立ノ場合ニ次

公債ハ、五億圓六億圓デハナイト思ヒマス、果シテ斯ウ云フ公債ガ、今日ノ財界ニ於テ起シ得ルト考ヘラレノデアリマセウカ、尙ホ私ハ軍事豫算ニ付キマシテハ謹ンデ協賛スル者デアリマスケレドモ……

〔發言スル者アリ〕
○議長(秋田清君) 靜肅ニ……
○小川郷太郎君(續) 高橋大藏大臣ノ只今ノ御答辯ハ、私ハ要領ヲ得テ居ナイト思ヒマス、此臨時議會ニ何故總豫算ヲ提出セナイカト云フコトニ對シマシテノ御答ハ、通常議會ニ提出スルガ例デアアル、是ハ島田政府委員ノ答辯ト同ジデアリマス、裏ヲ言ッタダケデアリマス、私ハ憲法七十一條ニ、帝國議會ガ豫算ヲ議決セズ、又ハ豫算ガ成立ニ至ラザルトキハ、前年度ノ豫算ヲ施行スベシトアル、其成立セザルトキハト云フコトハドウ云フ意味デアルカ、其憲法上ノ解釋ヲ聽キタイト思フノデアリマス、其解釋ヲ何等答ヘナイデ、唯、今日迄ノ例トナッテ居ルト云フコトデハ私ハ承服出來マセヌ、即チ臨時議會ガ此三月ニ召集セラレタト云フコトハ例ガナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今日迄ノ例ヲ以テハ説明スルコトハ出來ナイノデアリマス、前例ヲ以テ説明セナイデ、ドウカ此憲法ノ條章ノ解釋ヲ明ニシテ貫ヒタイト思フノデアリマス

〔發言スル者アリ〕
○議長(秋田清君) 靜肅ニ……
○小川郷太郎君(續) ソレカラ公債政策ニ付キマシテハ、私屢、同ツタノデアリマスガ、軍事費ノ爲ニ二億五千萬圓ノ公債ヲ起

シ、其利子ガ巨額ニ上ルガ、其利子ヲ支辨スルニ付テ、確定財源ヲ用意スベキカドウカ、之ニ付テ同ノデアリマスガ、之ニハ何等ノ御答辯アリマセヌ、又軍事公債ト積極政策ノ公債ニ付キマシテ、何カ高橋大藏大臣ハ一寸諄ノ分ヲナイ説明ヲセラレマシタガ、私ノ伺ヒマシタノハ、昭和七年度ニ於テ幾許ノ公債ヲ起サレベキカ、ソレガ今日ノ財界ニ於テ起サレ得ルモノデアルカ、斯ウ云フ質問ヲシタノデゴザイマス、ソレニ對シテ何等御答ガナイノデアリマス

更ニ私ハモウ一ツ同フ事ガアリマシタガ、此恩給豫算ニ付キマシテ、此恩給豫算ガ百四十萬圓アル、其中海軍々人、陸軍々人ノ遺族扶助料ガアルカラ、關係ガアルト云フヤウニ言ハレマシタケレドモ、其額ハ僅カ十三萬圓程ノモノデアラウト思フ、併シ此百四十萬圓ノ中ニ十三萬圓程アル故ヲ以テ、是モ滿洲事件ニ關係ガアルカ存ジマセヌガ、關係シテ居ルカドウカ、ソレモ明ニシタイノデアリマス、縱シ關係アリト致シマシテモ、此百四十萬圓ノ豫算ト云フモノガ、ソレダケデ緊急ヲ要スル軍事豫算ト同ジヤウニ見ルト云フ理窟ガ立チ得ラレルノデアリマス、ソレナラバ非常ナコデ付ケデアルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚リマセヌ、此點ニ付テ辯解アルナラバ御辯解ヲ願ヒタイノデアリマス

(政府委員島田俊雄君登壇)
○政府委員(島田俊雄君) 臨時議會ニ總豫算ヲ提出セザルコトニ付テ、重ネテ御尋ネデアリマスカラ、政府ノ見解ヲ申上ゲマス、憲法第七十一條ニ所謂「帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セヌ又ハ豫算成立ニ至ラサルトキ」ト云フハ即チ總豫算ノ成立セザル場合ヲ意味シテ居ルトス様ニ解シテ居リマス、而シテ今回ノ議會ハ即チ先刻申上ゲマシタ通り、憲法第四十三條、臨時緊急ノ必要ニ依テ召集セラレタモノデアル、通常議會ハ申スマデモナク、第四十一條、即チ例ニ引

カレマシタ所ノ「帝國議會ハ毎年之ヲ召集ス」第四十二條ニ至リマシテ、此通常議會ニ對シテハ、三箇月ヲ以テ會期トスルト云フ會期ノ定メガゴザイマス、而シテ議院法ニハ、尙ホ總豫算ヲ議スルニ付テハ、衆議院、貴族院、各三週間ノ期間ヲ有テ居リマス、是ハ議院ノ意思ニ依テ短縮スルコトハ出來ルケレドモ、政府ノ意思ヲ以テ短縮スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ私ハ憲法ノ解釋ノ上カラ、臨時議會ニ於キマシテハ、總豫算ヲ提出スベキモノデナイト考ヘルト共ニ(拍手)事實ニ於テモ亦今期議會デハ之ヲ提出スルコトガ出來ナイト云フコトヲ以テ御答ト致シタイと思ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 是ニテ質疑ヲ終リマシタ、是ヨリ討論ニ入りマス——山崎達之輔君

(山崎達之輔君登壇)
○山崎達之輔君 我ハ豫算各案ニ對シマシテ、贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、今回ノ事件ハ帝國ノ權益ヲ擁護シ、東洋永遠ノ平和ヲ確立スベキ非常ナル重大性ヲ有スルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、今ヤ全國民ハ、忠勇義烈ナル陸海軍將兵ノ勞苦ニ對シマシテ、感謝措ク能ハザルト共ニ、國民ノ全精神ヲ傾注シテ帝國ノ使命ヲ達成ヲ祈願致シテ居ルノデアリマス、此際本院ニ於キマシテ、事件費ニ關スル豫算各案ニ對シテ、全院一致即決シテ協賛ヲ致シマスルコトハ、正ニ全國民ノ意思デアリ、又此國民の信念ヲ中外ニ宣明スル所以ナリト信ジマス(拍手)茲ニ至誠ヲ披瀝致シマシテ原案贊成ノ趣旨ヲ明ニ致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 小山松壽君

頭ニ於キマシテ、二回ニ互リ陸海軍將士ニ對スル感謝決議ヲ致シテ居リマス、此事ハ中上ゲルマデモナク滿洲及支那方面ニ於テ、帝國陸海軍將兵ガ寡ヲ以テ衆ニ當リ、銳意兵匪ヲ掃蕩シテ、内外人ノ生命財產ヲ保護シ、克ク其功績ヲ收メタル功勞ニ對シマシテ、感激措ク能ハザル國民ノ總意ヲ決議ニ表シタモノナルコトハ申ス迄モアリマセヌ、然ルニ政府當局ノ今日迄ニ於ケル外交ノ經過ヲ承リマスレバ、果シテ所期ノ目的ニ副ヒ得タルヤ否ヤ、疑ナキヲ得ナイ點モアリマスガ、冀クバ本豫算ヲ實行スルニ當リマシテハ、特ニ東洋ノ平和確立ニ對スル所期ノ目的ヲ貫徹シ、陸海軍將兵ノ勞苦ヲ水泡ニ歸セシメザルヤウ、特別ナル努力ヲ拂ハレンコトヲ申添ヘテ置キマス、本案ニ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 清瀨一郎君

○清瀨一郎君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ御許ヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス

○議長(秋田清君) 仍テ四案共滿場一致、可決確定致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 日程第五、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案 第一讀會

キマシテハ、本年度一般會計ノ狀況ハ、多額ノ歳入不足ヲ來シ、之ガ爲メ緊急勅令ニ依リ四千四百萬圓ノ國債整理基金ニ繰入ルベキ元本償還資金ノ額ヲ減少シタヤウナ状態デアリマシテ、前三回ノ滿洲事件費豫算外支出ノ財源ト同様ニ公債財源ニ依ルノ外其途ガナイノデアリマス

又滿洲事件ニ關スル經費ニシテ、昭和七年度初メニ於テ要スルモノハ、目下ノ所一般會計ニ於テ外務省所管百四十萬圓、陸軍省所管三千九十七萬圓、海軍省所管二千七百十萬圓、計五千九百五十一萬圓、又關東廳特別會計ニ於テ三十五萬圓、合計五千九百八十七萬圓デアリマス、之ニ關シマシテハ別途昭和七年度追加豫算案ヲ提出致シテアリマスガ、其財源ニ付テハ一般會計ニ於テハ昭和六年度同様之ヲ公債ニ求ムルコトハ蓋シ已ムヲ得ナイ次第デアリマス、又關東廳特別會計ニアリマシテモ、昭和七年度滿洲事件ニ關スル經費ハ、到底普通財源ヲ以テ支辨スルノ餘地ガナイノデアリマスルカラ、是亦公債財源ニ依ルヲ必要トスルノデアリマス

右ノ如ク滿洲事件ニ關スル經費ノ爲メ昭和六七年兩年度合計致シマシテ、約六千七百五十萬圓ノ公債發行ヲ必要ト致ス次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラント希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、堤康次郎君

(堤康次郎君登壇)

○堤康次郎君 私人本案ニ對シテ質疑ガアリマスガ、重要デアリマスルカラ、總理大臣カラ御答辯ヲ伺ヒタイノデアリマス、質疑ハ賛成ノ意味ノ質疑デアリマス、現在財源ノ無イ時ニ於テ、軍事費ノ財源ヲ公債ニ求ムルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイ事デアアル、併ナガラ今後要スル軍事費ノ財源トシテ、本案ニ關聯シテ質疑ヲ致シタイノデアリマスガ、將來ノ財源トシテ今回金本

位ノ停止ニ依ッテ幾ケタ所謂第一利益ヲ得ル者ニ對シテ、課税ヲスル意思ガ政府ニアラカドウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス(拍手)爲替相場ハ大體三割五分下テ居リマス、弗買ウタ總金額ハ、正貨ヲ現送致シマシタル總額ハ今日迄三億九千三百萬圓ニ上テ居ルカラ、マア大體四億ト押ヘテ宜カラウ、ソコデ三割五分下テ居テ其中ノ一割ヲ利益ニ與ヘテ二割五分ヲ稅トシテ取ルト致シマスルト、茲ニ一億ノ財源ガ出テ來ル(拍手)之ヲ政府ハ取ル意思ガアルカドウカ

最近我國ニハ内憂外患交、到ルト云フ有様デアアル、内憂トハ何デアアルカ、是ハ言フ迄モナク金本位ノ停止デアリ、外患トハ何デアアルカ、滿洲上海事件デアアル、今回ノ滿洲上海事件ニ際シテ、我方將士ノ忠勇ナル態度ニハ洵ニ感激ニ堪ヘナイノデアアル、義ヲ萬難ノ重シト爲シ、命ヲ鴻毛ノ輕シト爲シテ、肉彈ヲ以テ敵ニ當ルト云フ、アノ悲壯ナル勵キヲ見テハ、吾々ハ感激ニ堪ヘナイノデアリマス、爾デ金本位ノ停止ヲ見ルト、之ニ依ッテ莫大ナル利益ヲ得テ、所謂弗買財閣ト云フモノハ、國民ノ困苦モ外ニ、又將士ノ勞苦モ外ニシテ、悠々閑閑シテ居ル、是ガ同ジ日本ノ國民カト思フト洵ニ感慨無量デアリマス

(弗買ハドウシタ)ト呼ビ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○堤康次郎君(續) 總理大臣ハ之ニ對シテ課税スル意思ガアルカドウカ(先ツ弗買カラ説明シロ)ト呼フ者アリ後ニ説明シテヤルカラ能ク聞ケ——犬養總理大臣ハ常ニ政治ノ恩澤ノ普遍化ト云フコトヲ言ハレテ居リマス、洵ニ御尤ナコトデアアル、政治ノ恩澤ヲ國民ニ行渡ラセルト云フコトハ、洵ニ是ハ必要ナコトデアリマスガ、今回ノ事件ハドウデアアルカト云ヘバ、政治ノ恩澤ヲ受ケタ者ハ極メテ一部ノ財閥デアリ、政

治ノ福ヲ受ケタ者ハ大多數ノ國民デアアル(ノー)「拍手」高クナッタ物ヲ消費スル一般ノ國民ノ犧牲ニ於テ、極メテ一部ノ財閥ニ莫大ナル利益ヲ得サシタト云フコトハ、是ハ洵ニ遺憾千萬ナコトデアアルト謂ハナケレバナライ(拍手)而モ此弗買財閥ト云フ者ガ、智慧才覺方人ニ優レテ居、タト云フ譯デハナイ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○堤康次郎君(續) 又自己ノ額ニ汗シテ、所謂自己ノ勤勞ニ依ッテ儲ケタ譯デハナイ、所謂自己ノ勤勞ニ依ッテ儲ケタ譯デハナイ、政府ノ法令一ツデ儲ケタノデアアル、而モ其法令タルヤ國民ノ協賛ヲ與ヘタル法律デハナイ、政府ノ權限デ發スル大藏省令一本デアアル(拍手)大藏省令一本デ以テ、斯ル莫大ナル利得ヲ一部ノ者ニ得セシメタト云フコトハ、是ハ洵ニ遺憾千萬ナコトデアリマシテ、所謂政治ノ恩澤ヲ受ケタ者ハ一部ノ財閥デアリ、政治ノ福ヲ受ケタ者ハ一般國民デアアル以上ハ、之ニ對シテ課税ヲシナカッタナラバ、犬養總理大臣日頃ノ主張ト矛盾スルモ亦甚シイモノデアアルト言ハナケレバナラスノデアリマス(拍手)總理大臣ハ果シテ之ニ對シテ課税スル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス(拍手)

(國務大臣犬養毅君登壇)

○國務大臣(犬養毅君) 金再禁止ノ爲ニ非常ニ儲ケタ者モアリマセウ、ソレカラ損ヲシタ者モアリマセウガ、大ニ利益ヲ得タト云フ者ニ課税スル意思ハ持チマセヌ、ソレト同時ニ損ヲシタ者ニ補償シテヤルト云フ考モ持チマセヌ(拍手)

(堤康次郎君答覆)

○堤康次郎君 犬養總理大臣ハ弗買買ウテ儲ケタ者ニ對シテ課税スル意思ハアリマセヌトハ、以テノ外ノ答辯デアリマス、アナタニ左様ナ權限ガ何處ニアリマスカ、自分ノ一人ノ事ナラバ課税ショウガシマイガ、ソレハアナタノ自由デアリマス、併ナ

ガラ是ハ苟モ國務デアアル、犬養總理大臣ト雖モ、左様ナ權限ガアルベキモノデハナイ、自分ノ事柄ナレバ自分デ勝手ニヤッテ宜カラウ、併ナガラ國家ノ爲ニ取ル必要ガアリ、又取ルコトノ出來ルモノヲ取ラズニ置クト云フ權能ガ何處ニアル、言フ迄モナク總理大臣ハ補弼ノ重責ニ在ル所ノ國務大臣デアアル、取ラズニ捨テ、置クト云フ左様ナ權限ハ無イ、唯併シ此稅ヲ取ルコトガ出來ナイトカ、或ハ取ルコトガ國家ノ爲ニ惡イトカ云フ議論ヲ聞ハシテ、國家ノ爲ニ取ルトカ云フ結論ニ到達シテ、國家ノ爲ニ取ルベキモノデナイカラ取ラヌト云フナラバ、ソレハ分ルノデアアル(理由ヲ示セ)ト云フ者アリ(其理由ヲ今是カラ示シテヤルカラ能ク聽ケ)然シナガラ是ハ立派ニ取リ得ルノデアアル、徴稅ノ技術ニ於テモ、亦外國ノ立法例ヲ參照致シマシテモ、日本ノ實情ニ適合スルヤ否ヲ能ク考ヘテ見テモ、立派ニ取リ得ルノデアアル、私ハ敢テ場當リノ放言ヲスルノデハナイ、自ら共局ニ當ルモノトシテ、之ニ課税スルト云フ場合ニハ如何ニ爲スベキカト云フコトヲ能ク考ヘテ、自分ガ對案ヲ持ッテ居ルノデアアル、十分ナル立案ガアルガ、之ニ對シテ總理大臣ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカ聽キタイノデアアル、是ハ大體ニ於テ此骨子ハ三割五分下テモノトシテ、其利益ノ内ヲ、二割五分ヲ稅トシテ取ル、一億圓ヲ取ル、アト一割ハ各自ノ利益トシテ其儘ニシテ置クト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、參考ノ爲ニ私ハ之ヲ申シテ見タイ

非常利得稅法案

第一條 本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人若クハ住所又ハ一年以上居所ヲ有スル個人ニシテ亞米利加合衆國通貨ヲ以テ表記セラル、株式又ハ支拂ハルベキ公債、社債、銀行預金、小切手、爲替手形、若クハ約束手形ヲ

昭和六年十二月十三日ニ於テ所有シタルモノニハ本法ニ依リ非常利得稅ヲ課ス

昭和六年十二月十三日以後ニ於テ前項ノ株式又ハ公債、社債、銀行預金、小切手、爲替手形、若クハ約束手形ヲ一定代金ヲ以テ取得スベキ契約ヲ同日以前ニ爲シタルモノニ付亦同シ

第二條 非常利得稅ノ稅率ハ前條ノ株式又ハ公債、社債、銀行預金、小切手、爲替手形、若クハ約束手形ニ表記セラレ又ハ其支拂ハルベキ亞米利加合衆國通貨ノ金額ヲ四十九弗八十四仙六一〇ニ付百圓ノ割合ヲ以テ換算シタル金額ノ百分ノ二十五トス

第三條 第一條ノ規定ニ該當スルモノハ命令ノ定ムル所ニヨリ本法施行後一箇月內ニ前條ノ金額ヲ政府ニ申告スヘシ

第四條 政府ハ前條ノ申告ニヨリ申告ナキ時又ハ申告ヲ不相當ト認ムル時ハ政府ノ調査ニヨリ第二條ノ金額ヲ決定ス

第五條 前條ノ規定ニヨリ第二條ノ金額ヲ決定シタル時ハ政府ハ之ヲ納稅義務者ニ通知スベシ

第六條 納稅義務者前條ノ規定ニヨリ政府ノ通知シタル金額ニ對シ異議アル時ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ政府ニ審査ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七條 前條ノ請求アリタル場合ト雖政府ハ稅金ノ徵收ヲ猶豫セズ

第八條 納稅義務者前條ノ規定ニ對シ不服アル時ハ訴訟又ハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第九條 北海道府縣市町村其ノ他命令ヲ

以テ指定スル公共團體、神社、寺院、祠宇、佛堂及民法第三十四條ノ規定ニ依リ設立シタル法人ニハ非常利得稅ヲ課セズ

第十條 非常利得稅ハ本法施行後三箇月內ニ之ヲ徵收ス

第十一條 個人ノ非常利得稅ハ納稅義務者ノ住所所在地ノナキトキハ居所地ヲ以テ納稅地トス但シ第三種ノ所得ニ付所得稅ヲ納ムル者ニ付テハ所得稅ノ納稅地ヲ以テ非常利得稅ノ納稅地トス

第十二條 第四條ノ調査ヲナス爲必要ナルトキハ收稅官吏ハ納稅義務者ノ帳簿物件ヲ検査シ又ハ納稅義務者ニ質問スルコトヲ得

第十三條 前條ノ規定ニヨリ帳簿物件ノ検査ヲ妨ゲ又ハ虛偽ノ記載ヲナシタル帳簿ヲ提示シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニヨリ非常利得稅ヲ逃脫シタル者ハ其ノ逃脫シタル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金又ハ料科ニ處ス但シ自首シタル者又ハ稅務署長ニ申出タル者ハ其ノ罪ヲ問ハズ

第十五條 非常利得稅ノ調査又ハ審査ノ事務ニ從事シ又ハ從事シタル者其調査又ハ審査ニ關シ知り得タル秘密ヲ正當ノ事由ナクシテ漏洩シタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書第三十九條第二項第四十條第四十一條第四十八條第二項第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒズ但シ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ此ノ限ニアラズ

附則 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

斯ノ如クチヤント出來ルノデアル、是ハ日本ノ實情ニモ適合シ、又立法ノ技術ニモ當嵌メテ取リ得ラル、ノデアル、取リ得ラル、モノヲ取ラナイト云フコトハ、犬養總

理大臣ト雖モ、左様ナ權能ガアルベキ筈ノモノデハナイ、然シ此利得ニ對シテハ所得稅トシテ課ケルト云フコトハ、一ツノ議論デアルカモ知レナイ(所得稅デ宜インダ)ト呼フ者アリ併ナガラ所得稅デハイカヌノダ、能ク聽ケ、所得稅トシテハ其取ル率ガ極メテ低イノデアル、現在通常所得稅ト致シマシテハ、百分ノ五取ルコトニナッテ居ル、更ニ一割以上ノ超過利得ニ對シテハ百分ノ四、二割以上ニ對シテハ百分ノ十、三割以上ノ利得ニ對シテハ、百分ノ二十ノ超過所得稅ガ課ケ得ラレル、又其外營業收益稅ト致シマシテ、利益ノ百分ノ三六、是ハ昭和七年三月三十一日以前ニハ、百分ノ三六デアルガ、倫敦條約ノ結果減稅ニナッテ、是ガ三月三十一日以後ニハ、百分ノ三四課ケ得ラレルコトニナッテ居ル、所得稅トシテ取レバ、ソレデ宜イデハナイカト云フ議論モ一應立ツヤウデアリマスルガ、併ナガラ實際問題ト致シマスルト、大部分ハ逃ゲテシマフノデアル、此弗買デ儲ケタト云フ其期間、即チ昭和六年十二月十三日ヲ含ム營業年度ニ於テ、外ノ損失ト相殺セラレテシマフノデアル、今同弗買デ得タ者ハ、個人ハ極メテ少ナイ、大部分ハ法人デアリマスカラ、銀行ノ貸倒レトカ、有價證券ノ値下リノ損トカ云フ様ナモノヲ、莫大ニ見積リ、ソレト相殺シテシマフト云フコトニナルト、實際問題トシテハ所得稅トシテ課ケルコトハ出來ナイノデアル、大部分ハ逃ゲテシマフノデアリマスルガ故ニ、是ハ非常利得稅トシテ、超越シテ取ルト云フコトガ、私ハ必要ナコトデアルト思フ

外國ニハ斯ウ云フ一時ノ利得ニ對シテ、取ッテ居ル處ガナイカドウカト云フコトヲ調ベテ見マシタガ、米國ニモ獨逸ニモ、チヤント其先例ガアルノデアル、米國デハドウシテ居ルカト言ヒマス、米國所得稅デハ、資本利得ニ對シテ一割二分五厘ノ課稅ヲスル、資本利得ト云フノハ資本ノ賣却其

他ノ處分ニ依リ生ズル利得ヲ謂フノデアル、而シテ右ノ資本ト云フノハ、納稅義務者ガ二箇年以上保有スル財產デアッテ、其營業ニ用ヒラレルモノタルト否トヲ問ハナイ、併シ納稅義務者ノ營業上ノ商品、其他ノ物デアッテ、商業帳簿ニ記載セラレタルモノハ、之ヲ除クノデアル、資本利得ハ千九百二十一年十二月三十一日以後ニ於ケル資本ノ賣却又ハ交換ヨリ生ズル利得デアル、又資本ニ對スル一割二分五厘ノ課稅ハ、選擇的デアッテ、納稅義務者ハ普通ノ所得稅並ニ同附加稅ノ賦課ヲ選擇スルコトガ出來ルト、斯ウ云フ工合ニナッテ居ッテ、米國デモ斯ウ云フ一時ノ利得ニ對シテハ、課稅ヲシテ居ルト云フ實例ガアルノデアル

獨逸デハドウカト云ヒマス、獨逸ニモ其實例ガアル、獨逸ノ所得稅ハ、一定ノ賣買差益ニ對シテ課稅セラレテ居ル、一定ノ賣買差益ト云フノハ、次ノ二種類ノ收益ヲ謂フ、一、讓渡行爲ニ依リ生ズル收入、但シ讓渡行爲ガ課稅ヲ受ケルノハ、投機行爲ト認メラレル時ニ限ル、而シテ讓渡行爲ト云フノハ、一、購入ト賣却トノ期間ガ、土地ニ對シテハ二年以内、其他ノモノトハ、營業證券ニ於テハ三年以内タル時、又ハ二、營業トシテ行ハレル時、即チ讓渡ニ依リ利得ガ時間的ニ繼續スル時ニ於テ、投機行爲ト認メラレルノデアル、三、特ニ臨時ノ動產(船舶登記ヲ爲サル船舶ヲ含ム)ノ周旋及賃貸ニ依リ生ズル收入、斯ウ云フモノニ課ケルコトニシテ居ル、即チ獨逸ニ於テモ斯ノ如キ例ガアルノデアル、唯マ儲ケテシマハナイモノニモ、稅金ヲ課ケルト云フコトニ付テハドウカト云フ議論ハ、是ハ議論トシテハ一應立チマスガ、併シ日本ニモサウ云フ例デアル、東京ノ郊外ニ道路ガ付ク、之ニ對シテハ、土地増價稅ト云フモノヲ取ッテ居ル、道路ガ付イテモ、ソレニ依ッテ其土地ノ價值ガ增加ハシタケレドモマダ賣ッテシマハナイ、隨テ利益ハ取ッテシマハ

此總理大臣ノ發言ヲ許可致シマシタ、而シテ……(ソナナ理窟ハナイ)「宣告ハドウシタ」ト呼フ者アリ「靜肅ニ」靜肅ニ——而シテ更ニ提君ヨリ發言ヲ求メラレマシタカラ、議長ハ之ヲ許シマシタ、然ルニ此提君ノ發言ニ對シテ政府ノ答辯ハアリマセヌ、仍テ此場合重テ茲ニ議長ハ宣告ヲ致シマス、本案ニ對スル質疑ハ之ヲ以テ終リマシタ(拍手)尙ホ此場合……(釋明シ)「ト呼フ者アリ」靜肅ニ——只今事實ヲ釋明致シマシテ更ニ宣告致シマシタル以上ハ、自ラ前ノ宣告ハ消滅シタモノデアリマス(拍手)、「議事進行ニ付テ」ト呼フ者アリ「靜肅ニ」日程第六右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致マシス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ議長指名二十七名ノ委員ニ付託セラレ、直ニ其氏名ヲ指定セラレンコトヲ望ミマス

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス

(「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ガアリマスカ

(「アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直ニ委員ヲ指名致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案委員

大口 喜六君 胎中楠右衛門君 石井 三郎君 熊谷 巖君

瀧 正雄君 志賀和多利君
箸本 太吉君 矢野 晋也君
中村 嘉壽君 木暮武太夫君
板谷 順助君 堀川 美哉君
石坂 豐一君 松山 常次郎君
森田 福市君 西岡 竹次郎君
山村 豐次郎君 松田 源治君
小川 郷太郎君 川崎 克君
堤 康次郎 中島 彌次郎
勝 正憲君 工藤 鐵男君
中村 繼男君 田中 貢君
小池 四郎君

只今指名致シマシタ委員諸君ハ直ニ第八委員室ニ御參集ニナリ、委員長及理事ヲ互選セラレ、引續キ會議ヲ開カレンコトヲ望ミマス、此場合一松定吉君ヨリ議事進行ニ關スル發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——一松定吉君

(「一松定吉君登壇」)

○一松定吉君 私人議事進行ニ關シマシテ議長ニ御伺シタイコトガアリマス、ソレハ外デモアリマセヌ、只今日程第五ノ議案ニ對シマシテ議長ハ終了ノ宣言ヲ致シタ後、第六ノ日程ニ御入りニナルコトヲ宣言致サレマシタ、然ルニ此場合、犬養總理大臣ハ議長ノ許可ヲ受ケマシテ、而シテ日程第五ノ提議員ノ質問ニ對シマスル答辯ヲ致サレタノデアリマス、又此點ニ對シマシテ提議員ガ總理ニ對シマシテ第二回ノ質疑ヲ重ネタノデアリマシタガ、之ニ對シマシテモ議長ハ提議員ノ發言ヲ御許シニナリマシタ、サウ致シマスルト、第五ノ日程ニ對シマスル議決ナルモノハ、既ニ終ラタ云フ所

ノ議長ノ宣言ヲ御取消ニ相成ラズシテ、第六ノ日程ニ御入りニナツタ後ニ、更ニ計第五ノ日程ニ逆戻リヲシテ總理ヲシテ——提議員ニ發言ヲ許サレタノデアリマスルガ、是ハ如何ナル法規ニ基キテ斯様ナ事ヲナサ、タノデアリマスルカ、或ハ斯ノ如キ慣例ガアルノデアリマスルカ、若シアリト致シマス

ナラバ、ソレヲ御示シ願ヒタイ、若シ斯ノ如キ慣例ガナイト致シマスルナラバ、議長ノ宣言ヲ御取消ナサラズシテ、サウシテ既ニ其終了ヲ宣言セラレタ其議案ニ逆戻リヲ致シマシテ、發言ヲ御許シニナリマシタノハ如何ナル理由デアリマスルカ、此點ニ對シマシテ議長ノ明快ナル御宣言ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

(「無用」濟シ「ト呼フ者アリ」)

○議長(秋田清君) 一松君ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、此間ノ事柄ハ先刻私ガ釋明ヲ致シタコトニ依ッテ明瞭ダト考ヘルノデアリマス(其通り)ト呼フ者アリ、拍手ハ決シテ之ヲ禁ジテハ居リマセヌ、凡ソ政府ハ何時デモ發言スルコトガ出來ルコトハ申ス迄モアリマセヌ、カルガ故ニ犬養內閣總理大臣ノ發言ニ對シテ議長ガ之ヲ許可シタコトハ當然ノ事デアリマス、日程ノ後戻リヲシタト云フコトハ、要スルニ是ハ議事ヲ圓滿ニ進行センガ爲ニ執リマシタル議長ノ機宜ノ措置デアリマス(拍手)

○原惣兵衛君 此際日程第七ヨリ第十三迄ヲ一括議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第七昭和七年勅令第四號承諾ヲ求ムル件、日程第九昭和七年勅令第七號承諾ヲ求ムル件、日程第十一昭和七年勅令第六號承諾ヲ求ムル件、日程第十二昭和七年勅令第十四號承諾ヲ求ムル件、日程第十三昭和七年勅令第十九號承諾ヲ求ムル件、之ヲ一括シテ議題ト致シマス——高橋大藏大臣

ナラバ、ソレヲ御示シ願ヒタイ、若シ斯ノ如キ慣例ガナイト致シマスルナラバ、議長ノ宣言ヲ御取消ナサラズシテ、サウシテ既ニ其終了ヲ宣言セラレタ其議案ニ逆戻リヲ致シマシテ、發言ヲ御許シニナリマシタノハ如何ナル理由デアリマスルカ、此點ニ對シマシテ議長ノ明快ナル御宣言ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

第七 昭和七年勅令第四號(金貨兌換停止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第九 昭和七年勅令第七號(國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第十一 昭和七年勅令第六號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第十二 昭和七年勅令第十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

第十三 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣高橋是清君 只今議題トナリマシタ日程第七昭和七年勅令第四號承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ説明ヲ致シマス政府ハ金ノ輸出禁止ヲ行ヒ、時局ヲ匡救スルノ急務ナルヲ認メマシテ、昨年十二月十三日組閣ノ際頭ニ於テ、金輸出取締ニ關スル大藏省令ヲ公布致シマシタ、併ナガラ日本銀行其他ノ發券銀行ノ金貨兌換ニ關スル規定ヲ其儘トナシ置キマスル時ハ、兌換ノ要求ニ依リ、正貨準備ハ更ニ減少スルヲ免レズ、當時ノ正貨準備有高ニ照シ憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマシタ、又十二月十一日以來日本銀行ニ對シ金貨兌換ヲ要求スル者ハ同行ノ店頭ニ群集シ、一國中央銀行ノ威信上面白カラザルノミナラズ、人心ノ不安ヲ助長スル惧ガ生ジタノデアリマス、仍テ政府ハ金輸出制限ノ趣旨ヲ徹底ヲ期シ、正貨準備ヲ擁護スルト共ニ、斯カル人心ノ動搖ヲ防遏スル爲メ、帝國憲法第八條第一項ニ依リ銀行券ノ金貨兌換ヲ一般的ニ禁止スベキ緊急勅令ヲ公布ヲ奏請シ、昭和六年勅令第二百九十一號ヲ公布ヲ見ルニ至リマシタ、而シテ此勅令ハ第六十回帝國議會ニ提出シタル所、衆議院解散ノ爲メ議會ノ承諾ヲ得ルニ至ラナカッタ爲メ、昭和七年勅令

第三號ヲ以テ將來ニ向テ其效力ヲ失フコトヲ公布サレマシタ、然ルニ該勅令ノ内容トスル規定ハ、財界ノ狀況ニ鑑ミ尙ホ引續キ效力ヲ有セシムル必要ガアリマシタカラ、帝國憲法第八條第一項ニ依リ同一ノ規定ヲ内容トスル昭和七年勅令第四號ノ公布ヲ奏請致シテ次第アリマス、而シテ本勅令ハ將來尙ホ其效力ヲ有セシムル必要ガアリマスカラ、帝國憲法第八條第二項ノ命ズル所ニ從ヒ帝國議會ノ承認ヲ求ムル爲メ茲ニ之ヲ提出致シタノデアリマス、何卒承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

又日程第九ノ昭和七年勅令第七號ノ承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、昭和六年度一般會計ニ於ケル豫算實行ニ付テ見マスルニ、約六千四百萬圓ノ歳入不足ヲ生ズベキ狀態デアリマシタノデ、政府ハ此不足ノ補填ノ方法トシテ、公債ヲ増發スルヨリモ、或ベク減債基金ノ繰入停止ニ依ルヲ適當ト認メマシテ、四千四百萬圓ダケ一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ヘ繰入ルベキ國債元本償還資金ヲ減額スルコト、致シ、又既ニ成立シテ居リマスル公債法ニ依リ、電話事業公債、電信事業公債、道路公債並ニ震災善後公債ヲ募集致シマスル時ハ、之ニ依リ二千餘萬圓ノ財源ヲ豫定外ニ得ルコト、ナリ、兩者ヲ合シテ前記ノ歳入不足ヲ補填スルコトヲ得テ、六年度ニ於テハ歳入不足補填公債、即チ所謂赤字公債ヲ發行スルノ必要ナキニ至ル見込デアッタノデアリマス

故ニ政府ハ減債基金繰入額中四千四百餘萬圓ヲ限リ是ガ繰入ヲ爲サザルコトヲ得ル爲メ、法律案ヲ第六十回帝國議會ニ提出シタノデアリマスガ、衆議院ガ解散ヲ命ゼラレ、其成立ヲ見ルニ至ラナカッタノデアリマス、申上ゲル迄モナク一會計年度ニ於ケル歳入ハ、其年度ニ於ケル歳入ヲ以テ支辨スベキコトハ會計法第三條ニ規定セル所デアリマシテ、歳入ガ歳出ニ比シ不足スルコ

トハ法律上ハ固ヨリ財政上ニ於テモ決シテ許スベカラザルコトデアリマス、我國會計制度ノ制定以來之ニ違反スルガ如キコトナカリシハ勿論デアリマス、若シ此歳入缺陷ヲ補填スルノ確信ナキ場合ニ於テハ、政府ハ已ムナク政府ノ義務トスル所ノ支拂ヲモ停止セザルヲ得ザル破目ニ陥リ、斯クシテハ公共ノ安全ヲ保持シ難キコト、相成ル次第デアリマスカラ、一日モ早く此歳入缺陷ヲ補填スルノ必要ヲ認メ、前議會ノ解散後間モナク、帝國憲法第八條第一項ニ依ル勅令ノ公布ヲ奏請シタノデアリマス、而シテ本勅令ハ將來尙ホ其效力ヲ存續セシムルコトヲ必要トシマスノデ、是ガ承諾ヲ求ムル爲メ提案致シタ次第デアリマス

其次ハ日程第十一、第十二、第十三、此三件ヲ併セテ説明ヲ致シマス、即チ昭和七年勅令第六號、同年勅令第十四號及同年勅令第十九號ノ承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致シマス

滿洲事件ノ經費支辨ニ關スル昭和六年度一般會計追加豫算案並ニ是ガ財源調達ノ爲ニ要スル公債發行ニ關スル法律案ヲ第六十回帝國議會ニ提出致シマシタル所、衆議院ガ解散ヲ命ゼラレタル爲メ、該豫算案並ニ法律案ハ成立ニ至ラナカッタノデアリマス、申上ゲル迄モナク該追加豫算案ニ掲ゲマシタル經費ハ緊急缺クベカラザルモノデアリマス、而シテ一般會計歲計ノ狀況ハ多額ノ歳入不足ヲ生ジ、是ガ補填ノ爲メ減債基金繰入ノ一部停止ヲモ必要トスル有様デアリマスカラ、其財源ハ公債ニ依ルコトヲ必要ト致シタノデアリマス、然ルニ當時ハ衆議院解散後總選舉前デアリマシテ、到底其起債ニ關スル法律案ニ付キ帝國議會ノ協賛ヲ得ルコトハ不可能ノ狀態デアリマシタカラ、二千九十一萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルノ途ヲ開ク爲メ、本年一月三十一日ニ憲法第七十條ノ規定ニ依リ、昭和七年勅令第六號ガ公布セラレタ次第デアリマス、尙ホ其後主トシ

テ上海方面ノ狀況ノ變化ニ依リ、又滿洲方面ニモ急迫ナル所要ガアリマシテ、經費ノ増額ヲ要スベキ事態ニ立至ラタノデアリマスカ、申上マデモナク是ガ經費ハ緊急缺クベカラザルモノデアリマシテ、其財源ヲ公債ニ依ルノ必要アルコト、並ニ是ガ起債法ニ付キ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ許サル事情ノアッタコトハ、前同ノ緊急處分同様にテアリマシタカラ、前同ノ勅令ニ依リ起債シ得ル金額ノ外、更ニ二千四百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルノ途ヲ開クノ必要ガアッタノデアリマス、仍テ本年二月十五日ニ憲法第七十條ノ規定ニ依リ昭和六年勅令第十四號ガ公布セラレタノデアリマス

更ニ其後ニ至リマシテ主トシテ上海方面ノ狀況ノ變化ニ依リ、更ニ經費ノ増額ヲ要スベキ事態ガ生ジタノデアリマス、而シテ是ガ經費ハ、緊急缺クベカラザルモノデアリマシテ、其財源ハ前同ノ同様に公債ニ依ルノ必要ガアッタノデアリマスガ、是ガ起債法ノ協賛ニ付テハ、帝國議會ノ開會ヲ待ツコトヲ許サル急迫ナル狀態ニアリマシタノデ、前二回ノ緊急處分ニ依リ起債額ノ外、更ニ千五百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルノ途ヲ開ク爲メ、本年三月三日憲法第七十條ノ規定ニ依リ、昭和七年勅令第十九號ガ公布セラレタ次第デアリマス

右三回ノ緊急處分ニ依リ發行シタル公債額ハ發行價格差減額ヲ補填スル爲メ募集シタル額ヲ加ヘマスレバ、額面總額六千三百三十七萬餘圓デアリマス、其外日本銀行ヨリ千四百九十六萬餘圓ヲ借入レタノデアリマス、兩者合計手取額ハ六千九百七十一萬餘圓トナリマス

右ノ公債、又ハ借入金ヲ財源トシテ豫算外支出ヲシタル金額ハ、第一回緊急處分ニ依リ公債金ヲ財源トシタルモノ、即チ二月一日支出勅裁ヲ經タルモノ、外務省所管三百三十三萬餘圓、陸軍省所管六百二十二萬餘圓、海軍省所管百八十四萬餘圓、計二千九十九萬餘圓、第二回緊急處分ニ依リ公債金ヲ財源トシタルモノ、即チ二月十六日支出勅裁ヲ經タルモノ、外務省所管四百四十萬餘圓、陸軍省所管六百三十四萬餘圓、海軍省所管千六百九十九萬餘圓、計三千三百八十四萬餘圓、第三回緊急處分ニ依リ借入金ヲ財源トシタルモノ、即チ三月四日支出勅裁ヲ經タルモノ、陸軍省所管千三百十四萬餘圓、海軍省所管百八十二萬餘圓、計千四百九十六萬餘圓、右三者合計六千九百七十一萬餘圓デアリマス、以上三回ノ緊急處分ニ對シマシテ御審議ノ上何卒速ニ御承諾アラントヲ望ミマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——小川郷太郎君

(小川郷太郎君登壇)

○小川郷太郎君 今上程セラレマシタ諸案ニ付キマシテ、質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、大體公債政策ト金輸出禁止並ニ金兌換停止ノ問題ニ付キマシテ質問ヲシタイト思ヒマス

先ヅ第一ニ公債政策ニ付テ御同致シタイトデアリマス、只今大藏大臣ハ昭和七年勅令第七號、國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件ニ付テ御説明ガアリマシタ、其所謂減債基金ノ繰入一部停止ト云フモノハ畢竟スルニ昭和六年度ニ於キマシテ歳入缺陷ガアルカラシテ、之ヲ補填スル爲メニヤッタト云フコトデアリマス、私ハ昭和六年度ノ豫算ニ付キマシテ先刻カラ質問ヲシテ居リマシタケレドモ、遺憾ナガラ其要領ヲ得ナイ事ガアッタノデアリマス、又同ジ問題ガ關聯致シマスノデ、モウ少シ之ヲ質シテ見タイト思ヒマス、先ヅ第一ニ伺ヒタイトハ、會計年度ガ終結、終了ニナラヌ間ニ此處置ヲセナケレバナラヌト云フコトハ論ノナイ所デアリマス、併シ臨時議會ヲ三月ニ於テ開クト致シマシタナラバ、此臨時議會ニ之ヲ提案シテ協賛ヲ求メテ然ルベキモノデアナイカト思フノデアリマス、然ルニ之ヲ緊

勅令ニ依テ樞密院ニ諮詢ヲシテ、此減債基金ノ繰入一部停止ヲシタト云フコトハ、是ハドウ云フ譯デアアルカ、斯ノ如ク急ガナケレバナラヌト云フ理由ガ何處ニアルノデアリマセウカ、法規ノ上カラ致シマシテモ、此臨時議會ニ提案シタナラバ十分間ニ合フコト、思フノデアリマス、此臨時議會ニ提案シテ間ニ合ハナイト云フナラバ、其理由ヲ明ニシテ貰ヒタイノデアリマス、恐ラクハ政府ハ之ヲ急イダ所以ノモノハ、選舉取締費用ト云フモノヲ捻リ出スニ於テ困難シタ結果デアリカト思フノデアリマス(拍手)選舉取締費用ト云フモノヲ捻リ出ス所ガナイノデアリマス、ソレガ故ニ遂ニ減債基金ノ繰入一部停止ヲヤルコトニナツタデアラウト思フノデアリマス、併シ此減債基金繰入一部停止ヲ致シマシテモ、是ハ選舉取締費用ト云フモノガ出テ來ル理由ガ明ニナラナイト思フノデアリマス、選舉取締費用ト云フモノハ確カ國庫剩餘金ヨリ之ヲ支辨ストシテアツタ思ヒマス、國庫剩餘金ト云フモノハドウシテ出テ來タノデアリマセウカ、或ハ昭和五年度ノ決算ニ於キマシテ多少ノ剩餘金ガ出テ來タ、其剩餘金ヲ昭和六年度ニ繰入レタ、併シ昭和六年度モ歲入缺陷ガアル、赤字公債ヲ出サナケレバナラス、減債基金ノ繰入ヲ一部停止シナケレバナライ、サウ云フ風ナ状態ニ於キマシテハ、其昭和五年度カラ昭和六年度ニ繰入レタ、所謂形ダケノ剩餘金ト云フモノデアッテ、本當ノ剩餘金ト云フモノデアナイト思フノデアリマス、其剩餘金ヲ以テ選舉取締費用ト云フモノヲ支辨スルト云フコトハ、私ハ是ハ適當ナ處置デアナイト考ヘルノデアリマス、若シサウ云フコトデアイナラバ茲ニ臨時議會ヲ開クト致シマシテ、此緊急勅令ヲ發布スル必要ハ全然ナカッタラウト思フノデアリマス、謂ハバ之ヲ結果カラ申シマスト云フト、減債基金ノ一部停止、即チ國債償還ノ一部ヲ割イテ選舉取締ニ用ヒタ

ト云フコトニナルト思フノデアリマス(拍手)是ハ私ハ公債政策上カラ致シマシテ甚ダ不穩當ナル處置デアラウト考ヘルノデアリマス
尙ホ減債基金ノ一部繰入ト云フコトニ付キマシテ、其政策ニ付テ私ハ御致シタイノデアリマス、一體減債基金ト云フモノハ今日迄ノ歴史ヲ考ヘテ見マスルト云フト、其初メハ高橋現大藏大臣ガ扱ハレタト考ヘテ居リマス、而シテ此減債基金ノ繰入ヲ止メルト云フヤウナコトヲセラレタノモ亦高橋大藏大臣デアリマシテ、大正九年頃ニ於キマシテ慥カ此減債基金ノ繰入ヲ止メルト云フコトヲセラレタノデアリマス、之ヲ拵ヘラレタ者ガ高橋大藏大臣デアッテ、之ヲ打壞ス者ガ高橋大藏大臣デアアル(拍手)又今回ニ於キマシテ二度減債基金ノ繰入ヲ止メルト云フコトニナツタノデアリマス、全體減債基金制度ト云フモノヲオモチャニスルノハ誰デアルカ、高橋大藏大臣其人デアアル、何故ニ減債基金ヲ設ケタノデアリマスカ、減債基金ヲ設ケルヤウナ精神ガアルナラバ、減債基金ヲ打壞スルヤウナ精神ガアルナラバ、減債基金ヲ設ケル言ハナケレバナラス、其減債基金ト云フモノガ、或ハ之ヲ起シ、或ハ之ヲ止メルト云フナラバ、日本ノ財政ノ上ニ於テ意義ガ無い、殊ニ現政府ハ非常ナ巨額ノ公債ヲ起サウトシテ居ラレル、其額ニ付キマシテハ先刻伺ヒマシタケレドモ御答ニナリマセヌ、恐ラクハ世間傳フル所ニ依レバ十億ト云ヒマスケレドモ、少クトモ七、八億位ノ公債ハ起サレルノダラウト思フノデアス、此公債ヲ巨額ニ起サウトスル時分ニ於テ減債基金ノ繰入一部停止ト云フモノハ、私ハ非常ニ不都合ナコトデアルト思フ、何故ナラバ減債基金ト云フモノハ、是ガ少クトモ公債ノ市價ヲ維持スルニ於キマシテ十分ノ力ガアルト思フノデアリマス、少クトモ減債基金ト云フモノガ起サレタ理由ノ一ツニハソレガ有ルト思フノデアリマス、

今減債基金ヲ四千四百萬圓繰入ヲ停止シマス、昭和七年度ニ於テモ恐ラクハ巨額ノ繰入停止ヲセラレルノダラウト思ヒマス、サウ云フ風ナ公債ノ償還スル資金ガ乏シ無イト云フコトデアレバ、公債ノ償還ガ下ルコトニ於キマシテ之ヲ支持スル力ガ無いト云フコトニナリマス、サナキダニ公債額ガ大ナルガ爲ニ公債ノ値ガ下ッテ居リマス、又金ノ輸出禁止ヲセラレマシテ爲替ガ下ルト云フコトニ關聯致シマシテモ公債證券ノ償還ハ下ッテ居リマスデス、公債證券ノ償還ガ下リマスレバ其價格ニ依テ新シク起サレル公債ノ發行價格ヲ決メナケレバナラマイト思フノデアリマス、低イ所ノ發行價格ヲ以テ巨額ノ公債ヲ起サウト致シマシタナラバ、私ハ國庫ノ損失ト云フモノハ極メテ大ナルモノガアルト思フノデアアル、ソレ故ニ大ナル額ノ公債ヲ起サウトスレバ、少クトモ公債ノ價值ヲ維持スルト云フコトガ國庫ノ利益ノ爲ニ必要デアルト思フノデアリマス、政府ハ茲ニ國庫ノ利益ト云フモノハ捨テルト云フコトニナリマス、サウシテ其公債額ハ畢竟スルニ手取金カラシテ申シマスト云フト、手取金ガ少イノデアリマスカラシテ、多クノ額面ヲ發行セバナラスコトニナルノデアリマス、減債基金ノ繰入一部停止ハ、歲入ノ缺陷ヲ補填スルト云フ一時ノ急ニ追ハレタノデアリマセウケレドモ、其及ボス所ノ影響ト云フモノハ決シテ小サイモノデアナイ、寧ロ財政ニ向ッテ非常ナ惡イ影響ヲ及ボスモノデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス(拍手)政府ノ此點ニ付テノ觀ル所ハ如何デアリマスカ、嘗ニ國家ノ財政ニ對シテ惡イ影響ヲ及ボスバカリデナク、是ハ金融機關ニ對シマシテ非常ナ惡イ影響ヲ及ボスモノデアナカラウカト考ヘルノデアリマス、公債證券ノ價ノ下ルト云フコトハ、少クトモ銀行ニ取リマシテハ非常ナ打撃デアリマス、近來公債證券ガ非常ニ下ッテ居リマシテ、金融業者ハ非常ニ是ガ爲

ニ苦シメ居ルト思フノデアリマス、貸借對照表ニ於キマシテ、有價證券、殊ニ公債證券ノ評價ト云フモノガ非常ニ少クナツテ來マス、サウシマスルコト云フト、銀行ノ貸借對照表ノ上ニ於キマシテ、假令他ニ於テ利益ヲ致シマシテモ銀行ノ計算ハ損ニナルト云フコトニナリマス、是ニ於キマシテ高橋現大藏大臣ガ優遇スルト云フコトヲ考ヘラレテ居ルヤウニ聞クノデアリマス、公債ヲ優遇セラレルト云フコトハドウ云フ御考デアリマスカ、或ハ發行價額ヲ以テ貸借對照表ノ價額ヲ決メルト云フコトニスルノデアリマス、縱シサウ云フコトニ致シマシテモ、實際ノ「バランス・シート」ト云フモノハ私ハ擯テ居ナイト思フノデアリマス、即チ銀行ニ於テハソレダケノ財産ガ無いモノヲ有ルトスルト云フコトニナルノデアリマスカラ、サウ云フコトハ即チ銀行ノ信用ヲ害スルコトニナルノデアリマス、高橋大藏大臣ノ公債ヲ優遇スルト云フコトガ、若シサウ云フ點ニアルノナラバ是ハ私ハ銀行ノ信用ヲ失ハシムルコトニ歸著スルト思フノデアリマス(拍手)サナキダニ貨幣ノ價值ガ下ッテ居ル、サウ云フ政策ヲ現政府ハ行ハレテ居リマス、貨幣價值ガ下ッテ居ルト云フコトニナリマス、金カラ物ニ移ッテ行ク、サウ云フ譯デアリマスカラ預金ガ減ル、預金ハ増サナイ、一方ニ於テハ公債證券ト云フモノノ價值ガ下ゲル政策ヲ執ル、一方ニ於テハ貨幣ノ價值ガ下ゲルト云フ結果ヲ齎シテ敢テ顧ミナイ(拍手)斯ウ云フ風ニ致シマシテ金融機關ト云フモノハドウシテ立ッテ行クデアリマセウ、私ハ此減債基金ノ繰入停止ト云フコトガ遂ニ金融機關ヲ脅カスニ至リハセンカト憂フル者デアリマス、若シサウ云フ風ニ致シマシテ現政府ノ政策ト云フモノガ畢竟産業資金ト云フモノヲ融通スベキ所ニ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○小川郷太郎君(續) 銀行資金ハ乏シクナルト云フコトニナルノデアリマスカラ、政府ガ一方ニ於テ産業ヲ振興シヨウト致シマシテモ、サウ云フヤウナ金融状態ヲ齎スニ於キマシテハ、其目的ヲ達スルコトハ出来ナイト思フノデアリマス(拍手)私ハ此減債基金ノ一部繰入停止ト云フコトガ金融界ニ及ボス影響ノ頗ル大ナルモノアルヲ憂フル者デアリマスガ、大藏大臣ハ之ニ付キマシテ何等ノ憂ナシトセラレルノデアリマセウカ、之ニ付キマシテ大藏大臣ノ所見ヲ聽キタイノデアリマス(拍手)

次ニ金ノ輸出禁止、金ノ兌換停止ノ政策ニ付キマシテ質問シヨウト思ヒマス、金ノ輸出禁止ニ對スル理由ニ付キマシテ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、次ニ金ノ輸出禁止ノ後ノ政策ニ付テ御伺フシタイト思ヒマス、金ノ輸出禁止ノ理由ニ至リマシテハ、色々説明ガアリマシタガ、私ハ特ニ此場合ニ於キマシテ、質問ヲシタイノハ、政府ガ金ノ輸出禁止ニ依リマシテ、財界ノ好轉ヲ期スルト云フヤウナ理由ニ付キマシテ、御伺フシタイト思フノデアリマス、大藏大臣ハ第六十議會ノ劈頭ニ於キマシテ、次ノヤウナ演説ヲサレテ居リマス、「金ノ輸出再禁止ハ、國民ノ大多數ヲシテ總括的窮乏ノ苦惱ヨリ脱出セシメ、總テ産業ヲ振興シ、生活ノ安定ニ向ハシメントスル時局匡救ノ第一歩デアルト信ジマス、之ニ依リ不自然ナリシ爲替相場ハ低落シ、物價ハ對内的ニ騰貴シ、對外的ニハ却テ低落スルノ道理ニ基キ國內産業ノ刺戟トナリ、延テ外國貿易上ニモ好影響ヲ及ボシ、不況打開ノ曙光ガ茲ニ現ハレタノデアリマス」斯ウ云フ風ニ説明サレテ居リマス、政府ハ此理論ニ依リマシテ、選舉ヲセラレタノデアリマス、即チ金ノ輸出禁止、ソレガ財界ノ好轉ヲ齎スモノデアアル、斯ウ云フコトデアリマス、私ハ其

理由ニ付キマシテ、疑ヲ持ツモノデアリマス、而シテ其實際ハ確ニ裏切ラレテ居ルト思フノデアリマス(拍手)其事ヲ私ハ是カラ明カニシテ見タイト思フノデアリマス、金ノ輸出禁止ガ爲替相場ヲ下ゲル、是ハ高橋大藏大臣ノ言ハレル通りデアリマス、現ニ日米爲替ニ付テ申シマスルナラバ、四十九弗八分ノ三デアツクモノガ、今日ハ三十一弗六分ノ二所ニナッテ居リマス、三割五分カ六分ノ下落ニナリマシタ、其金ノ輸出禁止ニ依ッテ爲替相場ガ下リ、ソレニ依ッテ物價ガ上ル、是ハ高橋大藏大臣ノ言ハレル通りデアラウト思ヒマス、現ニ此金ノ輸出禁止ニ依ッテ爲替相場ガ下リ、サウシテ物價ガ上ル、是ガ故ニ當テ金ノ輸出禁止ヲ豫想シテ弗買ヲシタ者ハ非常ニ儲ケタノデアリマス、棉花其他ノ輸入ヲシタ所ノ者ハ、思惑ニ依ッテ非常ニ儲ケヲシタノデアアル、或ハ「ストック」ヲ澤山ニ持ッテ居リタ者ハ之ニ依ッテ儲ケタノデアアル、併シソレハ日本ノ國カラ言ヒマスルト、少數ノ人デス、少數ノ資本家ハ、政友會ノ此金ノ輸出禁止ノ政策ニ依ッテ非常ニ儲ケヲシタノデアリマス(拍手)然ルニ大衆ハドウデアツカト申シマスルト、決シテサウデナイノデアリマス、貨幣價值ノ下落ヲシタト云フコトハ、物價ハ上ツタデアリマセウガ、人ノ報酬ハ少シモ上ゲナイノデアリマス、人ノ賃銀、俸給、其他ノモノハ依然トシテ元ノ通りデアリマス

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 大石君注意シマス

○小川郷太郎君(續) 一體金ノ輸出禁止ヲ唱道スル人ノ中ニ於キマシテハ、賃銀ト云フモノヲ下ゲタイト思フケレドモ、勞働爭議ガアツテ下ゲルコトガ出来ナイノデ、ソコデ金ノ輸出禁止ニ依ッテ貨幣價值ヲ下ゲテ、實質上ニ賃銀ヲ下ゲヨウト圖ツタモノガアル

ノデアリマス、此資本家ノ中ニハサウ云フコトヲ理由ニシタ者モアリマス位デアリマスカラ、今日貨幣價值ガ下ツタカラト云ッテ賃銀ヲ上ゲヨウトハシマセヌ、事實賃銀ハ上ツテ居リマセヌ、貨幣價值ガ下ツテ、賃銀ガ上ラナイノデアリマスカラ、勞働者ト云フモノハ生活ガ困難ニナルノデアリマス(拍手)官吏カラ言ヒマスレバ、官吏ハ政府ガ一方ニ於テ金ノ輸出禁止ヲシテ、貨幣價值ガ下ルカラ、俸給ハ實質的ニ減セラレルト同ジコトデアアル、實質的ノ減俸ガ行ハレタノデアリマス、然ルニ政府ハ一方ニ於テ貨幣價值ヲ下ゲナガラ、官吏ニ對シテハ増俸ハセナイノデアリマシテ、却テ前内閣ノ減俸ヲ其儘受ケ繼ガウツシテ居ルノデアリマス(拍手)即チ是ハ官吏ニ對シテ二重ノ減俸ヲシタコトニ當ルノデアリマス、此勞働者、此俸給ヲ受ケル官吏ノ境遇ト云フモノハ、又移シテ以テ一定ノ金額ヲ得テ居ル者ニ當嵌メルコトガ出来ルノデアリマス、即チ預金、或ハ貯金、其他公債ノ利子等ニ於テ生活ヲ支持セントスル所ノ者ハ、同ジ境遇ニ陥ッテ居ルノデアリマス、之ヲ大體ニ申上ゲマスルト云フト、國民大衆ト云フモノ、收入ハ一ツモ増サナイデ、却テ其生活ヲ脅威スルコトニナルノデアリマス(拍手)金輸出禁止ノ政策ハドウ云フコトデアアルカト云ヘバ、少數ノ資本家ニ利益セシメ、國民大衆ト云フモノヲ生活苦ニ陥レタト云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フ風ナコトガドウシテ社會正義ニ適フデアリマセウカ

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○小川郷太郎君(續) 大藏大臣ハ金輸出禁止ノ政策ハ國民生活ノ安定ヲ期スルト云ハレテ居リマスガ、其安定ヲ期スルト云ヒツツ國民生活ヲ脅威シテ居ルノデアリマス、全ク人ヲ欺キ、世ヲ欺ク是ヨリ甚ダシキハナイト思フノデアリマス(拍手)私ハ更ニ進

ミマシテ、更ガ産業ヲ刺戟スルカ、好景氣ヲ來スモノデアアルカト云フコトニ付テ考察シテ見タイト思フノデアリマス、今申上ゲマシタ理由ニ依リマシテ、一般大衆ト云フモノガ收入ヲ増サナイト云フコトハ、即チ購買力ヲ増サナイト云フコトデアリマス、金ノ輸出禁止ニ依ッテ貨幣價值ヲ下ゲテ、物價ヲ上ゲタ、併ナガラ大衆ノ購買力ハ増進セナイ、大衆ノ購買力ハ増進セナイガ、唯物價ダケ上ツテ、ドウシテ好景氣ガ出テ來ルデアリマセウ、私ハ物價ガ上ツテ國民大衆ノ購買力ガ進ンデ、國民ノ購買力ノ増進ガアツテ初メテ好景氣ト云フモノガ期待セラレルト思フノデアリマスガ、政府ハ國民ノ購買力ノ増進ニ伴ハナイデ、物價ノ騰貴ノミニ於テ果シテ好景氣ガ來ルモノト考ヘラレルノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府ノ考ハ間違ッテ居ルト思ヒマスガ、如何デアリマス(拍手)國民多數ノ購買力ハ増サナイガ、併シ商人ノ間デハ或ハ先ニ物價高クナラウト云フコトデ、商品ノ先高ヲ見越シマシテ買物ガアツタデアリマセウ、ソレデアリマスカラ、一時的ニ何カ景氣ガ出ルンデヤナイカト云フヤウナ形ガアツタカモ知レマセヌ、併ナガラ最後ノ消費者デアアル所ノ大衆ガ購買力ヲ増シテ居ナイ限りハ、トマノ詰リソレガ現ハレテ來マシテ、ソコニ財界ノ行詰リガ起ルノデアリマス、何時カハ遂ニ滞貨ガ生ズルノデアリマシテ、商人ノ利益ト云フモノハ見出スコトガ出来ナクナルノデアリマス、現ニ最近ノ物價ノ状態ヲ見マスト云フト、卸賣ニ於キマシテハ相當上ツテ居ルヤウデアリマスガ、小賣ノ上リ方ハ之ニ伴ハナクナツテ來タ、殊ニ日本銀行ノ最近ノ調ベニ依リマスト云フト、此二月ニ於キマシテハ、一月ヨリハ小賣物價ガ極メテ僅カデハアリマスガ、下ツテ居ルヤウデアリマス、即チ國民多數ノ購買力ガ増進シナイト云フコトガ茲ニ現ハレテ來テ居ルノダト思フノ

デアリマス、政府ハ是デモ尙ホ景氣ガ段々好クナルト言ハレマス、尙ホ次ニ政府ハ對外的ニハ物價ガ下ル、即チ爲替ガ下ッテ、サウシテ貿易ニ好影響ヲ來ス、輸入ガ少クナッテ、輸出ガ多クナルト云フヤウナコトヲ考ヘラレタノデアラウト思ヒマス、所デ私ハ茲ニ爲替相場ガ下リツ、アルト云フコト、爲替相場ガ常ニ動搖シテ止マナイト云フコト、是ガ果シテ外國貿易ニ好影響ヲ來スデアリマセウカ、第一ニ爲替相場ガ變動シテ止マナイ、變動シテ止マナイト云フコトニナリマスレバ、取引ガ投機化スルノデアリマス、正常ナル取引ハ行ハレナイコトニナリマス、現ニ昭和三年ニ於キマシテ、爲替相場ガ非常ニ變動シタ、正金銀行ノ建値ニ於キマシテモ、確カ一年ニ九十一回變動ヲト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ變テ來テハ取引ガ出來ナイ、其取引ガ出來ナイト云フ所ノ苦痛ガ遂ニ凝テ金解禁ノ運動トナッタト思ヒマス、現ニ生絲業者ノ如キ、爲替ガ下ッテモ宜イデヤナイカト考ヘラレル者スラ金解禁ノ運動ヲスルニ至ッタノデアリマス、其コトハ私ハマダ日本國民ノ忘レテ居ナイ所デアルト思フ(拍手)今日ニナッテ果セル哉政府ガ金ノ輸出禁止ヲ致シマシテ以來、爲替相場ガ變動シテ止マナイ、是ハ私ハ國民全體ガ苦痛ニシテ居ルト思フガ、殊ニ貿易業者ガ非常ニ苦痛トシテ居ル所デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ風デドウシテ外國貿易ト云フモノガ都合好ク行クデアリマセウカ、次ニ爲替相場ガ下ルト云フ影響ヲ考ヘテ見マスレバ、今後ニ於テ爲替相場ガ下ルト致シマシタラバ、輸入ヲセントスル者ハ取急イデヤルト云フコトニナリマスシ、輸出ハ先ヅ控ヘテ置ケバ宜イト云フコトニナルノデアリマス、是ガ故ニ輸入ハ却テ多クナリ、輸出ハ少クナルト云フコトニナルダラウト思フ(拍手)ソレガ一時トハ言ヘナイ、何トナレバ此爲替相場ハ何處マデ下ルカ分ラナイノデアリマス、既

ニサウ云フ傾向ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレガ一時的ト云フノガ永ク續クト云フコトニナルト思フノデアリマス、尙ホ爲替ノ安イト云フコトガ、外國ニ輸出ヲスルニ都合ガ好イト言ハレマス、其理論ヲ取ッテ茲ニ當嵌メテ見マス、ソレハ外國ガ好景氣ノ時分ナラ宜シイ、併シ今日ハ世界ノ不景氣デアリマシテ、而モソレガ非常ニ深刻ニナッテ來テ居ル、ソレヲ言ヒ換ヘテ見レバ、外國ガ十分ノ購買力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、爲替安ニ依テ日本ノ商品ガ安クナルト致シマシテモ、外國ガ十分ニ物ヲ買フ力ヲ持ッテ居ナイノデアリマス、尙ホ進ミマシテ今日ハ外國ガ盛ニ關稅ノ障壁ヲ高クスル、殊ニ金ノ輸出禁止ヲシテ、爲替相場ガ下ッテ、ソレガ爲ニ品物ヲ安ク輸出スルト云フヤウナ國ガアルト致シマスナラバ、サウ云フ國カラ來ル所ノ品物ニ對シテハ關稅ヲ高ク課ケル、所謂爲替「ダンペン」關稅ヲ課ケルト云フコトガ一般ニ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、現ニ日本ノ商品モ外國カラ斯ウ云フ法律ノ適用ヲ受ケマシテ、高イ關稅ヲ課ケラレルト云フコトニナッテ居ルト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ環境ノ下デドウシテ外國貿易ガ益、好クナルト云フコトガ言ハレルデアリマセウカ、政府ノ考ヘラレテ居ル所ノ好景氣論ト云フモノハ、茲ニ非常ニ大キナ間違ガアルト思フ、物價ガ高ケレバ好景氣デアルト簡單ニ考ヘラレテ居ル、ソレニ依テ第一ニ國內ノ購買力ガ高マルナイト云フコトヲ見逃ガシテ居リマス、第二ハ外國ガ不景氣デアッテ、購買力ガ好クナイト云フコトヲ見逃ガシテ居リマス、第三ハ關稅ガ高クナッテ、日本ノ品物ガ外國ニ出テ行カナイト云フコトヲ見逃ガシテ居ルノデアリマス、理論ニ於テ茲ニ好景氣ガ到來スルト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、又之ヲ實際ノ上カラ見マシテモ、政府ノ發表サレテ居リマス所ノ外國貿易ノ概算ニ付

テ見マスナラバ之ヲ實際ニ證明シテ居リマス、即チ三月二十日マデノ累計ニ依テ見マスト輸入ハ激増シ、輸出ハ激減シテ居リマス、詰リ輸出ハ五千萬圓程ヲ減ジ、輸入ハ六千萬圓ヲ増シテ居ルヤウニ思ヒマス、而モ入超ノ額ハ一億二千八百萬圓ニ達シテ居リマス、近來ニナイコトデアリマス、政府ハ金ノ輸出禁止ヲシテ好景氣ヲ來スト言ハレマスケレドモ、前年ニ比シマシテ貿易ト云フモノハ斯ノ如ク慘メナコトニナッテ居リマス、是デ尙ホ政府ハ景氣ガ好クナッタト言ハレルノデアリマス、是デ尙ホ貿易ガ好クナッタト言ハレルノデアリマス、事實ハ確ニ之ヲ裏切ッテ居リマス、總選舉ニ於テ好景氣ニナルカラ政友會ニ投票セヨト言ハレマシタガ、今日ハ不景氣デ好景氣ニハナッテ居リマセヌ、私ハ國民ヲ欺ク是ヨリ甚ダシキモノハナイト考ヘルノデアリマス

私ハ次ニ金輸出禁止後ノ對策ニ付テ質問ヲ致シタイト思ヒマス、是ガ私ハ今日ニ於テ一番大切ナ問題ダト考ヘマス、政府ハ六十議會ニ臨ミマシテ、金ノ輸出禁止ニ付テ理由ハ説明セラレタヤウデアリマスガ、金輸出禁止後ノ對策ニ付キマシテハ殆ド論及サレテ居ナイヤウデアリマス(拍手)故井上準之助氏ガ貴族院ニ於キマシテ、此問題ニ付テ質問ヲ致シタニ拘ラズ、高橋大藏大臣ハ之ニ對シテ何等ノ答辯ヲ與ヘテ居リマセヌ(拍手)若シ世ニ經綸抱負ガアリトスレバ、此問題ニ付テ經綸抱負ガナケレバナラス善デアアル(拍手)昭和七年勅令第四號銀行祭ノ金貨兌換ニ關スル此事後承諾ガ求メラレテ居リマスガ、此緊急勅令ヲ讀ンデ見マスト云フト、「日本銀行ハ當分ノ内大藏大臣ノ許可ヲ得タル場合ヲ除ク外兌換銀行祭ノ金貨兌換ヲ爲スコトヲ得ス」此當分ノ内ト云フコトハデス、言葉ノ通常ノ意味カラ致シマシテ、長キ期間ニ亙ラナイト云フコト、解釋シナケレバナリマセヌ、政府ハ果シテ

僅カノ期間ノ内ニ兌換恢復ヲスルト云フ考ヲ御持チデアリマス、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、勿論兌換銀行祭ノ金貨兌換ヲ爲スコトヲ得スト規定シテ、當分ノ内サウ云フコトニシテ置イテ、後ニ之ヲ元ヘ戻スト云フナラバ、其條文カラ讀ンデ見マスト云フト、金本位制度ヲ恢復スル、金ノ解禁ヲスル、而モ舊平價解禁ヲスルト云フコトニ讀マレマスガ、政府ハ果シテサウ云フコトヲ考ヘテ居ラレルノデアルカ、ソレトモ此兌換恢復ヲスルト云フニ當ッテハ、所謂世間ニ傳テ居ル言葉ヲ茲ニ用ヒルナラバ、新平價デ金ノ解禁ヲスルト云フコトニ考ヘラレテ居ルノカ、新平價デ金ノ解禁ヲスルト云フノナラバ、ドウ云フ所ニ一ツノ目標ヲ置カレルノデアルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、ヨモヤ政府ハ當分ト云フコトハ、何時カ分ラナイ、何年經ツカ分ラナイト云フヤウナコトハ言ハレナイト思フノデス、現ニ此緊急勅令ガ樞密院ニ於テ議セラレマシタ時分ニ、樞密院ニ於キマシテ希望決議ガアッタト思ヒマス、其希望決議ニハ斯ウ云フコトガ書イテアルヤウデアリマス、兌換停止ハ變態的ノ手段デアリ、貨幣ノ信用ヲ失ウト共ニ種々ノ弊害ヲ伴フ虞アリ、仍テ政府ハ其重大ナルニ顧ミ、今後ノ善後處置ヲ誤ラザルヤウ努ムルト共ニ、成ベク速ニ常道ニ復スルコトニ全力ヲ盡サレタシ、成ベク速ニ常道ニ復スルコトニ全力ヲ盡サレタシト樞密院ハ希望シテ居ルノデアリマシテ、政府ガ此時ニ於キマシテ、必ヤ之ヲ諒トセラレタノデアラウト思フノデス、速ニト言ハレル限りノ、私ハ政府ニ一定ノ期間ノ考ハ、ソコニナケリヤナラスト思フノデアリマス(拍手)若シ一定ノ期間ニ金兌換恢復シ、金ノ解禁ヲスルト云フコトデアレバ、之ニ對シテ私ハ準備ノ政策ト云フモノガ考ヘラレナケレバナラスト思フノデアリマス、少クトモ貨幣價值ガ下リツ、アル今日ニ於キマシテ、其貨幣價值ヲ下ゲナイヤウ

ニスト云フコトガ、第一ニ考ヘラレナケ
レバナルマイト思フノデアリマス(拍手)又
之ヲ爲替相場ノ現狀カラ考ヘマシテモ、政
府ノ豫期スル所ト違ヒマシテ、財界ト云フ
モノハ益、悪イノデアリマス、ソレハ爲替
相場ガ變動スルコトニ依リ、爲替相場ガ下
落スルコトニ依リ、其財界ガ惡クナルト云フ
コトヲ防ギ止メテ行クト云フ方面カラ見マ
シテモ、爲替ノ變動ト云フモノヲ抑ヘテ行
テ、爲替ノ下落ト云フモノヲ抑ヘテ行
テ、所謂爲替ノ安定ヲ圖ラナケレバナラヌ
ト思フノデアリマス、政府ハ此點ニ於テド
ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレリノデアリマス

カ、私ノ聞ク所ニ依リマスルト、政府ハ爲
替ニ對シマシテ放任スル、何處迄下リテモ宜
イト云フ考デアルトモ讀メマス、若シ何處
迄下リテモ宜イト云フ考ガナイナラバ、ド
ノ點ニ於テ爲替相場ヲ安定シヨウト考ヘテ
居ルノデアリマス、之ヲ明ニシテ貰ヒタ
イト思フノデアリマス(拍手)

政府ハ高橋大藏大臣ノ言葉ヲ藉リテ見マ
スルト云フト、不自然ナリシ爲替相場ヲ下
ゲテ、物價ヲ上ゲル、ソレガ財界ノ好轉ト
ナルト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルノ
デ、爲替相場ヲ下ゲルト云フコトガ、宜イ
ト云フ觀念ノヤウニ見エ、若シ今日迄ノ
爲替相場ガ不自然デアッタト云フナラバ、自
然デアルト云フ、自然的ノ爲替相場ハ何處
ニアルカ、或ハ國力相應ノ爲替相場ト云フ
ヤウナコトヲ使ッテ居ラレリコトモアルヤ
承ッテ居ルガ、國力相應ノ爲替相場ト云フモ
ノハ何處ニアリマス、私ハ孰レニ致シマシ
テモ、爲替相場ヲ或點ニ於テ安定セシメテ
行クト云フコトニナルト思ヒマスガ、其安
定スルト云フコトノ目標ハ、先ツ假ニ明ニ
ナッタト致シマシテ、其次ニ起ル所ノ問題
ハ、其爲替相場ヲ或點ニ安定セシメヤウト
シテ、如何ナル政策ヲ執ルノデアリマス、カ、
ソレヲ私ハ高橋大藏大臣ニ伺ヒタイト思フ

ノデアリマス、爲替相場ガ現狀ニ於キマシ
テハ下リ止ミマセデス、之ヲ安定セシ
メルト云フ方法ヲ與リ聽キタイノデアリマ
ス

私ハ之ニ付キマシテ一般ノ世間デ唱ヘラ
レテ居リマス所ノ政策ヲ茲ニ一々舉ゲマシ
テ、ソレニ付テノ御考ヲ聽キタイト思フノ
デアリマス、少クモ爲替相場ガ下ガラナ
イヤウニ、貨幣ノ價值ヲ下ゲナイヤウニス
ルニ付キマシテハ、第一番ニハ私ハ國際貨
借ヲ良クシテ行カナケレバナルマイト思
フ、國際貨借ノ均衡ヲ圖ラナケレバナルマ
イト思ヒマス、第二ニハ國家財政ニ於キマ
シテモ、地方財政ニ於キマシテモ、收入支
出ノ均衡ヲ圖ラナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、第三ニハ通貨ノ膨脹ヲ防ギ止メ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等
ノ問題ニ付キマシテ政府ハドウ云フ風ニ考
ヘテ居ラレマス、カ、同ヒタイノデアリマ
ス、國際貨借ガ均衡ヲ得マセヌケレバ爲替
ガ下落シテ行クト云フコトハ當然デアリマ
ス、故ニ爲替相場ヲ安定シヨウト思ヘバ國
際貨借ノ均衡ヲ圖ラナケレバナリマセヌ、
是ハ殆ド自明ノ理デアリマス、然ルニ政府
ノ今日マデ爲サレテ居ル所ノ政策ヲ見マス
ルニ、少シモ此點ニハ觸レテ居リマセヌ、
現ニ今マデ申上ゲマシタ通りニ入超ハ非常
ニ多クナリテ來テ居ルノデアリマス、國際貨
借ハ段々惡クナルノデアリマス、次ニ財政
ノ收支ノ均衡ヲ得マセヌケレバ國家ノ信用
ト云フモノハ害サレリノデアリマス、國家
ノ信用ガ害セラレマシテ爲替ノ良クナル理
由ハアリマセヌ、ソレ故ニ財政ノ收入支出
ノ均衡ヲ圖ルト云フコトガ大切デアリマ
ス、然ルニ現内閣ノ財政政策ヲ見マスト云
フト、全ク此要求ニ逆行シテ居ルト思フノ
デアリマス、第一ニ政府ハ高物價政策ヲ
執ッテ居ルノデアリマス、高物價政策ヲ
替ハ下リ物價ガ上ル、ソレハ宜シイ、物價
ガ上ルト云フコトニ付キマシテ、私ハ財政

ノ上ニ於キマシテハ收入ハ直チニ多クナラ
ナイト思フノデアリマス、今日ノ租稅制度
ト云フモノカラ考ヘテ見マスレバ、サウ云
フ風ニ收入ハ多クナリマセヌ、今日マデノ
租稅制度ハ、例ヘバ地租ニ於キマシテモ物
價ガ上リタカラト云フ決シテ多クナラナイ
ノデアリマス、或ハ酒稅ニ於キマシテモ物
價ガ上リタカラト云フ酒稅ノ收入ハ多クナ
ラナイノデアリマス……

(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ……
○小川郷太郎君(續) 私ハ決シテ物價ガ
上リタカラト云フテ反射的ニ歳入ト云フモノ
ハ多クナラナイト思フノデアリマス、然ル
ニ歳出ノ方ハ反射的ニ多クナルノデアリマ
ス、政府ガ物價ヲ買ハナケレバナラヌト云フ
必要ニ迫ラレリ以上ハ、物件費ハ當然膨脹
スルノデアリマス、故ニ此高物價政策カラ
ダケ考ヘテ見マシテモ、收入支出ノ均衡ハ
取レナイヤウニナリマス、其上ニ持ッテ行
テ政府ハ放漫積極政策ヲ行ハレヨウトシテ
居ルノデアリマス、偶、前内閣ニ於キマシ
テ行政整理、財政整理ヲ企テ、置キマスト
云フト、現政府ハ段々之ヲ崩シテ行カレリ
ノデアリマス、私ハ崩シテ行カレリコトノ
善イ惡イハ別論トシテ置キマス、併ナガラ
政府ノ收入ノ均衡ノ上ニ於キマシテハ、惡
イ結果ガ生ジテ來ルコトハ明カデアリマス
(拍手)

更ニ政府ハ産業五年計畫ヲ實行サレント
シテ居リマスガ、其善惡ハ此處ニ論ジマセ
ヌガ、兎ニ角モ政府ノ財政ノ上ニ於テ收支
ノ均衡ヲ破ルコトニナルト云フコトハ明カ
デアリマス、尙ホ政府ハ——政友會ガ野黨
時代ニ於キマシテモ國民ニ懇ヘラレテ居リ
マスガ、減稅五千萬圓ヲ約束セラレテ居ル
ト思フノデアリマスガ、政府ハ今日ニ於テ
此公約ヲ實行セラレリノデアリマセウカ、
之ヲ實行セラレリナラバ收入支出ノ均衡ハ
益、取レナクナリマス、故ニ政府ガ今日マデ

聲明ヲシテ居ル政策ヲ行ハントスレバ、財
政上ノ收支ノ均衡ハ益、破レテ行クト云フ
コトニナリマス、ソレニ依リテ私ハ爲替相場
ノ維持ハ出來ナイト云フコトニナルト思フ
ノデアリマスガ、爲替相場ノ維持ヲシヨウ
ト云フコト、政友會ノ政策ト云フコト、
ハ明ニ茲ニ矛盾ヲ致シマス(拍手)政府ハ此
矛盾ヲドウシテ解キマス、何方ヲ採ルノ
デアリマス、カ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

最後ニ御伺シタイ問題ハ通貨膨脹ノ問題
デアリマス、私ハ金ノ輸出禁止ヲ致シマス
ト云フト、動モスレバ通貨ノ膨脹ヲ招キ易
イト思ヒマス、現政府ハ通貨膨脹ニ付キマ
シテハ積極的ノ御意見ヲ有ッテ居ラレリノ
デハナイカト思フノデアリマス、此點ニ付
キマシテ高橋大藏大臣ガ極メテ虚心坦懷ニ
考ヘテ居ラレリコトヲ發表サレタイト思フ
ノデアリマス、私等ハ世間ノ見テ居ル所カ
ラ言ヒマス、高橋大藏大臣ハ「イン
フレーションニスト」デアリ、通貨膨脹ヲ常ニ
良イト考ヘテ居ル人ト言ハレテ居リマス、
併シ通貨膨脹致シマスト云フコトニナリ
マスレバ物價ガ上リテ來マセウ、金ノ輸出禁
止ニ依ッテ影響ト云フモノヲ受ケテ、更ニ
物價ヲ高クスルコトニナリマセウ、貨幣價
値ハ下リマセウ、貨幣價值ガ下レバ矢張爲
替相場ハ下リテ來ルノデアリマス、茲ニ於キ
マシテ爲替相場ヲ維持スルト云フ考ト、通
貨膨脹スルト云フ考トガ、又茲ニ矛盾ヲ
致シマス、政府ハ此點ニ於キマシテ此矛盾
ヲドウ解決ウシテ居ラレリノデアリマス
カ、政府ハ金利政策ヲ致シマシテ低金利ヲ
唱ヘラレテ居リマス、現ニ日本銀行ノ金利
ヲ下ゲラレマシタ、是ハ確ニ民間ニ多クノ
資金ヲ融通シヨウ、銀行券ヲ多ク發行シテ
モ敢テ辭セナイ、斯ウ云フ態度ヲ茲ニ示サ
レタノデアラウト思ヒマス、此點ニ於
キマシテ確ニ通貨膨脹セシメヨウト云フ
コトヲ明白ニ語ラレテ居ルト思ヒマス

更ニ財政政策カラ申上ゲマスナラバ、非

常ナ巨額ナ公債ヲ起サレヨウトシテ居リマス、私ハ先刻此問題ニ付キマシテ高橋大藏大臣ニ尋ネマシタケレドモ、軍事公債ニ付キマシテハ約二億五千萬圓ト云フヤウナ數字ハ明ニ知り得マシタケレドモ、其他ノ赤字公債或ハ産業公債、其他色々ノ公債ニ付キマシテ政府ノ見ル所ヲ明ニセラレマセヌカラシテ、其額ハ私ハ茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、兎ニ角非常ナ巨額ノ公債ヲ起スニアラザレバ財政ノ料理ハ出來ナイト考ヘマス(拍手)サウ致シマス此巨額ノ公債ハ誰ガ引受ケルカト言ヒマス、大藏省預金部ハ二億圓足ラズノ應募力シカ有テ居リマセヌ、民間ノ銀行家其他ノ者ガ應募力ヲ有テ居ルカト言ヒマス、今日ノ財界大ハ私ハムヅカシイト思フ、現ニ高橋大藏大臣ハ政友會ノ會ニ臨マレマシテ、民間ニ應募力ガ十分ナイト云フコトヲ言ハレタヤニ聞キマスガ、眞實デアリマス、ドウデアリマスカ存ジマセヌガ、併シ高橋大藏大臣ニ今日ノ財界ヲ透キ通シテ見ル明ガアレバ、私ハサウ言ハレルノガ當然デアルト思フ、デアリマス(拍手)果シテ然リト致シマスナラバ、此巨額ノ公債ヲ引受ケル所ノモノハ日本銀行ヨリ外ニハナイト思ヒマス、日本銀行ガ之ヲ引受ケルト云フコトニナレバ、當然通貨ノ膨脹トナツテ來ルノデアリマス、故ニ斯ウ云フ方面カラ見マシテモ、現内閣ハ通貨ノ膨脹ヲシテ敢テ憚ラナイ、斯ウ云フ態度ヲ示シテ居ルモノト考ヘマス(拍手)サウ云フ風ニナツテ來マス、今日ノ通貨トハ言フモノ、兌換ガ出來ナイノデアリマスカラ不換紙幣デアリマスガ、不換紙幣ガ濫發セラレルトナルノデアリマス、不換紙幣ガ濫發セラレマシテ止マラ所ヲ知ラナイト云フコトニナリマシタナラバ、ソコニ私ハ日本ノ財界ニ於キマシテ、日本ノ社會問題ト致シマシテモ由々敷キ事ガ起ルノデハナイカト思フ、デアリマス(拍手)

第一ニ物價ハ騰ルガ勞働ノ賃銀或ハ官吏ノ俸給ト云フモノハ之ニ依テ直ニ騰ルテ來マセヌカラ、其處ニドウシテモ社會問題ガ起ルト思ヒマス、而シテ又片方ニハ預金ヤ貯金ヤ其他ノ一定ノ金額ヲ得ル所ノモノハ其價值ガ減ジテ行クノデアリマス、一體不換紙幣ガ濫發セラレテ其貨幣價值ガ下ル時分ニ於キマシテハ、國民ガ勤勉努力スル必要ガナクナツテ來ルノデアリマス、是ハ私ハ獨逸ノ例ヲ引クトハ申上ゲマセヌケレドモ、不換紙幣ノ濫發セラレタ時分ニハサウ云フ風ニナツテ來ルノデアリマシテ、茲ニ私ハ日本ノ國民經濟ト云フモノガ……

(議長退席副議長著席)

根本的ニブチ壞ハレテ行クノデハナイカ、即チ財界ノ破壞、財界ノ破産ト云フモノガ起ツテ來ルノデハナイカト思フ、デアリマス、此點ニ於キマシテ私ハ通貨ノ膨脹ト云フモノハ決シテ對岸ノ火災視スベキモノデハナイ、吾々ノ肩ノ上ニ、吾々ノ頭ノ上ニ於テ火ガ付テ居ル問題デアルト考ヘル者デアリマス、此點ハ私ハ日本國民ガ皆聽カント欲スル所デアルト思フ、デアリマス、故ニ政府ハ金ノ輸出禁止ノ後ニ於テドウ云フ政策ヲ執ルノデアリカト云フコトヲ明ニシ、殊ニ此通貨膨脹ノ政策ニ對シマシテハドウ云フ態度ヲ執ルカト云フコトヲ明ニサレタイト思フ、デアリマス、少クトモ金ノ輸出禁止ヲシタ所ノ者ハ、其財界ノ後始末ヲスル責任ガアルト思フ、デアリマス、今日ノ政府ノ爲ス所ハ後ハ野トナレ山トナレト言ハヌベカリニ、何等ノ對策モ施サレテ居リマセヌ、是ハ日本國家國民ノ非常ニ悲シム所デアリマス、政府ハドウカ此點ニ於キマシテ、十分ニ明白ニ其政策ヲ明ニサレタイト思フ、デアリマス

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 小川君ノ御質疑ハ多ク自問自答ニ終ツテ居ル、答辯ヲスルモハ少カラウト思フ、唯茲ニ大イナル問題

ニ付テ誤解ヲ抱イテ居ラレヤウデアアル、或ハ言葉違ヒカモ知ラヌケレドモ、減債基金ト云フモノヲ廢シタトカ、破タトカ云フヤウニ御話ニナツタ、是ハ決シテ廢シモシナイ、又政府ノ義務トシテ減債基金ヲ用フベキモノデアアル、又外國ニ對シテ澤山ナ債務ヲ有テ居ル我國デアリマス、其元利金ヲ返スト云フヤウナコトハ、是ハドウシテモ實行シテ行カナケレバナラス、其餘裕ヲ存シテ置ク、其他ノモノハ政府ノ自由處分ニ屬シテ居ルモノデアアル、ソレニ今度手ヲ著ケタ、從來此公債ヲ市場カラ買フト云フコトハドウ云フ風ニ實行サレテ居ルカ、是ハ時ノ政府ガ隨分苦慮シタモノデアアル、或ハ時ニ依ルト專任ノ仲買ノヤウナ者ニ言付ケテ、賣物ニ出ル公債ヲ買フ、或ハ時ニハ興業銀行ヲシテ賣物ヲ買ハセル、或ハ日本銀行ト云フヤウニ、種々ノ手段ヲ用ヒタノデアアル、イザ政府ガ公債ヲ買フト云フソレカラ時機ハドウカト云フト、何時デモ公債ヲ發行スル場合ニ多イノデアアル、公債ヲ新ニ發行スル時ニ於テ市價ガ下ツテ居ルハ困ルカラ、其市價ヲ上ゲルコト云フ政策ニ此減債基金ノ自由ニ處分スル部分ガ用ヒラレテ居ル、而シテ仲買ヲ使ヒ、或ハ特殊銀行ヲ使ッテ見タ所ガデヒ、是等モ矢張銀行員ガ自ラ市場ニ出ル譯ニハ行カナイカラシテ、其銀行ガ信用スル所ノ仲買ヲ使フシカナイ、サウスルト此仲買ナル者ガ公債ヲ持ッテ居ル者ヲ豫テ調ベテ置ク、其所有者ガ賣リタクモナイモノヲ勸メテ、今ガ賣時デス、政府ガ買フカラ賣時デス、今ニ下ツタラ又御買ヒナサイト言ウテ、賣ル氣ノナイ者マデ賣ラセル、ソレハナゼカト云フト、自分達ノ口錢ニナル、サウ云フ弊ガ百出シタ、ソコデ今度ノコトハ政府ガ義務トシテ買ハネバナラヌモノハ、御承知ノ通り身元保證金ヤ何カニ入ッテ居ルモノモアル、併シ自由ニ買フモノニ手ヲ著ケタ、之ニ手ヲ著ケナケレバ……

(副議長退席議長復席)

四千四百萬圓ト云フモノハ公債ノ増發ヲシナケレバナラス、寧ロ其自由ニ使フ減債基金ヲ一般會計カラシテ基金ニ繰入レルコトヲ止メテ、サウシテ公債ノ發行額ヲ減シタ方ガ宜イト云フコトデ今度ヤツタノデアアル、而シテ之ヲ全體ニ、減債基金ヲ將來廢スルナド、云フコトハ、私ハ言ウタコトモナシ、又考ヘタコトモナイ、國力ガ充實シテ來タ場合ニ於テハ、成ベク早く是ヲ復活シタイト云フノガ私ノ考デアリ、希望デアアル、ソレカラ御話ノ順ガ色々アルケレドモ、其順ニ一寸書留メタノデアリマスガ、物價ガ上ル、是ハ金ノ再禁止ヲシタ結果ニ付テノ御議論ノヤウデアアル、物價ハ貨幣價值ガ下ツタカラ上ル、併ナガラ一般ノ國民ノ購買力ハソレデ増シテ居ラス、斯ウ云フ御議論デアアル、一體サウ云フコトヲ論ズルニモ實際家トシテハ、金再禁止以來マダ年月ノ經タナイ今日ニ於テ、實際家トシテハサウ云フコトヲ論ズベキモノデナイ、併ナガラ茲ニ論ズル人ニ於テ過チガアリ、考違ガアルト云フコトハ言ハザルヲ得ナイ、物價ト云フモノハ一體何デアアルカ、人ノ働キデアリマス、六圓ノ米ガ七圓ニナツテ一圓高クナツタラ、米ハ高クナル、併シ其米ハ百姓ガ作ルモノデアアル、然ラバ其百姓ノ働キガ一圓高クナツタト見ナケレバナラス、凡ソ物體ニシテ人ノ働キニ成ラザルモノハナイ、其働キガ高クナルト云フノハ、即チ購買力ヲ増スト云フコトニナル(購買力ハ殖エナイデハナイカ)「賃銀ハドウシタ」ト呼フ者アリ、金ノ解禁止シロ、金ノ禁止ニシロ、其時ヤツカラ直グ掌ヲ反シタヤウニ現レルモノデハナイノデアアル、ソレカラ頻ニ爲替相場ノ變動ト云フコトニ重キヲ置ク、前政府ガ金ノ解禁止シタノモ矢張爲替相場ニ重キヲ置イタ、即チ外國貿易ニ重キヲ置イタ結果カラ來テ居ル、私ハ既ニ金再禁止ニ付テハ、此前ノ六十議

會ニ於テ申上ゲテアルノデアル、今日ハ世
界ノ大勢ヲ見マスルト、何レノ國モ先ヅ自
國ノ産業ノ力ヲ充實スルコトヲ以テ
第一トシテ居ル、外ニ關スル事ハ第二トシ
テ居ル、即チ此政府ハ基礎ヲ我國ノ國內ノ
産業ノ力ヲ充實スルコトヲ以テ第一トシテ
居ル(拍手)茲ニ大ニ變テ居ル……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(高橋是清君)(續) ソレデ内ヲ
第一トシテ外ノ事ヲ第二トスルト云フコト
ガ此政府ノ建前ナノデアル——

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(高橋是清君)(續) ソレカラ何
カ樞密院ノコトヲ言ハレタガ、是ハドウ云
フ所カラサウ云フコトヲ御聽キニナルカ知
ラヌケレドモ、樞密院ノ審議ト云フモノハ
公ニスベキモノデナイ、其事ニ付テ答辯ス
ル必要モナカラウ

ソレカラ新平價デ今後ヤルノカ、舊平價
デヤルノカ、是ハ誰デモ聽キタカラウ、先
ノ思惑ヲシタイ人ハ……(拍手)ソナ事ガ
今日言ヘルモノデハナイ

ソレカラ政友會内閣ハ五箇年計畫ガアル
トカ、或ハ高橋ハ豫テ「インフレーションニ
スト」通貨膨脹主義者デアルト言フ、一體
通貨ト云フモノヲ何ト考ヘテ居ルカ、農商
工ノ正當ナ取引ニ對シテ必要ナモノハソレ
ダケ通貨ガ殖エテ宜イ譯デアル(拍手)唯ソ
レガ投機ヤ思惑ニ其金ガ行クノハ宜クナイ
ガ、國ノ農商工ノ正當ナ取引ノ上ニ於テ通
貨ノ必要ガ起レバ、ソレダケ供給シテ差支
ナイ(拍手)ソレダケ御答致シマス(拍手)

(小川郷太郎君登壇)

○小川郷太郎君 私ハ先刻色々ナ點ニ付テ
伺タノデアリマスガ、高橋大藏大臣ハ之ニ
對シテ御答ニナラナイデス、其偶、御答ニ
ナラズ所モ頗ル要ヲ得テ居リマセヌ、何ノ事
カ少シモ分リマセヌ

第一ニ減債基金ノ繰入一部停止ト云フコ
トニ付キマシテ、公債ノ市價ヲ上ゲル必要
ノアル時分ニハ、即チ公債ヲ發行スル場合
ニ多クアルノデアル、サウ答ヘラレテ居リ
マスガ、現政府ハ公債ヲ多ク發行サレヨウ
トシテ居ルノデアリマス、故ニ其「ブロー
カー」ガドウデアラウガ斯ウデアラウガ、ソ
レハ先ヅ措キマスガ、市價ヲ上ゲテ置ク必
要ハナイノデアリマス、市價ガ上ガルト
云フコトガ公債ノ發行ニハ都合ガ好イ状態
デハアリマセヌカ、ソレハ如何ニ御考ヘニ
ナルカ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○小川郷太郎君(續) 私ハ減債基金ヲ廢ス
ルト云フコトヲ言テ居ルノデアリマセ
ヌガ、昭和六年度ニ於キマシテ四千四百萬
圓ノ繰入ヲ停止シタト云フ事ハ、此額極メ
テ大ナルモノガアリマス、サウ云フモノハ
公債ノ價格維持ニ付キマシテハ非常ニ影響
スルト思フノデアリマス、私ハ其事ヲ述ベ
マシテ、同時ニ此公債ノ價格ヲ維持スルト
云フコトガ金融機關ニ對シテモ必要デアル
ト云フコトヲ述ベタノデアリマス、ソレデ
ソレニ關聯致シマシテ、公債ノ優遇ト云フ
コトヲ大藏大臣ハ考ヘテ居ラレト云フコ
トデアリマスガ、ソレハドウ云フコトデア
ルカ、此金融機關ニ對スル影響ヲドウ御考
ヘニナルカト云フコトヲ聽イタノデアリマ
ス、ソレハ御返事ガアリマセヌ、重ネテ伺
ヒマス

ソレカラ今減債基金ノ一部繰入ヲ停止ス
ルト云フコトニ依テ選舉取締費ヲソコデ
捻り出シタノデハナイカ、其選舉取締費ト
ノ關係ニ付キマシテ伺タノデアリマスガ、
之ニ付テモ御答ガアリマセヌ

ソレニ關聯致シマシテ昭和六年度ノ財政
状態ト云フモノヲ私ハ伺タノデアリマス、
先刻モ歳入超過ガアルカラシテ、ソレデ恩
給ハ百四十萬圓支出シテ宜シト云フコト

ヲ言ハレマシタガ、一體昭和六年度ニ歳入
ノ超過ガアルノカドウカ、赤字ハドレ位ニ
ナルノデアアルカドウカ、サウ云フコトヲ伺
タノデアリマスガ、ソレニ御答ニナラナイ、
其點ニ於キマシテモ昭和六年度ノ財政状態
ヲ一ツ明ニシテ貰ヒタイデス

ソレカラ次ニ此物價ト云フコトニ付キマ
シテ、高橋大藏大臣ガ答ヘラレタ所ハ、私
ノ不幸ニシテ了解スルコトノ出来ナイ所デ
アリマス、物價上レバ人ノ働キガ能ク酬ヒ
ラレト云フヤウナコトヲ申サレマシタ
ガ、ソレデハ物價ガ上レバ賃銀モ上ルト意
味デアリマス、物價ガ上レテ居ルガ、賃銀
ハ上レテ居ナイデハアリマセヌカ、今日高
橋サンハ或ハ自分ガ物ヲ拵ヘテ、自分ガ其
賃銀ヲ拂テ居ルト云フ場合ヲ考ヘラレテ
居ラレトカモ知レマセヌガ、併シ今日ハ
勞働階級ト致シマシテハ、唯勞銀ダケヲ働
イテ居ルノデス、貨幣價值ガ下テ勞銀ガ
元ノ通りデアツテ、其人ノ働キガドウシテ酬
イラレテ居リマス、ソレガ今日ノ問題デ
ス、社會問題ハ其處カラ出来テ來テ居ルノ
デアリマス、物價ガ上レタカラシテ、人ノ賃
銀ガ上ラナイデモ何等社會問題ハ起ラナイ
ト言ハレトデアリマスガ、ソレナラバ私
ハ現代ノ問題ヲ解釋スルコトハ出来ナイト
思ヒマス

爲替相場ニ關聯致シマシテ御答ニナツタ
コトモ能ク分リマセヌ、私ハ此爲替相場ト
云フコトニ付テ、安定スル考ヲ有テ居ルノ
デアアルカドウデアアルカト聽イタノデアリマ
ス、ソレニ對シテ御答ヲ願ヒタイノデス、
自國ノ産業ヲ充實スル方ガ宜イノデアアル、
何ダカ外國貿易ト云フモノガ、自國ノ産業
カラ見マスと云フト、輕イモノデアルト云
フヤウナ口吻デ御話ガアリマシタ、私ハ其
點ニ付キマシテモ非常ナ疑ヲ持ツ者デアリ
マス、實際自國ノ産業ト云フモノト、輸入
輸出ト云フモノ、關係ト云フモノハ、私ハ
密接ニシテ離レベカラザルモノガアルト思

フノデアリマス(拍手)現ニ今日ニ於キマシ
テモ、生絲ニ付キマシテ考ヘテモ直グ分ル
デアリマセウ、生絲ト云フモノハ、繭カラ
生絲ニ至ルマデ自國ノ産業デアリマセウ、
併ナガラ是ガ旨ク賣レテ行カナイ、爲替相
場ノ關係モアツテ、生絲ガ十分ニ賣レテ行
カナイ、農民ノ懷合ヒモ良クナテ來ナイ、
自國ノ産業ニ頗ル影響シテ居ルデアリマ
セヌカ(拍手)一體此問題ニ付テモ考ヘマ
シテモ、私ハ爲替相場ハ三割五六分位下
テ居ルト思フノデアリマスガ、生絲ハドウ
デアアルカト云ヘバ、生絲ノ上レテ居ルノハ一
割位ノモノデアラウト思フノデス、アトハ
全ク買取ル所ノ亞米利加ノ人間ニ爲替ノ差
益ト云フモノヲ儲ケサシテ居ルノデアリマ
ス、デ爲替相場ト云フコトヲ眼中ニ置カリ
ケレバ如何デアリマス、爲替相場ガ下ツタ
爲ニ日本ノ生絲業者ト云フモノハ十分ニ儲
ケテ居リマセヌ、亞米利加人ガ儲ケテ居リ
マス、ソレデ、爲替相場ハ關係アリマセヌ
カ、現ニ生絲ノ値段ガ上ラナイ、サウスル
ト繭ノ相場モ相當上レテ行カナイ、農民ハド
ウ致シマス、農民ハソレガ爲ニ非常ニ苦
シンデ居ルデアリマセヌカ、高橋サンハ農
村ニモ好景氣ヲ來シテ居ルト言ハレルカモ
知レマセヌガ、斯ウ云フ状態デハ農村ノ好
景氣ト云フモノハ齟齬マセヌ(拍手)尙ホ斯
ウ云フ具體的問題ニ付テ御答ヲ願ヒタイ、
爲替相場ハドウデハナシ、斯ウ言
ハレマスカドウデアリマス、私ハ尙ホ答
ヘラレヌ所ニ付テ御答致シタイノデアリマ
スガ、樞密院ノ希望決議ト云フコトハ私敢
テ茲ニ爭テ居ルノデアリマセヌ、唯緊急
勅令ニモアリマス通りニ金貨ノ兌換停止ト
云フモノハ當分ノ内デアアル、サウシタナラ
バ當分ノ内ニ又止メルト云フコトニナリマ
スカラシテ、ソレハドウ云フ所ニ期間ノ目
度ガアルカ、短キ期間ニ於テ必ズ兌換回復
アセラレララウト思フガ、ソレハドウ
考ヘルカ、ソレヲ聽イテ居ルノデアリマス、

出致シマス、即チ此際日程ヲ追加シテ町田忠治君外三名提出國務大臣ノ輔弼ノ責任ニ關スル緊急質問ノ趣旨辯明ヲ許可セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 作田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) ソレデハ御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ、國務大臣ノ輔弼ノ責任ニ關スル緊急質問ノ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——齋藤隆夫君

國務大臣ノ輔弼ノ責任ニ關スル緊急質問

〔齋藤隆夫君登壇〕

○齋藤隆夫君 諸君、此度ノ議會ハ、曩ニ總理大臣ヨリ説明セラレタル如ク、現下内外ノ時局ニ當リマシテ、國家ノ急務ニ應ズベク特別ノ目的ヲ以テ召集セラレタル臨時議會デアリマスルノミナラズ、其會期ハ極メテ短ク、本日ヲ合セテ剩ス所僅カニ三日デアリマス、此短時日ノ間ニ於キマシテ、吾々ハ政府ニ對シテ十分ナル質問ヲ爲ス能ハザルコトヲ遺憾ト致シマス、昨年ノ十二月現内閣成立以來、吾々ハ内治外交ニ關スル有ユル政策ハ申スニ及バズ、其他國家ノ重大事件ニ付キマシテ、政府ニ對シテ質問スベキ數多ノ問題ヲ控ヘテ居ルノデアル、而シテ是等ノ問題ニ付キマシテハ、前議會ニ於キマシテ、十分ニ質問ヲナシ、腹藏ナキ政府ノ意見ヲ聽クベク期待シテ居タノデゴザイマスルガ、御承知ノ通りニ、前議會ニ於キマシテハ、政府ハ吾々ニ質問ノ機會ヲ與ヘズシテ、衆議院ヲ解散シタノデアリマス、少數黨ガ内閣ヲ組織シタル場合ニ於キマシテ、衆議院ヲ解散シテ民意ヲ問フ、是ハ政黨政治ノ常道デゴザイマスルカラ、吾々ハ政府ガ解散ヲ斷行シタコトニ付キマシテハ、少シモ異存ヲ唱ヘルモノデハナイ、唯當時政府ノ主張ノミヲ述ベテ、在野黨ニ質問ノ機會ヲ與ヘナカタト云フコトハ、何

ト云ウテモ政治家トシテハ、卑怯千萬ノ振舞
デアリマス。トミナラズ（拍手）立憲治下ノ政
府トシテ決シテ議會ヲ尊重スル所以デハナ
イノデアリマス、併シ是ハ姑ク別問題ト致
シマシテ、斯ノ如キ次第デゴザリマスルカ
ラ、吾々ノ質問ハ前議會ニ於テハ其機會ヲ
得ズ、又此議會ニ於テハ其時ヲ得ナイノデゴ
ザイマス。併シ是ガ爲ニ吾々ハ決シテ
質問ヲ放棄スルモノデハナイ、總選舉後ニ新
ニ起リマシタ問題ヲ併セテ、來ルベキ特別
議會キデ質問ヲ留保スルヨリ外ニ道ハナイ
ノデアリマス。併シ此際國家ノ爲ニ最
早猶豫スルコトノ出來ナイ二三ノ重大事件
ガゴザリマスルカラ、此事件ノミニ限リマ
シテハ、有ユル政治問題ヲ措キマシテモ、
他ノ同僚ト共ニ、特ニ政府ニ對シテ質問ヲ
致サネバナラヌノデアリマス。

其第一ハ本年一月八日、帝都櫻田門外ニ
於テ起リマシタ所ノ彼ノ大逆事件、此大逆
事件ニ對スル政府ノ責任ニ關スルコトデア
リマス、諸君、吾々ハ萬世一系ノ皇室ヲ戴
ク名譽アル國民ノ代表者トシテ、而モ國民
代表ノ府タル此議會ニ於キマシテ、斯ノ如
キ問題ニ關シテ政府ノ責任ヲ糾サネバナラ
ヌコトヲ悲シマス、若シ政府當局者ニシテ
皇室ノ尊キコトヲ知り、諸般ノ國務中、最
モ大切ナル護衛警察ニ付テ周到ナル注意ヲ
怠ラナカッタナラバ、彼ガ如キ事件ハ必ズ起
ラナカッタニ相違ナイ、若シ又是ガ起リマシ
タ後ニ於テモ、苟モ常時輔弼ノ責任ヲ擔フ
所ノ國務大臣タルモノガ、我ガ深遠ナル國
體觀念ヲ基トシ、是ヨリ生ズル所ノ國民の
最高ノ道德、降テ憲法上ニ於ケル責任ノ所
在ヲ辨ヘテ居リマスルナラバ、今日此議會
ニ於テ、吾々ノ質問ニ遭遇スルガ如キコト
ハ斷ジテ起ラナイノデアリマス、然ルニ何
故カ現内閣ノ政府當局者ハ、此大切ナル護
衛警察ニ付テ、確ニ怠慢ノ誹ヲ免レナカ
コトガ、彼ノ重大ナル事件ヲ惹起シタ所ノ
大ナル原因デアリマス、而モ事後ニ於ケル

政府ノ態度、犬養首相ヲ初トシテ、各國務
大臣ノ態度ヲ見マシテ、此重大事件ニ對
スル有ユル責任ヲ回避シ、名ヲ優越ニ藉
テ進退ヲ誤リ、恬然トシテ此議會ニ臨マル、
コト、即チ吾々ノ質問ニ已ムヲ得ザル所
以デゴザイマシテ、我ガ憲政史上ノ爲ニ惜
ミテモ尙ホ餘リアルコトデアリマス（拍手）
諸君モ御承知ノ如ク吾々ハ不幸ニシテ今
ヨリ十年前以前、即チ大正十二年十二月、同
ジ性質ノ事件ヲ記憶スルノデアリマス、所
謂虎ノ門事件ナルモノデアリマス、當時我
國ハ前古來未曾有ノ大震火災ノ後ヲ承ケマ
シテ、精神界ニ於キマシテモ、又物質界ニ
於キマシテモ、非常ナル困難ニ直面シ、時
ノ山本内閣ハ全能力ヲ傾倒シテ、一意専心、
是ガ對策ニ努力シテ居ル其際ニ於テ、彼ノ事
件ガ突發致シタノデアリマス、山本首相ハ
其責任ノ重大ナルコトヲ自覺シテ、恐懼措
ク所ヲ知ラズ、直ニ閣僚一同ノ辭表ヲ擲メ
テ、閣下ニ捧呈致シタノデアリマス、然ル
ニ、畏多クモ今日ノ聖上陛下、當時ノ攝政殿
下ニ於ケラレマシテハ、時局重大ノ折柄、
政局ニ變動ヲ及ボスコトハ宜シクナイカ
ラ、留テ其職ニ盡セヨト云フ有難キ御詔
ヲ賜フタノデアリマス、是ニ於テ山本首相ハ
閣僚一同ヲ集メテ熟議ヲ擬ラシタ、其内容
ト結果ハ如何ナルモノデアッタカト云フ、
「今回ノ事件ハ實ニ有ユル政治問題ヲ超越
シ、國體ノ根本ニ關スル最モ重大ナル問題
デアルカラ、内閣全體ガ責任ヲ負フベキハ
當然デアアル、斯ノ如キ重大事件ニ對シテ既
ニ一旦辭表ヲ捧呈シタル以上ハ、假令右ノ
如キ御詔ヲ拜スルトモ、依然トシテ其職ニ
留マルベキモノデハナイ、何處迄モ辭表ノ
御聽許ヲ御願申スコトガ國務大臣トシテ臣
節ヲ完ウシテ輔弼ノ重責ヲ盡ス所以デア
テ、是ヨリ外ニ執ルベキ途ハ絕對ニ見出ス
コトガ出來ナイ」斯様ニ閣僚ノ意見ガ一決
致シマシタカラ、山本首相ハ更ニ一同ノ辭
表ヲ取纏メテ、閣下ニ捧呈シ、茲ニ山本内

閣ノ總辭職ガ實現シタコトハ、今日ニ於キ
マシテモ何人モ爭フコトノ出來ナイ事實デ
アリマス。トミナラズ、自ラ進ンデ此意見
ニ贊成セラレマシタル所ノ當時ノ犬養進
信大臣、今日ハ總理大臣トナリ、生キタル
證人トシテ此處ニ現ハレテ居ラル、ノデア
リマス。
諸君、山本内閣ノ執リタル態度ハ正シキ
途デアルカ、正シカラザル途デアリマス
カ、世界無比ノ國體ヲ本トシ、此國體ヲ擁
護スルコトハ、即チ我ガ日本帝國ヲ擁護ス
ル所以デアルコトヲ思ヒ、此根源ヨリ流レ
出タル所ノ國民的道德觀念ニ照シテ、山
本内閣ノ執リタル態度ハ正シキ途デアアル、
時ノ政府トシテ是ヨリ外ニ執ルベキ途ハ絶
對ニナシト論斷スルニ當リテ、日本國民中
一人トシテ異議者ガアルベキ譯ハナイ（拍
手）若シ諸君ノ中ニ於テ一人デモ反對者ガ
アリマスルナラバ、又此處ニ列席セラル、
所ノ閣僚諸君ノ中ニ於テ、一人デモ異議者
ガアリマスルナラバ、吾々ハ謹ンデ其説ヲ
承ラナケレバナリマセヌ、斯ノ如キ次第デ
ゴザイマシテ、斯ル事件ニ直面シタル政府
トシテ執ルベキ途ハ一アッテ一ナシ、事理極
メテ明白デアアルニ拘ラズ、今回ノ事件ニ付
テ現内閣ノ執リタル態度ハ、全ク反對ノ方
向ニ進ンデ居ルノデアリマス、殊ニ犬養首
相ニ至リテハ、曾テ山本内閣ノ下ニ執ラレ
タル所ノ態度、今回ノ事件ニ於テ執ラレタ
ル所ノ態度、全然相背馳スルニ至リテハ、實
ニ驚クベキコトデゴザイマシテ、國家ノ爲
ニ吾々ハ之ヲ看過スルコトハ出來ナイノデ
アリマス（拍手）

一月ノ八日彼ノ不祥事件ガ起リマスル
ト、犬養首相ハ閣僚ノ辭表ヲ擲メテ閣下ニ
捧呈セラレタルコトハ事實デアリマス、併ナ
ガラ當時犬養首相ハ、閣僚ノ辭表ヲバ取纏
メラル、ノ時ニ當リ、又之ヲ携ヘテ閣下ニ
捧呈セラル、時ニ當リ、眞ニ責任觀念ニ打
タレテ居ラレタカドウカ（拍手）犬養首相ノ

胸ノ中ニハ我ガ金匱無缺ノ國體觀念ガ閃メ
イテ居タカドウカ、吾々ハ先ツ之ヲ疑ハザ
ルヲ得ナイノデアリマス、若シ果シテ犬養
首相ニシテ眞ニ我ガ國體ノ尊キヲ知り、眞
ニ責任ノ重大ナルコトヲ自覺シテ居ラレマ
シタナラバ、何處マデモ其責任ヲ果スガ爲
ニ、其辭表ヲ御聽許ニ相成ルベク、進ンデ
陛下ヲ輔弼シ奉ラネバナラヌ所ノ第二ノ責
任ガ生ズルコトモ亦考ヘラレネバナラヌノ
デアアル「國務大臣ハ天皇ヲ輔弼シテ其責ニ
任ス」憲法ノ章條極メテ明白デアアルニ拘ラ
ズ、犬養首相ハ此責任ヲ果スガ爲ニ力ヲ致
サレタ所ノ形跡ハ寸毫モ認ムルコトガ出來
ナイ（拍手）而シテ一度優越ヲ拜スルヤ、直
チニ辭意ヲ顯シテ留任ト決定セラル、此經
路ヲ見マスルト犬養首相等ノ辭表ノ中ニハ
眞ノ國體觀念、眞ノ道德觀念、眞ノ責任觀
念ガ打込マレテ居ルモノトハ、ドウシテモ考
ヘラレナイノデアリマス（發言スル者アリ）
曰ク時局ガ重大デアアル、内ニハ經濟問題ガ
アリ、外ニハ滿蒙問題ガアル、是等ノ問題
ヲ解決スル責任ガアルカラ留任シタノデア
ル、時局ガ重大デアアルコトハ初ヨリ分ッ
テ居ル、辭表呈出ノ當時カラ分ッテ居ルノデ
アル、優越ヲ拜シテ初メテ知ルベキ事實デ
ハナイ、或ハ曰ク將來斯ノ如キ事件ノ起ラ
ナイヤウニ努力シナクテハナラヌカラ留任
シタノデアアル、將來斯ノ如キ事件ガ絕對ニ
地ヲ拂フベク努力スルコトハ、決シテ犬養
内閣ノミニ責任デハナイ、未來永久我ガ日
本帝國ノ存在スル限り、何人ガ其職ニ在ル
ト雖モ、是ガ爲ニ全力ヲ傾倒シナクテハナ
ラヌコトハ申スマデモナイコトデアアル、殊
ニ此等ノ事ハ、何レモ政治問題デアアル、然
ルニ犬養首相ハ辭表ヲ捧呈セラレタ趣旨ト
シテ何ト世上ニ發表セラレテ居リマスカ、
今回ノ事件ハ憲法及ビ政治論ヲ超越シタル
問題デアアル、即チ我ガ國體ハ世界ニ比類無
キ特殊ノ國體デアアルカラ、斯カル國家ノ總
理大臣タル者ハ、憲法及ビ政治論ヨリ超越

シタル行動ニ出デネバナラス、故ニ山本内閣ノ場合ト同ジク辭表ヲ捧呈スルコトガ臣節ヲ完フル所以デアルト考ヘタト斯様ニ申シテ居ラル、ノデアリマス、其言ハ極メテ善シ、併シ行ハドウデアリマス、初ニハ憲法及ビ政治論ヲ超越シタル重大ナル問題ナリト稱シテ辭表ヲ呈出シテ居リナガラ、後ニ至リテハ政治上ノ理由ヲ稱トシテ留任ヲスル、其言フ所ト其行フ所、全ク前後矛盾、日本帝國ノ總理大臣トシテノ定見ガ何處ニアルカ、責任觀念ガ何處ニアルカ分ラナイデハナイカ(拍手)斯ウ云フ無定見ナル斯ウ云フ無責任ナル考ヲ持ッテ、ドウシテ總理大臣トシテノ職責ヲ完ウスルコトガ出來ルカ

更ニ犬養首相ハ嘗テ大逆事件ニ關シテ内閣ヲ彈劾セラレタルコトガアルノデアリマス、即チ明治四十四年二月ノ二十日、彼ノ幸徳某ノ大逆事件ニ關シテ、時ノ第二次桂内閣ニ向ッテ、其責任ヲ問フベク彈劾決議案ヲ提出セラレタコトガアル、其決議案ノ中ニ、如何ナルコトヲ以テシテ居ルカト云フト、茲ニ其決議案ノ一部ヲ朗讀致シマセウ……

(此時發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○齋藤陸夫君(續) 「今ヤ 陛下御宇ノ下ニ

悖逆彼カ如キ狂豎ヲ出シ以テ國體ノ尊嚴ヲ汚濁セリ是レ 陛下ニ忠誠ナル舉國臣民ノ恐懼惶惑措ク能ハサル所ナリ唯其レ悖逆彼カ如キ狂豎ヲ出シタルハ閣臣亦責ヲ逃ルルヲ得ス彼ヤ閣臣 陛下ノ政府ニ坐シ大政ノ輔弼ニ任シナカラ悖逆ノ企ヲ未然ニ杜絶ス

ル能ハス遂ニ刑獄ヲ起スノ已ムヲ得サルニ至リタル是レ身閣臣トシテ 陛下ノ朝ニ立ツ者ノ自ラ安ムスル所ナル歟願フニ彼等閣臣モ亦衷心ニ安ムセサルモノアル歟一旦罪ヲ戾座ノ下ニ待チタルニ似タリ而モ其意特恩ヲ冀ヒ一タヒ優旨ノ下ルニ會ヘハ罪責共ニ減スト爲シ謂々トシテ自得ノ情ヲ掩ハス是レ人臣タル者君主ニ奉對スルノ道ト爲ス歟將タ大臣タル者ノ輔弼ニ任スル所以ト爲ス歟帝國憲法第五十五條ヲ按スルニ曰ク國務大臣ハ天皇ヲ輔弼シ其ノ責任ニ任スト閣臣今ヤ輔弼ノ道ヲ失フコト斯ノ如シ宜ク自ラ處決シテ元首ニ奉對スルノ責任ヲ明ニスヘシ」斯ノ如キ趣旨ヲ以テ、彼ノ大逆事件ニ關スル責任ヲ問フベク、第二次桂内閣ニ對シテ彈劾案ヲ呈シテ居ラレルノデアリマス、即チ斯ノ如キ大逆事件ヲ起シ、吾ガ皇室ノ尊嚴ヲ傷ケタルコトハ、全ク閣臣ノ責任デアアルカラ、自ラ處決シテ、以テ其罪ヲ謝セヨト糾彈シテ居ラレルノデアリマス、即チ前ニハ大逆事件ニ付テ、時ノ内閣ヲ彈劾シ、後ニハ大逆事件ニ付テ、山本首相等ト共ニ、責任ヲ負ウテ處決セラレテ居ルノデアアルガ、單リ今回ノ事件ニ當リテハ、彼ガ如キ態度ヲ執ラレルノハ何故デアアルカ

此事ニ付テ前議會ニ於テ貴族院ニ於ケル柳澤伯ノ質問ニ對シテ何ト答ヘテ居ラレルカト云フト、修練ノ結果心境ニ變化ヲ來シタ、平タク言ヘバ考ヘガ變テ來タト云フコトデアリマス、實ニ驚クベキ答辯デハナイカ(拍手)吾々日本臣民ガ、國體ニ對スル所ノ信念ハ萬古不易、時ノ經過ニ依ッテ變ルベキモノデハナイ(拍手)隨テ此國體ヨリ流

レ出ル所ノ道德觀念、責任觀念モ亦絕對的ノモノデアリマシテ、時ト場合ニ依ッテ決シテ變化ヲ受クベキモノデハナイノデアリマス、然ルニ犬養首相ノ考デハ、此大切ナル所ノ國體觀念、此大切ナル所ノ道德觀念、此大切ナル所ノ責任觀念ガ、時ト共ニ變化ヲシテ來ル、今日ト昨日ト違フ、本年ト昨年ト違フ、將來又修練ヲ重ネテ行ッタラドウ變ルカ分ラナイト云フノデアアル(拍手)此大切ナル所ノ國體觀念ニ付テ、帝國ノ總理大臣タルモノガ、斯ノ如キ動搖常ナキ考ヲ有ッテ居ル、國民代表ノ任務ヲ擔フ吾々議員ハ、默シテ之ヲ看過スルコトガ出來ルカ(拍手)吾々ノ背後ニ控ヘテ居ル所ノ日本國民ハ、此犬養首相ノ答辯ヲ聞イタナラバ何ト考ヘルカ、斯ウ云フ總理大臣ニ國家ノ運命ヲ託スルコトヲ承知スルモノデアアルカ(拍手)犬養首相ハ退イテ考ヘナケレバナラヌノデアアル、犬養首相ハ優詭ヲ稱シテ居ラレルノデアアル、即チ優詭ヲ拜受シタカラ留任ヲシタルデアアルト言フテ居ラル、ガ、今日犬養首相ハ、一體サウ云フコトガ言ヘルノデアアルカ、能ク考ヘラレナケレバナラヌ、元來立憲政治ノ下ニ於キマシテ國務大臣タルモノガ、名ヲ聖旨ニ藉リテ進退ヲ決スルコトハ、政治上ノ罪惡デアリマス(拍手)

手(政治上ニ於ケル責任ハ國務大臣自身ニ於テ決定シ、自身ニ於テ解決シ、累ヲ皇室ニ及ボサナイ、是ニ於テ神聖不可侵ノ大則ヲ徹底シ、茲ニ責任政治ノ實ガ舉ルノデアリマス(拍手)然ルニ我國ノ立憲ノ歴史ヲ見マスト、時ノ國務大臣、或ハ時ノ政治家ガ 陛下ノ

優詭ヲ拜シテ進退ヲ決シタル一二ノ實例ヲ見出スノデアリマスガ、憲政未熟ノ時代トハ言ヒナガラ、洵ニ惜シムベキコトデゴザイマシテ、今日ノ政治家ガ決シテ傲フベキ先例デハナイ、而モ斯ノ如キ事件ガ起ル度毎ニ、犬養首相ハ極力是等ノ行動ニ向ッテハ反對ヲセラレタ一人デアリマス、例ヘバ往年桂公ガ優詭ヲ拜シテ宮中ヲ出デ、政治ノ表面ニ現ハレ、第三次桂内閣ヲ組織シタコトガ、彼ノ憲政擁護運動トナッテ此議會ニ内閣彈劾案ガ現ハレタノデゴザイマスガ、其發頭人ノ一人ハ確カニ犬養首相デアッタノデアアル(拍手)又大隈内閣ノ下ニ於キマシテ、彼ノ大逆事件ナルモノガ起リ、大隈首相以下責任ヲ負ウテ辭表ヲ提出シタルデアリマスガ、此時ニモ優詭ヲ拜シテ留任シタ、之ヲ理由トシテ内閣彈劾案ガ此議場ニ現ハレタノデゴザイマスガ、其署名者ノ一人ハ、是亦犬養首相ガアッタノデアリマス(拍手)斯ノ如ク立憲政治ノ下ニ於キマシテ、國務大臣タルモノガ聖旨ニ藉口シテ進退ヲ決スルコト、是ハ政治上ノ罪惡デアアル、所謂衰龍ノ袖ニ隠レテ責任ヲ回避スルモノデアルトシテ、犬養首相ハ是マデ極力反對セラレテ來タルノデアアル、而モ此一二ツノ場合、第三次桂内閣ノ場合モ、第二次大隈内閣ノ場合モ、何レモ政治問題ニ屬スルモノデアリマシテ、政治問題ヲ離レタル所ノ國體問題トハ全然其性質ヲ異ニシ、事ノ輕重、大小、同一ニ論ズベキモノデハナイ、然ルニ純然タル政治問題デスラ名ヲ聖旨ニ藉ッテ留任スルト云フコトハ政治上ノ罪惡トシテ、極力之ニ反對シテ來タル所ノ犬養首相、

今回ノ事件ニ當リテ自ラ總理大臣トシテ、ア

ノ恐ルベキ大逆事件ヲ惹起シ、其責任ノ重

大ナルコトヲ自覺シテ辭表ヲ提出シテ居リ

ナガラ、一タビ優詔ヲ拜スルヤ、直ニ辭意

ヲ翻シテ其責任ヲ塗抹セントスルハ、抑、

何事デアルカ、惟フニ大養首相ノ留任ノ理

由ハ、ソレ自體ニ於テ何等ノ理由ヲ爲シテ

居ラナイ、又大養首相自身ニ於テモ、是ガ

眞ノ理由デアルトハ考ヘテ居ラナイデ

アラウト思フ、然ラバ眞ノ理由ハ何處ニ在
ルカ、大養首相ガ留任セラレタル所ノ眞ノ
理由ハ何處ニアルカ、大養首相ノ心境ニハ
如何ナルコトガ現ハレテ居ルカ、現内閣成
立後日尙ホ淺シ、折角獲得シタル政權ヲ離
スコトハ嫌デアル(「ノー」)ト呼ヒ其他
發言スル者アリ)是デハナイカ、若シサウデ
アルナラバ、ソレハ非常ナ誤リデアリマ
内閣ノ辭職ハ政治界ニ於ケル一時ノ出来事
デアリマス、之ヲ永遠ナルベキ我が國體ニ
考ヘ、之ヲ無窮ナルベキ國家ノ生命ニ考ヘ
マシタナラバ、一内閣ノ辭職、一内閣ノ更
迭ノ如キハ問題デハナイ(拍手)大養内閣ノ
十ヤ二十倒レタ所ガ、日本國家ノ基礎ハ
少シモ動搖シナイ、日本ノ政府、日本ノ國
民ガ國體觀念ヲ失フ時ハ日本帝國ノ基礎
ハ崩壊スルノデアリマス(拍手)大養首相ハ
退イテ此間ノ道理ヲ考ヘ、目前ノ功利主義
ヲ捨テ、高キ理想界ニ生キントセラル、
ナラバ、貴方ガ執ラレタル所ノ行動ハ確ニ
誤リテ居ル(拍手)上御一人ニ對シ奉リ、下
萬民ニ對シテ洵ニ相濟マヌコトヲシタト
自ラ反省セラレネバナラスト思フガドウ
カ、之ヲ吾々ハ尋ネナケレバナラストデア

リマス

之ヲ要スルニ外國ニ於テハ率ザ知ラズ、
我が日本帝國ニ於キマシテハ、斯ノ如キ大
逆事件ニ直面シタル所ノ政府ハ、彼レヤ此
レヤト理窟ヲ言フベカラズ、恐懼ノ一念ヲ
以テ直ニ責任ヲ負ウテ處決スベキデア
(拍手)是ハ道理ノ上ニ於テ然ルノミナラズ、
大養首相自身ノ是マデノ主張ガ此ニアルノ
デアリマス、曩ニ大逆事件ニ關シテ、第二
次桂内閣ヲ彈劾セラレタ事モ、是ガ爲メデ
アル、山本内閣ノ下ニ於テ、連帶責任ヲ負
テ辭職セラレタ事モ是ガ爲メデアル、尙又
荷モ國務大臣タル者ハ名ヲ聖旨ニ藉テ進
退ヲ決スベカラズ、是レ亦大養首相ノ從來
ノ主張デアルノデアリマス、第二次桂内閣
ヲ彈劾セラレタ事モ、第二次大隈内閣ヲ彈
劾セラレタ事モ、此趣旨ニ他ナラヌノデア
ル、然ルニ自ラ總理大臣トナッテ、彼ノ不祥
事件ヲ起シテ居リナガラ、名ヲ優詔ニ藉テ
進退ヲ誤ルトハ抑、何事デアルカ(拍手)若
シ今回大養首相ガ執ラレタル所ノ態度ガ正
シキ道デアルナラバ、是マデ執ラレタル所
ノ態度ハ盡ク誤リテ居ルノデアル、山本内閣
ノ下ニ於テ山本首相等ト共ニ連帶責任ヲ負
ハレタコトハ誤リテ居ル、全ク無意味デア
タ、是ガ臣節ヲ全ウスル所以デアルト考ヘ
タコトガ、却テ臣節ヲ汚ス所以デアッタ言
ハネバナラストガ、大養首相ハ之ヲ明言スル
コトガ出来マスカ(拍手)桂内閣、大隈内閣
ヲ彈劾セラレタルコト、是レ亦全ク自分ノ
考ヘ違ヒデアッタト云フコトヲ茲ニ告白セ
ラレネバナラストデアリマスルガ、大養首
相ハ此壇上ニ立ッテ、斯ノ如キコトヲ明言

サレルコトガ出来ルノデアルカ(拍手)出来
ルノナラバシテ御覽ナサイ、出来ナイデア
リマセウ、若シ是ガ出来ナイト云フナラバ、
今回執ラレタル所ノ態度ハ誤リテ居ル、同ジ
性質ノ事件ニ付テ、曩ニ執ッテ態度、後カラ
執ッテ態度、何方モ正シキ道デアルト云フガ
如キ事ハ、如何ニ大養君ト雖モ明言スルコ
トガ出来ナイ答デアル(拍手)此間ノ關係ヲ
キパリト明白ニ、此處ニ於テ説明セラレタ
イノデアリマス(拍手)

ノデアルカ、申スマデモナク内務大臣デア
リマス、内務大臣ハ警察事務ノ執行ニ付テ
ハ監督ノ責任ガアル、殊ニ護衛警察ニ對シ
テハ、一般ノ警察事務ヨリカ更ニ一層重大ナ
ル責任ガアルコトハ申スマデモナイコトデ
アリマス、然ルニ前内務大臣ハ、此事件ニ
付テ何ノ責任ヲ負ウテ居ルカ、吾々ハ前内
務大臣ガ警視總監以下ノ屬僚ニ對シテ懲戒
處分ヲ要求セラレタコトハ知ッテ居リマス
ルガ、内務大臣自身ニ於テ何等ノ責任ヲ負
ハレタルコトヲ聽イテ居ラナイノデア
(拍手)護衛ニ關スル責任ハ、警視總監限リ
ノモノデアッテ、其以上ニ及バナイノデア
ルカ、若シサウ云フ考ヲ有ッテ居ルノナラ
バ、ソレハ非常ナ誤リデアリマシテ、警衛
ヲ輕ンズルノ甚シキモノデアリマス(拍手)
先程述べマシタ山本内閣當時ノ不祥事件ニ
於キマシテ、時ノ内務大臣後藤新平氏ハ、
閣議ノ席上ニ於テドウ云フコトヲ申シテ居
ラレルカト見ルト「他ノ閣僚諸君ハドウ云
フ意見ヲ有ッテ居ラレルカハ知ラナイガ、
自分ハ何ト考ヘテモ、當面ノ責任者トシテ
辭職スルヨリカ外ニ絶對ニ途ハナイ、諸君
ニ對シテ深ク陳謝スル」是ハ當然ノコトデ
アリマス、然ルニ前内務大臣ハ、此重大事
件ニ付テ責任ヲ負ハレタルコトヲ知ラナ
イ、此事件ニ付テハ内務大臣ニハ責任ガ無
イト云フノデアルカ、責任ハアルケレドモ、
此責任ヲ負ハナイト云フノデアルカ、大養
首相兼内務大臣ニ於テハ之ニ答ヘラレナケ
レバナラスト思フ

次ハ陸軍大臣ニ對シテ一言質問致シテ置
キマス、先程申シマシタル如ク、此事件ハ

以上ハ國務大臣トシテノ大養首相ニ對シ
テ御尋ネヲシタノデアリマス、私ハ是ヨリ
進ンデ、行政長官トシテノ内務陸軍兩大臣
ニ向ッテ一言御尋ヲシテ置キタイコトガア
リマス(拍手)、「此問題ヲ政爭ノ具ニ供ス
ルト云フコトハ怪シカラヌ」ト呼ヒ其他發
言スル者アリ)前内務大臣中橋氏ハ、過日
病氣ノ故ヲ以テ辭職セラレマシテ、大養首
相ガ之ヲ兼務シテ居ラレルノデアリマス
(政爭ノ具ニ供スルト云フコトハ怪シカラ
ヌ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○齋藤隆夫君(續) 大臣其人ガ迭リマシテ
モ、職責ハ依然トシテ繼續シテ居ル、況ン
ヤ大養首相ハ總理大臣トシテ閣僚ヲ統督ス
ル責任ニ於テ、又一方ニ於テハ内務大臣ト
シテ、内務行政ニ關スル此質問ニ對シテ
ハ、答ヘラレネバナラスト思ヒマス

御承知ノ如ク今回ノ事件ハ一月八日、
大元帥陛下ガ觀兵式ヨリ御還幸ノ途上ニ於
テ、殊ニ帝都ノ治安ヲ掌ル所ノ警視廳ノ正面
ニ於テ起ッタノデアル、斯ノ如キ場合ニ於キ
マシテ、護衛ニ關スル責任ハ抑、誰ガ負フ

○齋藤隆夫君(續) 大臣其人ガ迭リマシテ
モ、職責ハ依然トシテ繼續シテ居ル、況ン
ヤ大養首相ハ總理大臣トシテ閣僚ヲ統督ス
ル責任ニ於テ、又一方ニ於テハ内務大臣ト
シテ、内務行政ニ關スル此質問ニ對シテ
ハ、答ヘラレネバナラスト思ヒマス

御承知ノ如ク今回ノ事件ハ一月八日、
大元帥陛下ガ觀兵式ヨリ御還幸ノ途上ニ於
テ、殊ニ帝都ノ治安ヲ掌ル所ノ警視廳ノ正面
ニ於テ起ッタノデアル、斯ノ如キ場合ニ於キ
マシテ、護衛ニ關スル責任ハ抑、誰ガ負フ

御承知ノ如ク今回ノ事件ハ一月八日、
大元帥陛下ガ觀兵式ヨリ御還幸ノ途上ニ於
テ、殊ニ帝都ノ治安ヲ掌ル所ノ警視廳ノ正面
ニ於テ起ッタノデアル、斯ノ如キ場合ニ於キ
マシテ、護衛ニ關スル責任ハ抑、誰ガ負フ

大元帥陛下ガ陸軍最高儀式ノ一ツデアル觀

兵式ヨリ御還幸ノ途上ニ於テ起ラタ事件デアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ、陸軍大臣ハ何等行政上ノ責任ハナイノデアリマスカ、陸軍大臣ハ憲兵ヲ指揮シテ軍事警察ヲ統轄スル、其地位ニ居ラル、所ノ陸軍大臣ハ、斯ノ如キ場合ニ於テ責任ハナイノデアルカ、併シ私ハ此場合ニ於テ、官制上ニ於ケル陸軍大臣ノ責任ヲ糾サントスルノデハナイ、思想上ニ於ケル、道德上ニ於ケル陸軍大臣ノ意中ヲ聞イテ見タイノデアリマシ、一軍人ハ忠節ヲ盡スヲ以テ本分トスヘシ、是ハ明治十五年一月四日帝國軍人ニ賜ハリタル所ノ勅諭ノ一節デアリマス、陸軍ト特別ノ關係アリマス所ノ觀兵式、此觀兵式ヨリ御還幸ノ途上ニ於テ、彼ノ如キ事件ガ起ラタ、之ニ對シテ陸軍大臣ハ責任ヲ負ハナイ、是ガ軍人トシテ忠節ヲ盡ス所以デアルカ、之ヲ伺ヘバ宜シイノデアリマス、今日帝國ノ軍人ハ海ヲ越エテ彼ノ地ニ渡リ、有ユル艱難辛苦ニ耐ヘ、幾多ノ身命ヲ抛テ此勅諭ニ奉答シテ居ルノデアル、陸軍大臣ハ眼ヲ開イテ此有様ヲ見ラレルデアラウ、眼ヲ閉ヂ胸ニ手ヲ當テ、深ク考ヘラレタナラバ、自ラ悟ラル、所ガナクデハナラヌ(拍手)十分御考ノ上ニ御答ヲ願ヒマス

(此時發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○齋藤隆夫君(續) 諸君モ御承知ノ如ク近頃我國ニ於テハ國民思想ノ問題ガヤカマシクナリテ居リマス、國民思想ガ動搖シテ居ル、甚シキニ至リテハ惡化シテ居ルコトハ爭フコトノ出來ナイ事實デゴザイマシテ、國家ノ前途ニ取テ洵ニ憂フベキコトデアリマス、故ニ苟クモ國家ヲ肩負ウテ立ツ所ノ政黨ノ首領タル者、殊ニ一國ノ總理大臣トシテ國民ノ上ニ立ツモノハ、深ク此點ニ意ヲ注ギ、身ヲ以テ此問題ヲ解決スルガ爲ニ全力ヲ傾倒シナクテハナラヌコトハ無論デアリマス、而シテ國民思想ガ動搖スル原因ハ何處ニアルカ、ソレニハ種々複雑シタル原因ガアリマセウ、内ヨリ起ルモノモアレバ、外ヨリ來ルモノモアル、政治上、社會上、經濟上其他幾多ノ原因ハゴザイマセウガ、其本ニ遡テ見マシタナラバ、近頃我が日本國民ノ一部ニ於テ、國體觀念ガ衰ヘテ居ル、是ガ即チ根本的ノ大原因デアルコトニ付キマシテハ、何人モ疑フコトハ出來ナイノデアル、之ヲ歷史上ノ事實ニ徴シテ見マシテモ、國體ニ對スル國民ノ自覺ガ強ケレバ強イ程、國民ノ思想ハ健全デアリマス、弱ケレバ弱イ程、國民ノ思想ハ不健全デアル、故ニ建國以來今日ニ至ルマデ、歷史上ニハ幾多ノ變遷ハゴザイマシタケレドモ、歸スル所、日本國民ガ心ノ底カラシテ眞ニ天子ヲ尊ビ、眞ニ皇室ヲ重ンジ、國體觀念ヲ旺盛ニスルニアラザレバ、國家社會ノ安定ヲ圖ルコトハ出來ナイト云フ、此國民的自覺ガ現ハレテ、彼ノ明治維新ノ大業トナ

リ、所謂新日本ガ生レ來タノデアル(拍手)

故ニ近時ノ思想界ヨリ考ヘマシタナラバ、吾々ハ國體ニ對スル國民ノ自覺ヲ要スルコトニ益、切ナルコトヲ痛感スルノデアリマス(拍手)然ルニ此大切ナル所ノ、國體ヲ破壊セントスル所ノ大逆事件、此大逆事件ニ關スル責任ヲ、擧ゲテ一部ノ屬僚ニ歸セシメ、總理大臣以下ノ各大臣ハ、恬然トシテ其責任ヲ負ハナイ、斯ノ如キコトヲヤツテドウシテ國體觀念ヲ旺盛ニスルコトガ出來ルカ(拍手)況ヤ同ジ事件ニ付テ、先ノ政府ガ執リタル所ノ態度、後ノ政府ガ執リタル所ノ態度、其道ガ右ト左ニ分レテ、五ニ方向ヲ異ニシテ居ル、斯ウ云フコトヲヤツテ居リナガラ、ドウシテ國體ニ對スル國民ノ信念ヲ統一スルコトガ出來ルノデアルカ、犬養首相ハ、或時ハ民衆ノ前ニ現ハレ、或時ハ與黨ノ大會ニ臨ミ、又或時ハ部下ノ屬僚ヲ集メテ、國民思想ヲ高調シ、國民思想ノ善導ヲ訓示シテ居ラレルノデアリマスカ、躬自ラ彼ガ如キ行ヲ爲シテ居リナガラ、如何ニ國民思想ヲ高調シタ所デ、如何ニ國民思想ノ善導ヲ訓示シタ所デ、其言論ニ何ノ權威ガアルカ(拍手)天下民衆ハ斯ノ如キ總理大臣ノ言論ニ對シテ何等ノ敬意ヲ拂ハナイノデアリマス(拍手)本員ハ茲ニ斷言致シマス、現内閣ガ此大逆事件ニ對シテ責任ヲ執ラナイ以上ハ、日本國民ノ思想ハ決シテ安定ヲシナイ(拍手)益、動搖スルコトハアルカモ知レナイガ、決シテ安定スルコトハナラヌ、惟フニ人間ノ一生ハ短シ、政治家ノ生命モ短シ……

(此時發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○齋藤隆夫君(續) 犬養首相ノ政治的生命ハ更ニ短イノデアリマスガ、併ナガラ個人タル犬養氏ノ行動ハ率ザ知ラズ、帝國ノ總理大臣トシテ犬養氏ノ行動ハ、其人ノ屍ト共ニ地中ニ葬リ去ラレルベキモノデハナイ(拍手)歴史ノ續ク限り、國民の指導精神トナツテ、永ク後世ニ殘ルモノデアリマスル以上、之ヲ考ヘラレタナラバ、一時ノ政權慾、區々タル政黨ノ利害ノ如キハ問題デハナイ、須ラク大所高所ニ立テ帝國ノ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 現在及ビ將來ヲ考ヘ、我が金匱無缺ノ國體ヲ擁護スルガ爲ニ、過去ノ過ヲ改メ、正シキ途ニ向テ進マル、コトガ、犬養首相ノ執ラルベキ最後ノ責任デアルト考ヘ、茲ニ此質問ヲ提出スル次第デアリマス(拍手)犬養首相ハ自ラ立テ忠君愛國ノ思想ヲ喚起シ、赤誠ヲ披瀝シテ、本員等ノ質問ニ答ヘラレンコトヲ望ム(拍手)

○議長(秋田清君) 犬養内閣總理大臣

(國務大臣犬養毅君登壇)

○國務大臣(犬養毅君) 餘程長イ演說ノ御質問デアリマシタガ、極メテ簡單ニ御答ヘスレバ明瞭ニナル、齋藤君ノ述べラレタ通りニ、山本内閣ノ時ニハ無論内閣一致デ辭シタノデアリマス、ソレカラ御優詔ガアツタガ、ソレヲ更ニ辭シタ、中デ後藤君ガドウトカスウトカト云フコトデアリマスガ、私スラ知ラヌカラ、ソレハ齋藤サンモ恐ラク御承知ハアリマスマイ、私スラ知リマセヌ、

同ジ内閣ニ居テ私スラ知ラナイ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(犬養毅君)(續) ソコデ當時ノ

閣員全體ノ考ガ、ドウシテモ是ハ吾々ハ特殊ノ團體ニ對シ、辭サナケレバナラス、斯ウ云フ意味デ辭シタノデアリマス、是ハ閣員全體ノ一致ノ意見デアル、後藤ガドウトカスウトカ、内容ヲ御承知ノ旨ハナイ(其通り々々)ト呼フ者アリ)是ハモウ一致ノ考デ、左様ナ態度ヲ執リマシタ

ソレカラ此度不慮ノ事ガゴザイマシタ、甚ダ恐縮ニ堪ヘナイ、ソレデ吾々ハ山本内閣當時ト同様ニ、總テ閣僚ノ辭表ヲ纏メテ閣下ニ伏シテ骸骨ヲ乞ウタノデアリマス、

是ハ當時閣員總テノ考ガソレデアアルノデアリマス、ソレカラ其一日隔テマシテ、此辭表ハ御却下ニナリマシタ(其御却下ニナツタノハ、時局重大ナルガ故ニ留任セヨ、斯ウ云フ御優詔ヲ賜ッテ、併ナガラ齋藤君ガ言ハレル如ク、優詔ニ藉口シテ、是デ私ハ留任ヲ云フノデアリマセヌ(拍手)「ヒヤ」

「其通り」ト呼フ者アリ)貴族院デ答ヘタ筆記ヲ御覽ナサルト明瞭デアリマス(拍手)吾々ハ退イテ考ヘテドウスルカ、是カラガ吾々ノ責任ナノダ、實際時局重大ナノデアリマス、ソレデ吾々ノ同志ハ、此時局ヲ救フノハ吾々デナケレバ出来ナイト云フ確信ヲシタノデアリマス、宜シイカ……

〔ヒヤ〕(其他發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(犬養毅君)(續) 震災ノ、關東ノ震災ト云フ小サイモノデハナイ、關東ノ

震災ハ高ガ關東ガ地震デ、家ガ壊レタ、死シタト云フ位ノコトデアアル、滿洲ノ事態ハ、一步間違ヘバ何處マデ大キクナルカ、是ハ日露戰爭以上ノモノニナルカモ知レヌト云フ決心ヲスベキデアリマス、是ガ民政黨ニ託サレルカ(拍手)ソレデカラ吾々ガ陛下ニ對シ奉テ責任ヲ盡スト云フコトハ二ツナノデアアル、昔ノ武士道同ジコトデアアル、君前デ腹ヲ切ルト云フノモ責任ヲ盡スノデアアル、腹ヲ切ルト云フコトモ一ツナノデアアル、其ノ腹ヲ切ルト云フ消極的モ一ツデアアルガ、進ンデ敵ヲ打倒ス、是モ一ツデアアル(ヒヤ)「ト呼フ者アリ)是ト同様ノ理由……

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(犬養毅君)(續) 今日此時局ヲ救フ者ハ、人ガ何ト言ハウガ、吾々デナケレバ出来ナイト確信シタノデアアル(拍手)ソレ故ニヤルト云フ以上ハ、此度ノ如キ不祥事件ガ出来タ、之ヲ何處マデモ、斯様ナ不祥事件ガ再ビ起ラナイヤウニ吾々ハ努メナケレバナラス(拍手)

ソレカラ外ニ對シテ重大問題ガ起ツタノヲ誰ガ解決スルカ、ソレヲ解決スルノハ吾々ノ責任デアアル、其爲メニ吾々ハ盡サウ、即チ退イテ腹ヲ切ルト云フヨリカ、進ンデ責任ヲ盡ス、是ナンデアアル、別ニ優詔ニ口ヲ藉テ留マツタ、何カ犬養ハ之ヲ棄ルノガ惜シイナドト、ソレハ齋藤君ノ考カラ御覽ナスツタラサウカ知レヌ

〔發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(犬養毅君)(續) 私共ノ頭ニハ、ソシナ卑野ナ下品ナ考ハ有テ居ナイ(拍手)ソレハ御諒承下サイ

ソレカラ私ハ終リニ及ンデ御禮ヲ申シマス、私ノ彈劾ノ演説ヲ爲サル發起人町田君以下今ノ齋藤君ハ、長ク私ノ黨ニ居ラレテ、能ク御承知ナンデアアル、私ハソシナ事ヲシヨウトハ思ハナイ、此人々カラ國民道德ダノ、責任論ヲ聽カサレルト云フノハ、如何ニモ私ハ珍シク……

〔拍手〕發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(犬養毅君)(續) 内務大臣トシテト云フ御質問デアリマシタカラ、是ハ私ハ此處デ御答致シマス、御警衛ノ直接任務ニ當テ居ルト云フ警視總監、是ハ罷メタノデアリマス、ソレカラ以上ニナツテハ内閣全體ノ責任デアアル、内務大臣モ、陸軍大臣モ、總理大臣モ、一切同様デアルト云フノガ吾々ノ考ナノデアリマス、サウ御承知下サイ、別ニ厚薄ハアリマセヌ、全部同ジコトデアルト云フノガ吾々ノ考デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 荒木陸軍大臣

〔國務大臣荒木貞夫君登壇〕

○國務大臣(荒木貞夫君) 幾度カ追憶致シマシテモ、亦幾度カ御話ヲ承リマシテモ、洵ニ恐懼ニ堪ヘナイ事件デアリマス(辭職シロ)「默レ」ト呼フ者アリ)ソレニ付キマシテハ、私ハ只今ノ御質問及ビ纏々御述ニナリマシタコトニ付キマシテ、我が團體ニ對スル所ノ觀念、竝ニ吾々ノ處スベキ途ニ付テ、又臣子ノ分トシテ御示シニナリマシタ

コトニ付テハ感謝ヲ致シマス、唯私ハ私ノ皇國臣子ノ分トシテ常ニ信奉シテ居リマスル所ノ信念ニ基イテ、其進退ヲ決シタノデアリマス、ソレ以外ニ此處ニ改メテ此點ニ付テ論議スルコトハ避ケタイト存ジテ居ルノデアリマス(拍手)

尙ホ只今特ニ勅諭ヲ御示シニナリマシテ、忠節ヲ盡スヲ本分トスベシト云フコトニ付テ如何デアアルカト云フヤウナ御示シニ接シマシタガ、不肖デアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、ドウゾ御安心アツテ、私ニ御委セラ願ヒマス(拍手)又責任ノ問題ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、責任ハ重々感じテ居リマス(ソレナラ辭職シロ)ト呼フ者アリ)辭職ノ問題ト此責任ノ問題トハ、自ラ異テ居ルト存ズルノデアリマス(拍手)私ハ私ノ信ズル信念ニ基イテ處決致シテ居リマス(新聞紙ヲ見ヨ)「陸軍全體ノ意見カ」ト呼ヒ其他發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(荒木貞夫君)(續) 又ドウゾ公議ニ付テハ公議ニ御話ヲ願ヒタイト存ジマス、私ハ此處デ此重大ナル問題ヲ論ズルニ當テ私議ハ致シマセヌ、ドウゾ其點ハ御含ミヲ願ヒマス

〔何ダ〕ト呼ヒ其他發言スル者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(荒木貞夫君)(續) 只今御話下サイマシタ……

アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○國務大臣(荒木貞夫君)(續) 御話ノ點ハ殊ニ私ニ對シテノ御話デアリマシタカ、或ハ國務大臣全體ニ對シテノ御話デアルト存ジテ居リマスルガ、只今總理大臣モ御述ベニナリマシタ如クニ、荷モ名ヲ聖旨ニ藉リマスルコト、衰龍ノ袖ニ隠レテ、其進退ヲ致シマスルコトハ、一切以後ニ於テモゴザイマセヌシ、今日ニ於テモナイノデゴザイマス(拍手)

○齋藤隆夫君 議長

○議長(秋田清君) 齋藤君何デスカ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

(齋藤隆夫君登壇)

○議長(秋田清君) 一寸御待チ下サイ、齋藤君ノ御發言ノ前ニ一言致シマス、只今ハ緊急質問デアリマス、質疑デハナイノデアリマス、質問ハ一回ニ限ルコトガ原則デアリマス、質疑ハ三回、斯様ナコトニ相成テ居リマスルガ、議長ハ特ニ齋藤君ガ御登壇ニモナリマシタコトデアリマスカラ、齋藤君ノ御質問ヲ今一回許シマス、成ベク簡明ニ御述ベ下サランコトヲ希望致シマス

(「降リロ」ト呼ヒ其他發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○齋藤隆夫君 犬養首相ノ御答辯ニ依レバ時局ガ重大デアテ、此時局ヲ救済スル者ハ現内閣ヨリ外ニハナイ、故ニ留任ヲシタノデアアル、先程申シマシタ如ク時局ガ重大デアルコトハ初メカラ分テ居ルノデアアル

(討論デヤナイ)ト呼フ者アリ

當時カラ分テ居ルノデアアル、時局ガ重大デアルカラ辭職ヲシナイト云フナラバ、何故ニ辭表ヲ提出シタノデアアルカ、犬養首相ノ答辯ハ、此議場ニ於テハ——此議場ニ於テハサウ云フ答辯ガ通ルカハ知ラナイガ、一步議場ヲ離レテ、民衆ノ前ニ現ハレテ御覽ナサイ、日本國民ハ決シテ承知スル者デハナイ、斯ノ如キ答辯ニ對シテハ、別ニ再ビ質問ヲスル必要ハアリマセヌ、吾々ハ更ニ今後ニ於ケル政府ノ態度ヲ見テ、他ノ機會ニ於テ、適當ノ處置ヲスル積リデアリマス、今日ハ此以上議論ハ致シマセヌ

○議長(秋田清君) 是ニ於テ緊急質問ヲ終リマシタ

原惣兵衛君

○原惣兵衛君 政府提出、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件ノ委員長報告ヲ待ツ爲メ、暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ暫時休憩ヲ致シマス

午後七時十六分休憩

午後十一時二十分開議

○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、後藤亮一君ヨリ議事進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許可致シマス

後藤亮一君

(後藤亮一君登壇)

○後藤亮一君 私ハ議事進行ニ關シテ議長

ニ御尋フ致シマス、先程來開カレテ居リマシタル特別委員會ニ於ケル狀況ニ付キマシテ、議長ニ少シク御尋フ致シタイノデアリマス、特別委員會ニ於ケル狀況ハ、議長ハ親シク是ガ報告ヲ受ケテ居ラレラウト信ジテ居リマス、而シテ特別委員會ニ於キマシテハ、民政黨ニ於テ一人ノ質問者ガアリ、無産黨ニ於テ一人ノ質問者ガアリ、之ニ依ッテ、多數ノ力ニ依ッテソレ以外ノ質問ハ封鎖サレタノデアリマス(ノー)而シテ民政黨ノ田中實君ハ討論ヲ行ハレ、其討論ニ當リマシテ、未ダ其討論ガ盡キザル半バニシテ委員長ハ之ヲ中止致シタノデアリマス、私ハ第五十九議會ノ當時ノ事ヲ考ヘテ見マスルト、當事野黨デアリマシタ政友會ノ諸君ニ依ッテ、相當長イ間ノ質問ガ繰返サレタト云フコトハ、是レ皆サン御承知ノ通りデアリマス、殊ニ私ノ記憶ニ最モ殘テ居リマスル所ノモノハ、砂田重政君ノ質問ガ約七時間ニ亙ッテ繰返サレタト云フ例ヲモ私ハ記憶致シテ居ルノデアリマス(拍手)併ナガラ斯様ナ場合ニ於キマシテハ、少數ナル野黨ノ言論ニ對シテハ、多數ナル所ノ與黨ノ諸君ガ大雅量ヲ示シテ其言論ヲ盡サシムルト云フコトハ、是ハ立憲政治ニ於ケル常道デアアル(拍手)然ルニ拘ラズ其結論ハ既ニ明カデアッテ、民政黨ハ軍事費其他ニ於テ、減債基金ノ繰入ヲ除外シテ、其他ノ總テノモノハ賛成ヲスルト云フ意思ヲハッキリ致シテ居ルノデアアル、之ニ對シテ少數デアアル野黨ノ言ハントスル所ハ、多少ノ時間ヲ費シタカラト云ッテ、多數ノ橫暴ヲ以テ之ヲ抑壓スルガ如キハ、立憲政治ヲ冒瀆

スルノ甚シキモノデアアル(拍手)斯ル場合ニ於キマシテ、尙ホ其狀況ヲ申上ゲレバ、吾吾ハアノ一人ノ討論者デアアル田中實君ノ周圍ニ起タル事情ヲ一度目撃シタル者ハ、是ハ國民ノ選良ヲ送テ居ル所ノ代表機關タル議會ノ情景デアアルカ如何(拍手)諸君一度此議場ヲ出テ、個人々々ニナッテ自分ガ反省ヲ致シタ時ニ、果シテアノ情景ガ國家ノ選良タルヤ否ヤト云フコトヲ私ヲ疑フノデアアル(拍手)今ヤ世相ハ洵ニ險惡デアリマシテ、思想界ノ善導ハ先ヅ國家ノ選良ヲ以テ任ズル所ノ諸君ヨリ始メナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居リマス(拍手)然ルニ拘ラズアノ情景、アノ態度、アノ行動ガ果シテ國民ノ思想ヲ善導スルニ足ルベキ態度デアリマスルカ、諸君ハ徒ニ彌次ラレルケレドモ、胸ニ手ヲ置テ、果シテアレガ紳士ノ態度デアアルヤ否ヤト云フコトヲ御考ヘニナッテ見タラ宜イト思フ、斯ノ如キ實情ノ下ニ今日ノ委員會ハ多數ノ橫暴ナル力ニ依リマシテ、言論ハ徒ニ封鎖ヲ致サレタノデアリマス、而シテ斯様ナ場合ニ於ケル所ノ議會ノ整理ハ殆ド出來テ居ラナカタノデアアル、アレ程騒ギマシテモ、アレ程多クノ人が發言ノ妨害ヲ致シテモ、委員長ハ聽イテ聽カザルガ如キ態度ヲ裝ウテ居ッテ、斯ノ如キ事ハ果シテ私ハ正當ナル行動デアリシヤ否ヤト云フコトハ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテ議長ハ之ヲ調査シテ宜シク再ビ審議セシムルダケノ責任ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、果シテ如何ナル議長ハ御考デアリマスルカ、此點ヲ御伺スル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 後藤亮一君ニ御答致シマス、議長ハ特別委員會ノ經過及結果ニ付テ委員長ヨリ何等ノ報告ヲ受ケテ居リマセヌ、又之ヲ再審議セシムルガ如キコトハ、議長ニ於テ左様ナ職權ハアリマセヌ——原惣兵衛君

○原惣兵衛君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程ヲ追加シテ、政府提出滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案、昭和七年勅令第四號承諾ヲ求ムル件、昭和七年勅令第七號承諾ヲ求ムル件、昭和七年勅令第十四號承諾ヲ求ムル件及昭和七年勅令第十九號承諾ヲ求ムル件ノ委員長ノ報告ヲ求メ、逐次其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕「反對」ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「反對」ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立

〔贊成者 起立〕

○議長(秋田清君) 多數デアリマス

〔議長異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ對シテ議長ハ贊否ヲ求メタノデアリマスガ、議長ノ宣告シタル多數トノ聲ニ對シ反對ノ意味ノ發言ガ多數アルヤウデアリマス、仍テ是ハ記名投票ニ依ッテ決スルノ外ハアリマセヌ——靜肅ニ——御待チナサイ——併ナガラ此贊否ノ決ハ記名投票ニ依ッテ決スルノ

外ハアリマセヌガ、最早時刻モ切迫シテ居リマスカラ、本日ハ是ニテ散會致シマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス
午後十一時三十三分散會

衆議院議事速記録第一號中正誤

頁	段	行	誤	正
一	一	八	十八名トシ	十八名トシ
一	四	一八	我が陸軍將士	我が陸海軍將士
五	三	七	決議ヲ動力シ	決議ヲ動カシ
五	三	一二	法治帶	保安帶
六	一	一〇	アリマセヌ	アリマセヌ
六	二	二〇	御挨拶	御挨拶

